

保健医療計画策定支援事業業務委託

在宅医療実態調査事業業務委託

医療に関する県民意識調査 報告書

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

令和5（2023）年8月

目次

I 調査概要	3
1. 背景・目的	3
2. 調査の方法と内容	3
3. 調査内容	4
4. 調査結果の記載に関する留意点	5
II 調査結果	6
1. 回答者の属性	6
(1) 居住地	6
(2) 定期的な医療機関受診の有無	7
2. かかりつけ医に関する状況や考え	8
(1) かかりつけ医の有無	8
(2) かかりつけ医がいる病院・診療所の種類	9
(3) かかりつけ医に期待すること	10
3. 医療機関へのかかり方	11
(1) 軽度の体調不良を覚えた際の対処法	11
(2) 体調不良を覚えて当日中に医療機関受診する場合のかかり方	12
(3) 大病院での外来受診の際に「選定療養費」を支払った経験の有無	13
(4) 紹介状を持たずに大規模な病院で受診した理由	14
4. お薬手帳について	15
(1) お薬手帳の保有状況	15
(2) 処方薬を受け取った際のお薬手帳の提示状況	16
(3) 医療機関受診時の医師や看護師等に対するお薬手帳の提示状況	17
(4) お薬手帳を提示しなかった理由	18
5. 後発医薬品（ジェネリック医薬品）について	19
(1) 処方薬を受け取った際の後発医薬品の選択状況	19
(2) 後発医薬品を提示しなかった理由	20
6. 入院医療について	21
(1) 患者の状況に応じて入院先からの転院があることの認知状況	21
7. アレルギー疾患について	22
(1) アレルギー疾患の有無	22
(2) 自身が持っているアレルギー疾患	23
(3) アレルギー疾患への対応状況	24
8. 臓器提供について	25
(1) 自身の臓器提供に対する意思表示の有無	25
(2) 自身の臓器提供について家族等への意思表示の有無	26
(3) 自身の臓器提供の可否及び意思表示の考え	27
(4) 家族の臓器提供の意思表示に対する考え	28

(5) 自身が脳死又は心臓停止した場合の臓器提供に対する考え	29
9. がんの予防等に関する状況や考え	30
(1) がんの予防のために実践していること	30
(2) がん検診の受診状況	31
(3) がん検診を受診しなかった理由	32
(4) 新型コロナウイルス感染症の流行期間中におけるがん検診の受診控えの有無	33
(5) がんに関する情報を得るために活用している情報源	34
(6) 「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の認知状況	35
(7) がんの治療と仕事の両立のために必要な支援・取組	36
(8) がんに対する症状緩和に専念する場合に過ごしたい場所	37
(9) がんゲノム治療の認知状況	38
(10) がん対策について県に期待すること	39
10. 緊急電話相談について	40
(1) 救急安心電話相談#7009・こども救急電話相談#8000の利用状況	40
11. 心臓の異常や脳卒中に関連した症状への対応に関する考え	41
(1) 自身又は家族に心臓の異常に関連した症状が生じた場合の対処法	41
(2) 自身又は家族に脳卒中に関連した症状が生じた場合の対処法	43
12. 地域医療について	45
(1) 自身が居住する地域で不足を感じる診療科	45
13. 在宅医療のイメージについて	46
(1) 自身が持つ「在宅医療」へのイメージ	46
14. 長期の療養場所の希望や理由について	47
(1) 長期の治療・療養が必要になった場合の「在宅医療」の選択希望	47
(2) 入院医療を希望する理由	48
(3) 在宅医療を希望する理由	49
15. 夜間・休日の急変時対応について	50
(1) 自身又は家族が「往診」を依頼した経験の有無	50
(2) 自身又は家族が「往診」を断られた後の対応	51
16. 最期を迎える場所の希望や理由について	52
(1) 自身が最期を迎える場所の希望	52
(2) 医療機関で最期を迎えたい理由	53
(3) 居住の場で最期を迎えたい理由	54
(4) 介護保険施設で最期を迎えたい理由	55
17. 人生の最終段階における医療・療養に関する状況や考え	56
(1) アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知状況	56
(2) 自身が人生の最終段階における医療・療養について考えた経験の有無	57
(3) 家族等とACPについて話し合った経験の有無	58
(4) 医療・介護関係者等とACPについて話し合った経験の有無	59
(5) ACPについて話し合ったことがない理由	60
付録. 二次医療圏別クロス集計	61

I 調査概要

1. 背景・目的

千葉県では、県民一人ひとりが健やかに地域で暮らし、心豊かに長寿を全うできるよう、「千葉県保健医療計画」を策定して、質の高い保健医療提供体制の構築や、総合的な健康づくりの推進等の施策を展開しており、現在の計画期間は令和5年度末で満了を迎えることになる。

そこで本調査「医療に関する県民意識調査」は、県民の医療に関する考え等を伺い、次期計画に反映させることを目的に、インターネットアンケート方式による意識調査を実施したものである。

2. 調査の方法と内容

○実施方式：インターネット調査

○実施時期：令和5年7月

○回収数：約10,000人（モニターに対して調査を配信し、回収が予定数に達するまで実施）

楽天インサイト株式会社が保有する全国モニターから、10,000人を対象とした。配信後先着10,000サンプルを有効回答とする場合、同社の登録モニター数の割合が高い層に偏ってしまうため、千葉県の母集団（令和2年国勢調査人口による）の性別・年齢区分別の構成比に応じて、各区分の目標回収数（上限値）を設定した。詳細は下表のとおり。

図表1 本調査の目標回収数（性別・年齢区分（10歳階級）別の計画値）

年齢階級	令和2年国勢調査人口 (千葉県)		目標回収数 (左記の1万人換算)		性別・年齢区分別の構成比		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男女計
20歳代	341,864	319,315	646	603	6.5%	6.0%	12.5%
30歳代	375,998	346,597	711	655	7.1%	6.6%	13.7%
40歳代	479,742	444,407	907	840	9.1%	8.4%	17.5%
50歳代	465,907	433,098	881	819	8.8%	8.2%	17.0%
60歳代	356,688	357,876	674	676	6.7%	6.8%	13.5%
70歳以上	599,621	770,029	1,133	1,455	11.3%	14.6%	25.9%
合計	2,619,820	2,671,322	4,952	5,048	49.5%	50.5%	100.0%

なお、データクリーニングにより、各区分とも有効回答数は目標回収数をやや下回ることが想定されるため、「回収数の実績値が計画値を上回る区分」（30歳以上の男性、70歳未満の女性）については目標回収数の110%を上限とし、「回収数の実績値が計画値を下回る区分」（20歳代の男性、70歳以上の女性）の回収件数の推移が横ばいになった時点で回収を終了した。

3. 調査内容

区分	調査内容
①回答者の属性	◇居住地域 ◇定期的な医療機関受診の有無
②かかりつけ医に関する状況や考え	◇かかりつけ医の有無 ◇かかりつけ医がいる病院・診療所の種類 ◇かかりつけ医に期待すること
③医療機関へのかかり方	◇軽度の体調不良を覚えた際の対処法 ◇体調不良を覚えて当日中に医療機関受診する場合のかかり方 ◇大病院での外来受診の際に「選定療養費」を支払った経験の有無 ◇紹介状を持たずに大規模な病院で受診した理由
④お薬手帳について	◇お薬手帳の保有状況 ◇処方薬を受け取った際のお薬手帳の提示状況 ◇医療機関受診時の医師や看護師等に対するお薬手帳の提示状況 ◇お薬手帳を提示しなかった理由
⑤後発医薬品(ジェネリック医薬品)について	◇処方薬を受け取った際の後発医薬品の選択状況 ◇後発医薬品を提示しなかった理由
⑥入院医療について	◇患者の状況に応じて入院先からの転院があることの認知状況
⑦アレルギー疾患について	◇アレルギー疾患の有無 ◇自身が持っているアレルギー疾患 ◇アレルギー疾患への対応状況
⑧臓器提供について	◇自身の臓器提供に対する意思表示の有無 ◇自身の臓器提供について家族等への意思表示の有無 ◇自身の臓器提供の可否及び意思表示の考え ◇家族の臓器提供の意思表示に対する考え ◇自身が脳死又は心臓停止した場合の臓器提供に対する考え
⑨がんの予防等に関する状況や考え	◇がんの予防のために実践していること ◇がん検診の受診状況 ◇がん検診を受診しなかった理由 ◇新型コロナウイルス感染症の流行期間中におけるがん検診の受診控えの有無 ◇がんに関する情報を得るために活用している情報源 ◇「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の認知状況 ◇がんの治療と仕事の両立のために必要な支援・取組 ◇がんに対する症状緩和に専念する場合に過ごしたい場所 ◇がんゲノム治療の認知状況 ◇がん対策について県に期待すること
⑩緊急電話相談について	◇救急安心電話相談#7009・こども救急電話相談#8000の利用状況
⑪心臓の異常や脳卒中に関連した症状への対応に関する考え	◇自身又は家族に心臓の異常に関連した症状が生じた場合の対処法 ◇自身又は家族に脳卒中に関連した症状が生じた場合の対処法
⑫地域医療について	◇自身が居住する地域で不足を感じる診療科
⑬在宅医療のイメージについて	◇自身が持つ「在宅医療」へのイメージ
⑭長期の療養場所の希望や理由について	◇長期の治療・療養が必要になった場合の「在宅医療」の選択希望 ◇入院医療を希望する理由 ◇在宅医療を希望する理由
⑮夜間・休日の急変時対応について	◇自身又は家族が「往診」を依頼した経験の有無 ◇自身又は家族が「往診」を断られた後の対応
⑯最期を迎える場所の希望や理由について	◇自身が最期を迎える場所の希望 ◇医療機関で最期を迎えたい理由 ◇居住の場で最期を迎えたい理由 ◇介護保険施設で最期を迎えたい理由
⑰人生の最終段階における医療・療養に関する状況や考え	◇アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の認知状況 ◇自身が人生の最終段階における医療・療養について考えた経験の有無 ◇家族等とACPについて話し合った経験の有無 ◇医療・介護関係者等とACPについて話し合った経験の有無 ◇ACPについて話し合ったことがない理由

4. 調査結果の記載に関する留意点

千葉県之母集団（令和2年国勢調査人口による）の性別・年齢区分別の構成比と、楽天インサイト株式会社が保有する全国モニターの構成比が異なるため、各区分で回収数の計画値を実績値で除した値を「重みづけ係数」とし、重みづけ集計（分母は仮想上の県民10,000人）を行った。詳細は下表参照。

図表 2 性別・年齢区分別の重みづけ係数

年齢階級	【A】回収数（計画値）			【B】回収数（実績値）			【A/B】重みづけ係数	
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
20歳代	646	603	1,249	418	663	1,081	1.55	0.91
30歳代	711	655	1,366	782	721	1,503	0.91	0.91
40歳代	907	840	1,747	998	924	1,922	0.91	0.91
50歳代	881	819	1,700	969	901	1,870	0.91	0.91
60歳代	674	676	1,350	741	744	1,485	0.91	0.91
70歳以上	1,133	1,455	2,588	1,246	601	1,847	0.91	2.42
合計	4,952	5,048	10,000	5,154	4,554	9,708		

また、アンケート結果における構成比は小数点以下第二位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

II 調査結果

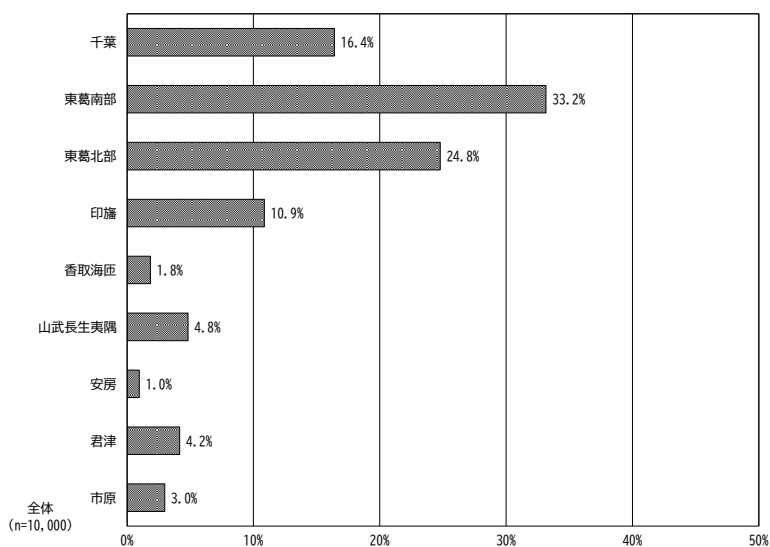
1. 回答者の属性

(1) 居住地

📍 あなたがお住まいの市町村を、ご回答ください。【問1（単数回答）】

○本調査に協力した回答者の居住地を二次医療圏別にみると、「東葛南部」（33.2%）、「東葛北部」（24.8%）、「千葉」（16.4%）、「印旛」（10.9%）の順で多かった。その他の二次医療圏はいずれも回答割合は5%未満であった。

図表 3 回答者の居住地（二次医療圏×性別・年齢区分（10歳階級）別）



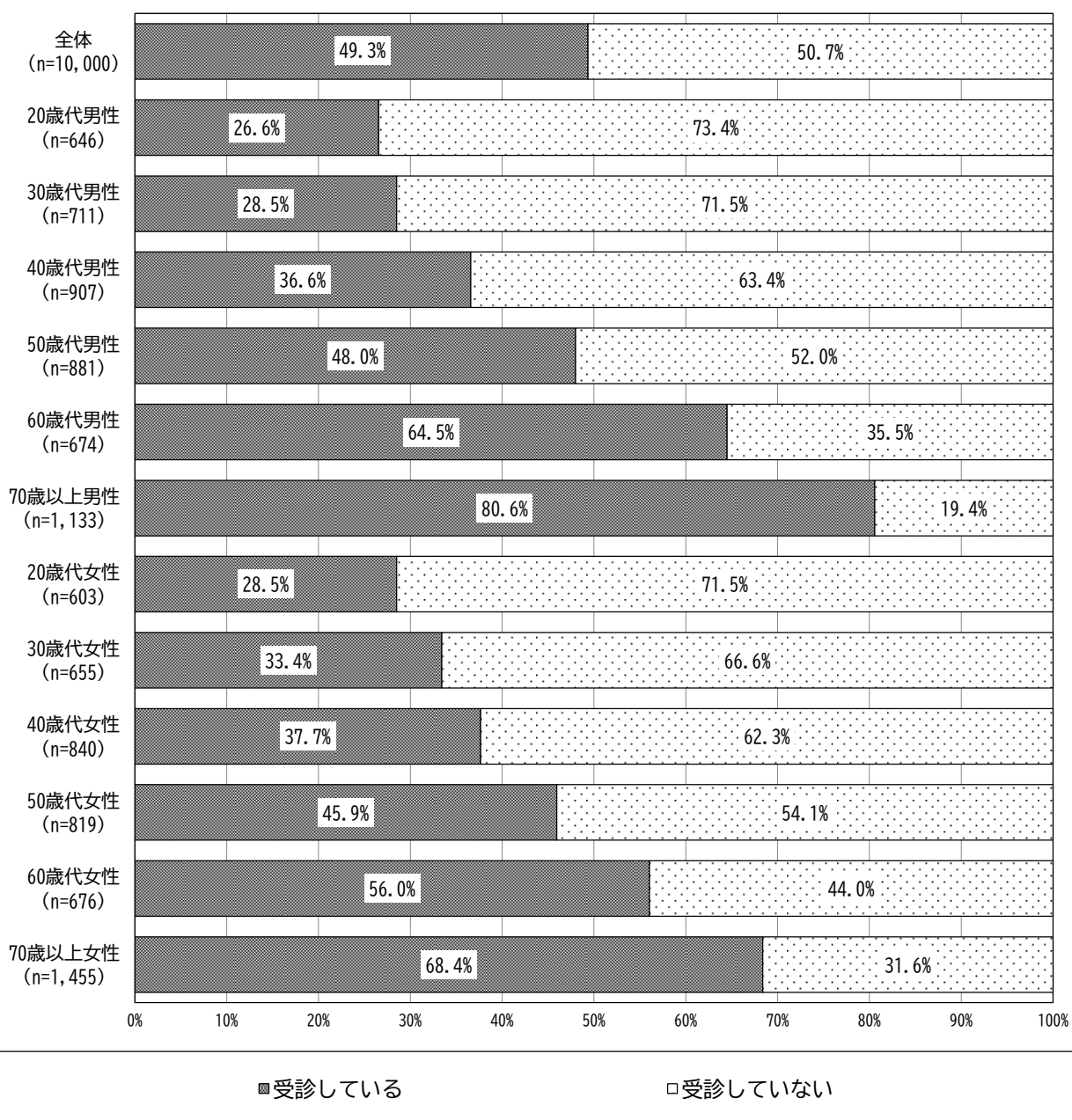
	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
千葉	16.4%	16.5%	15.1%	15.2%	17.6%	14.8%	16.5%	17.9%	15.4%	16.1%	20.5%	15.5%	15.8%
東葛南部	33.2%	35.6%	34.3%	35.4%	33.0%	31.3%	27.3%	37.6%	37.0%	31.1%	31.9%	32.3%	34.4%
東葛北部	24.8%	27.5%	24.0%	25.3%	25.1%	22.9%	25.7%	22.8%	23.9%	26.7%	22.4%	24.3%	25.3%
印旛	10.9%	9.8%	10.2%	9.6%	9.7%	14.3%	12.7%	10.3%	9.6%	10.6%	10.9%	11.8%	10.6%
香取海浜	1.8%	1.2%	2.4%	1.7%	1.7%	2.4%	2.2%	1.1%	3.3%	1.9%	1.7%	1.9%	1.2%
山武長生夷隅	4.8%	2.6%	4.7%	3.9%	4.5%	5.5%	5.9%	3.8%	2.6%	4.5%	5.2%	7.1%	5.7%
安房	1.0%	0.7%	0.8%	0.9%	1.1%	1.1%	1.4%	0.3%	1.4%	1.1%	0.9%	0.5%	1.0%
君津	4.2%	4.1%	5.0%	4.7%	4.1%	4.2%	4.4%	3.3%	4.6%	5.0%	3.4%	3.2%	3.8%
市原	3.0%	1.9%	3.5%	3.3%	3.1%	3.4%	3.9%	3.0%	2.2%	2.9%	3.1%	3.4%	2.2%

(2) 定期的な医療機関受診の有無

現在、同じ病気やけがのために、3ヶ月以上にわたり、定期的に医療機関で受診していますか。当てはまるもの1つをお選びください。【問2（単数回答）】

○本設問で「受診している」と回答した方の割合は、49.3%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて増加傾向（男性：2～8割台、女性：2～6割台）がみられた。

図表 4 定期的な医療機関受診の有無



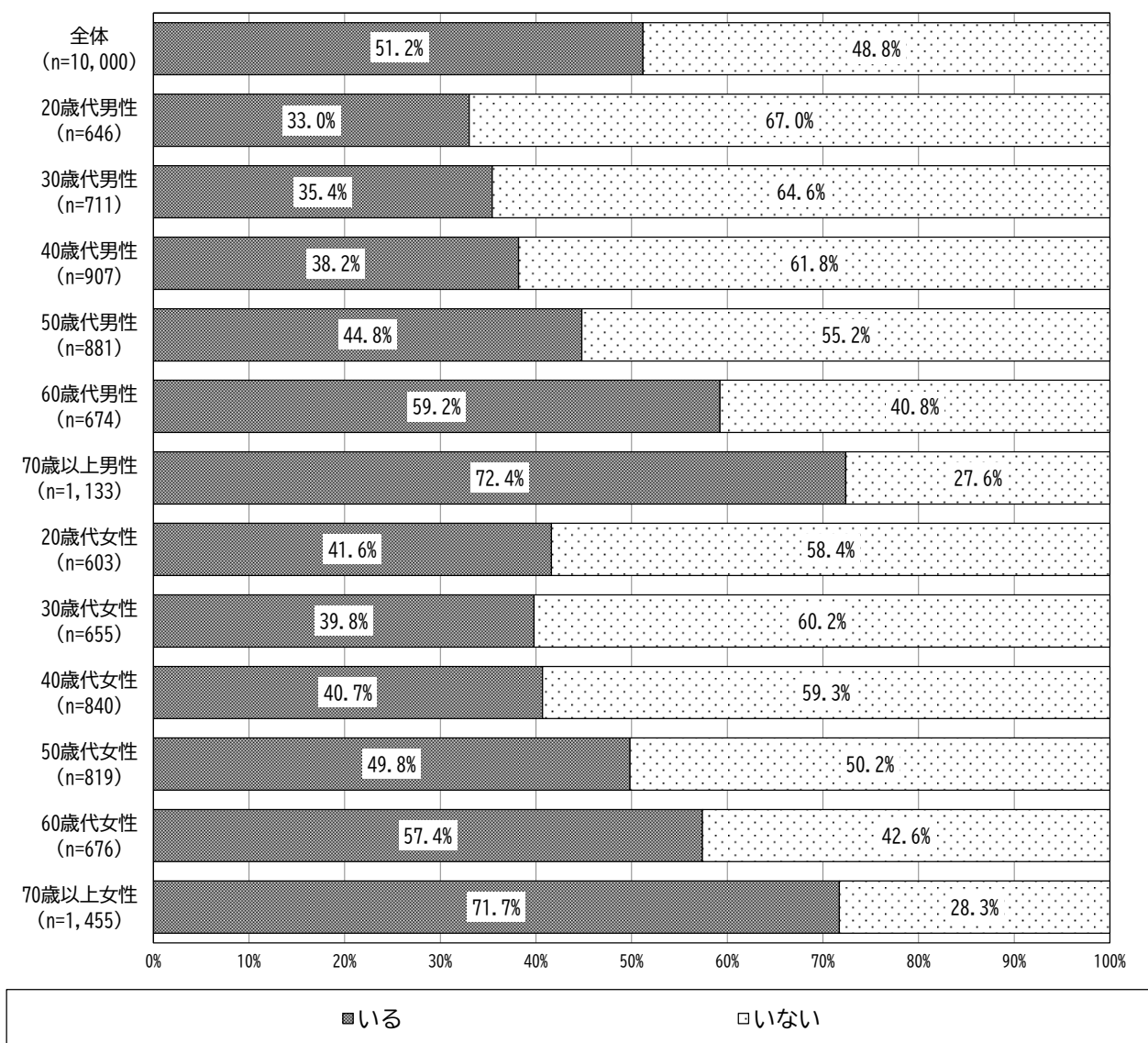
2. かかりつけ医に関する状況や考え

(1) かかりつけ医の有無

あなたには、日常的な体調不良や病気・けがの診察や、健康に関する相談に対応してくれる医師（以下「かかりつけ医」という。）がいますか。当てはまるもの1つをお選びください。【問3（単数回答）】

○本設問で「いる」と回答した方の割合は、51.2%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて増加傾向（男性：3～7割台、女性：3～6割台）がみられた。

図表 5 かかりつけ医の有無



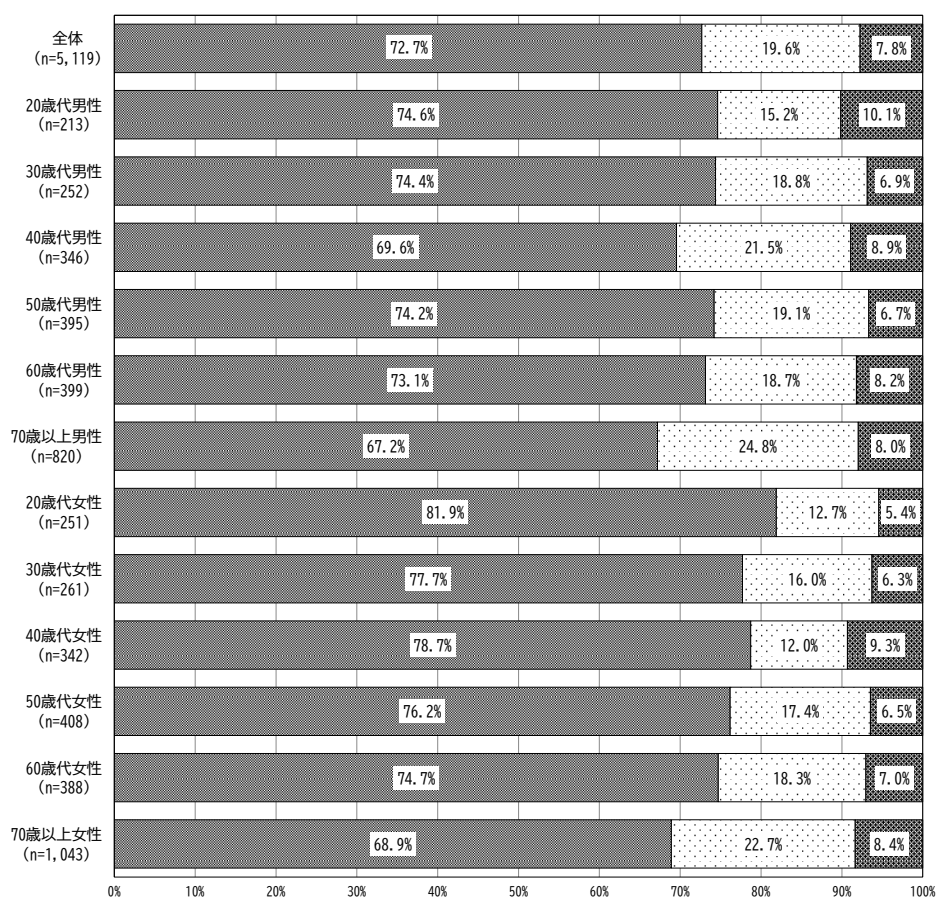
(2) かかりつけ医がいる病院・診療所の種類

《「かかりつけ医がいる」と回答した方》

あなたにとっての「かかりつけ医」がいる病院・診療所の種類について、最も当てはまるもの1つをお選びください。【問4（単数回答）】

○本設問の回答割合は、「入院施設（病床）を持たない診療所（医院・クリニック）」（72.7%）が最も高かった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性は6～7割台、女性は6～8割台であった。

図表 6 かかりつけ医がいる病院・診療所の種類



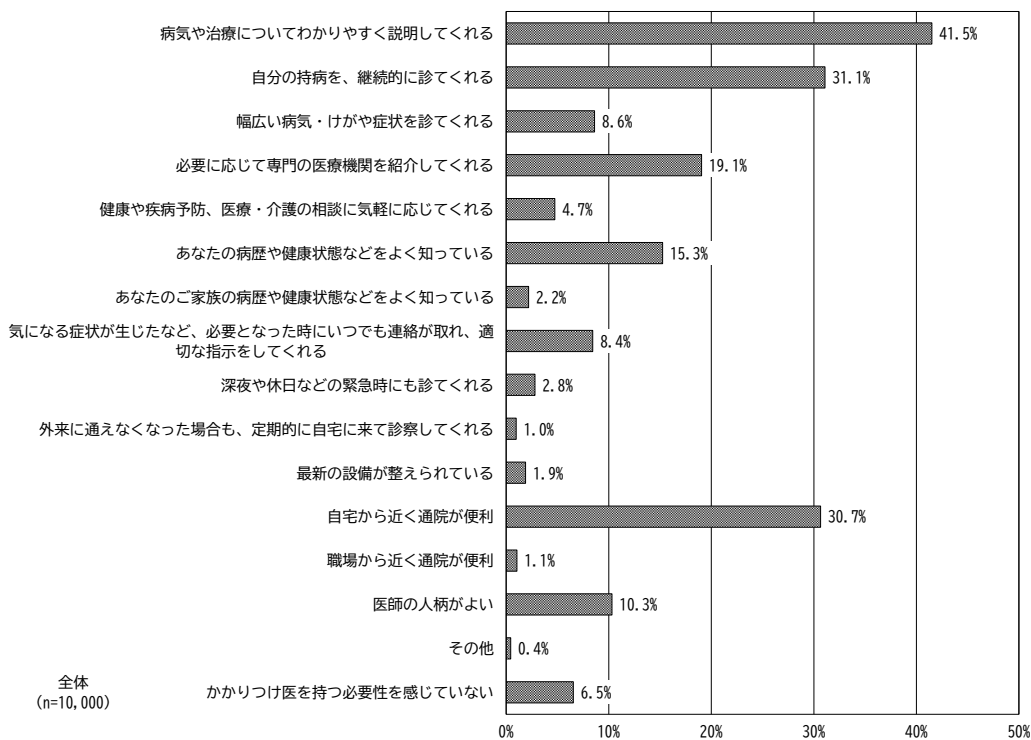
- 入院施設（病床）を持たない診療所（医院・クリニック）
- 入院施設（病床）を持つ病院・診療所（(A)のような病院を除く。）
- (A) 大学病院などの特に高度な診療機能を持った病院や、がんセンターなどの特定の分野に特化した高度な専門病院

(3) かかりつけ医に期待すること

あなたが「かかりつけ医」に期待するもののうち、特に重視しているものを、2つまでお選びください。【問5（複数回答）】

- 本設問の回答は、「病気や治療についてわかりやすく説明してくれる」(41.5%)、「自分の持病を、継続的に診てくれる」(31.1%)、「自宅から近く通院が便利」(30.7%)の順で多かった。
- 最も回答割合の高かった「病気や治療についてわかりやすく説明してくれる」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに3～4割台であった。

図表 7 かかりつけ医に期待すること



	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
病気や治療についてわかりやすく説明してくれる	41.5%	43.3%	42.5%	39.3%	39.7%	40.8%	38.4%	41.3%	44.1%	45.6%	45.2%	43.0%	39.3%
自分の持病を、継続的に診てくれる	31.1%	27.3%	28.9%	31.4%	34.7%	41.0%	41.6%	21.7%	24.3%	26.3%	26.9%	30.8%	30.9%
幅広い病気・けがや症状を診てくれる	8.6%	10.8%	10.7%	8.5%	10.2%	8.1%	8.0%	9.4%	6.7%	9.3%	8.8%	7.1%	7.2%
必要に応じて専門の医療機関を紹介してくれる	19.1%	14.1%	12.9%	12.2%	15.8%	23.9%	28.8%	12.7%	11.5%	14.0%	17.1%	23.3%	28.8%
健康や疾病予防、医療・介護の相談に気軽にしてくれる	4.7%	4.5%	3.6%	3.7%	5.4%	4.5%	6.4%	3.9%	3.3%	3.8%	5.2%	6.7%	4.8%
あなたの病歴や健康状態などをよく知っている	15.3%	11.7%	12.7%	15.2%	14.3%	13.8%	19.3%	17.2%	16.2%	16.6%	14.0%	12.6%	16.1%
あなたのご家族の病歴や健康状態などをよく知っている	2.2%	4.1%	2.0%	2.4%	2.2%	1.6%	2.2%	2.9%	2.6%	2.3%	2.1%	1.9%	1.2%
気になる症状が生じたなど、必要となった時にいつでも連絡が取れ、適切な指示をしてくれる	8.4%	5.7%	5.9%	5.1%	6.8%	4.9%	8.3%	7.5%	7.8%	9.5%	11.5%	14.1%	11.3%
深夜や休日などの緊急時にも診てくれる	2.8%	3.3%	3.6%	3.1%	3.9%	2.8%	2.1%	2.6%	3.9%	2.2%	2.6%	2.4%	2.2%
外来に通えなくなった場合も、定期的に自宅に来て診察してくれる	1.0%	1.7%	0.5%	0.2%	0.5%	0.7%	1.7%	0.5%	0.3%	0.4%	1.4%	0.7%	2.0%
最新の設備が整えられている	1.9%	2.2%	2.0%	1.7%	1.7%	1.6%	2.2%	1.7%	2.1%	1.0%	1.4%	2.0%	2.5%
自宅から近く通院が便利	30.7%	22.5%	27.9%	30.9%	28.3%	27.8%	24.3%	34.2%	36.6%	33.5%	36.3%	34.8%	32.3%
職場から近く通院が便利	1.1%	1.7%	1.8%	1.3%	2.4%	0.9%	0.2%	1.8%	0.8%	0.6%	1.6%	0.8%	0.0%
医師の人柄がよい	10.3%	8.4%	7.7%	9.5%	8.7%	6.1%	5.7%	16.6%	17.1%	15.8%	12.1%	9.7%	10.0%
その他	0.4%	0.2%	0.5%	0.6%	1.0%	0.3%	0.2%	0.3%	0.8%	0.1%	0.4%	0.4%	0.3%
かかりつけ医を持つ必要性を感じていない	6.5%	15.6%	14.2%	12.2%	7.3%	6.3%	2.6%	7.7%	6.2%	5.3%	3.4%	2.0%	2.2%

3. 医療機関へのかかり方

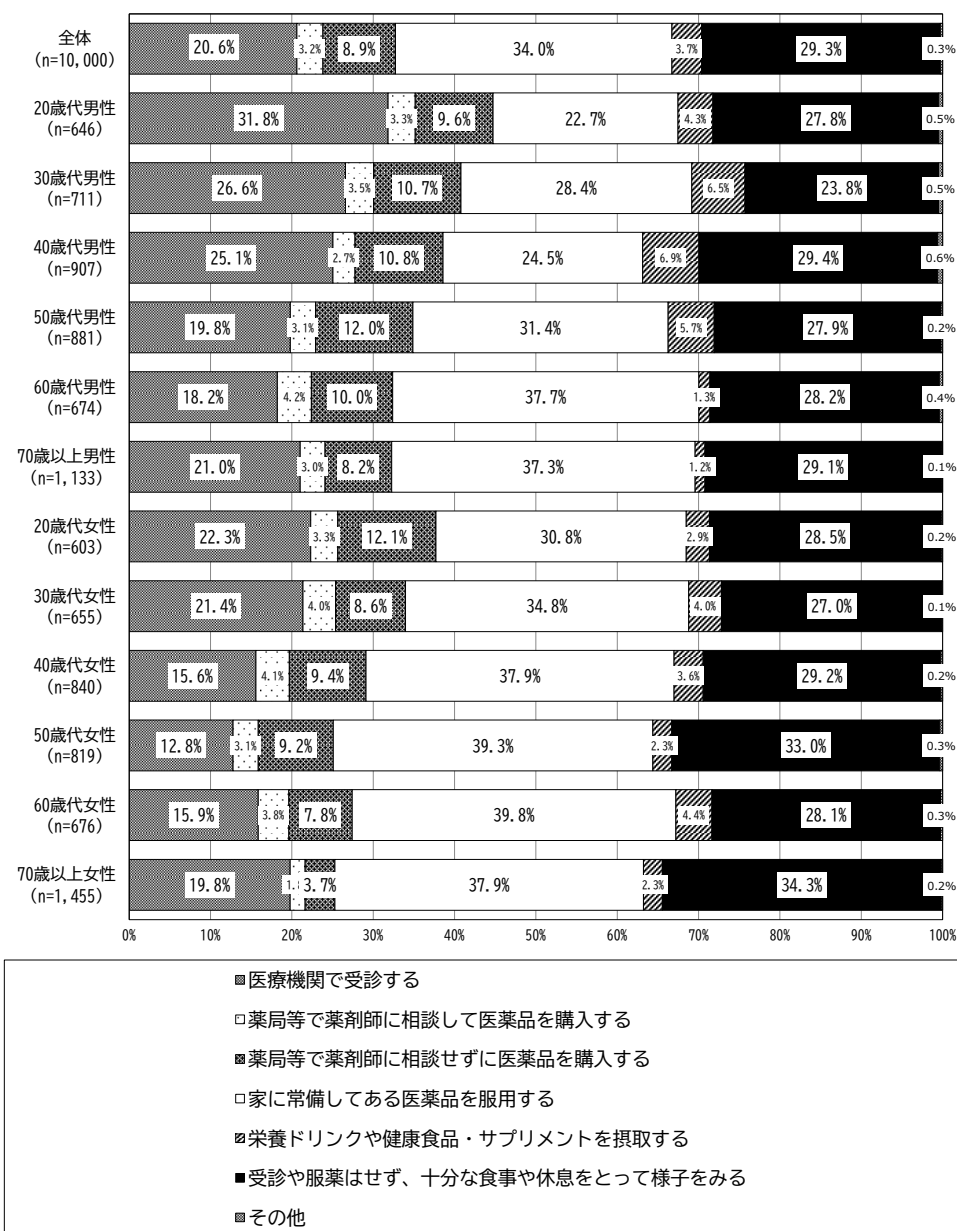
(1) 軽度の体調不良を覚えた際の対処法

🌈 かぜのひきはじめ等の軽度の体調不良の際、あなたはどのように対処することが多いですか。最も頻度が高いもの1つをお選びください。【問6（単数回答）】

○本設問の回答は、「家に常備してある医薬品を服用する」（34.0%）、「受診や服薬はせず、十分な食事や休息をとって様子を見る」（29.3%）、「医療機関で受診する」（20.6%）の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「家に常備してある医薬品を服用する」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性は2～3割台、女性は3割台であった。

図表 8 軽度の体調不良を覚えた際の対処法



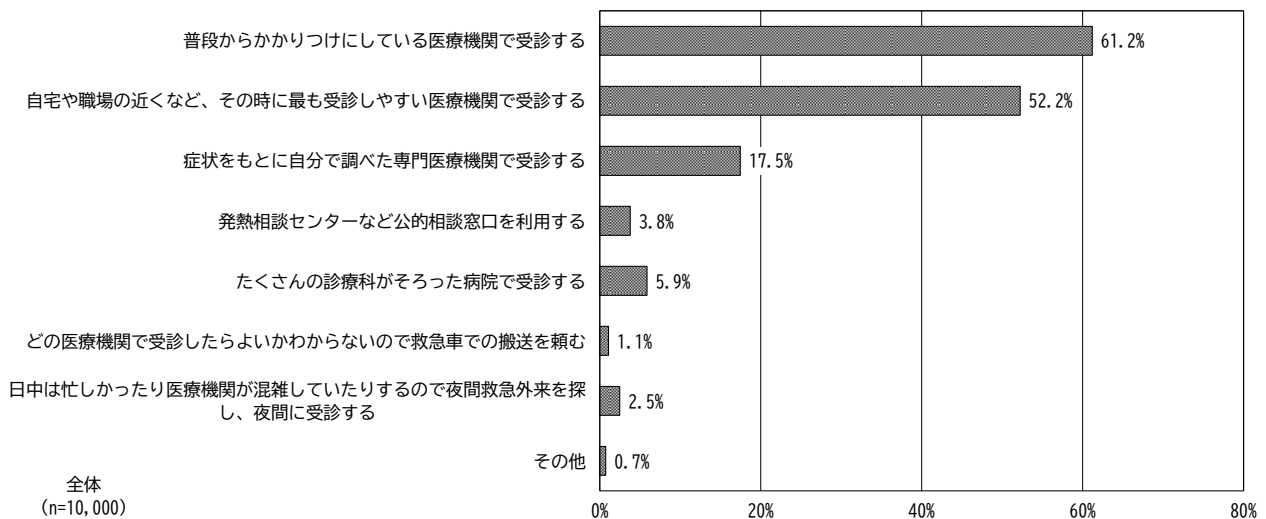
(2) 体調不良を覚えて当日中に医療機関受診する場合のかかり方

平日のお昼過ぎに体調不良を覚え、当日中に医療機関で受診したほうがよさそうだ、と考えたとします（自分一人で医療機関に受診できる程度の体調不良とします）。あなたは、受診先の医療機関をどのように選びたいと思いますか。当てはまるものを2つまでお選びください。【問7（複数回答）】

○本設問の回答は、「普段からかかりつけにしている医療機関で受診する」（61.2%）、「自宅や職場の近くなど、その時に最も受診しやすい医療機関で受診する」（52.2%）の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「普段からかかりつけにしている医療機関で受診する」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性：4～7割台、女性：5～7割台）がみられた。

図表 9 体調不良を覚えて当日中に医療機関受診する場合のかかり方



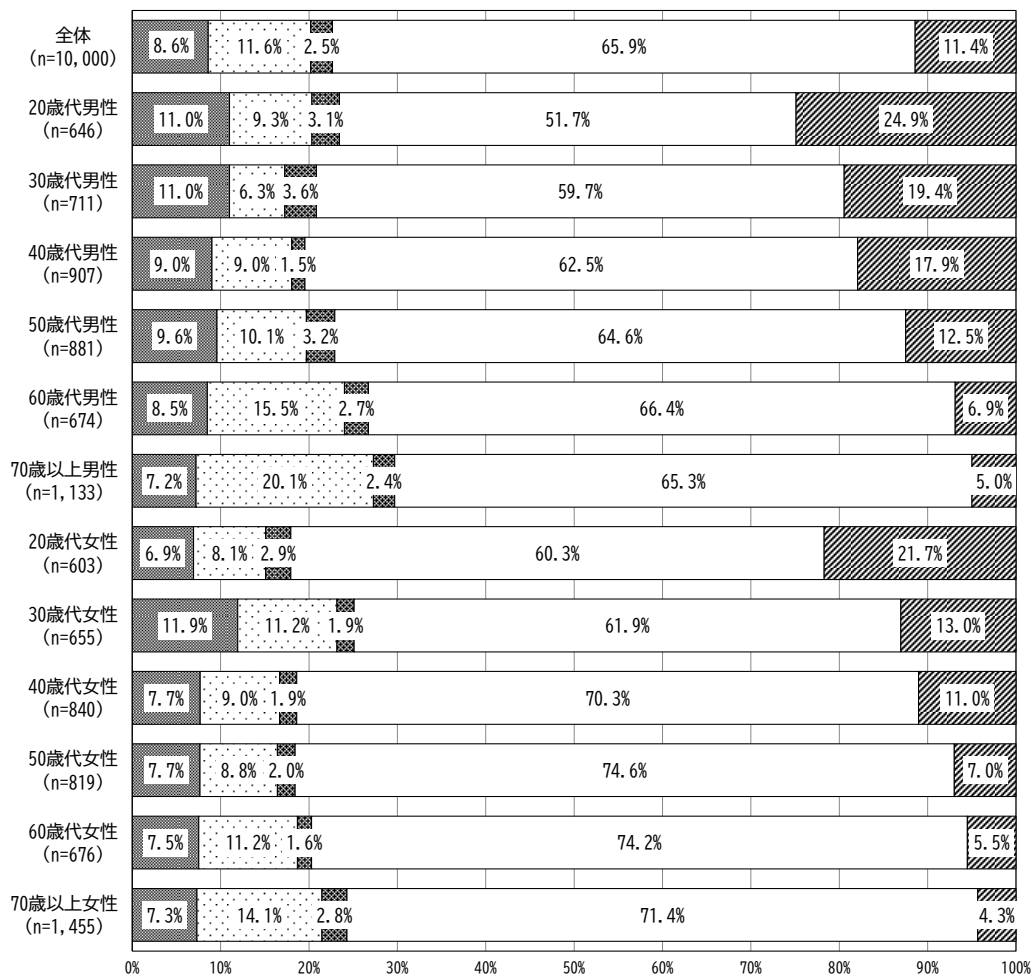
	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=403)	30歳代女性 (n=455)	40歳代女性 (n=340)	50歳代女性 (n=319)	60歳代女性 (n=476)	70歳以上女性 (n=1,455)
普段からかかりつけにしている医療機関で受診する	61.2%	50.0%	49.5%	52.2%	55.6%	64.5%	77.6%	51.1%	56.6%	54.9%	57.4%	65.9%	76.4%
自宅や職場の近くなど、その時に最も受診しやすい医療機関で受診する	52.2%	56.7%	58.6%	58.2%	56.4%	53.3%	41.7%	63.0%	61.0%	60.3%	55.5%	49.2%	35.1%
症状をもとに自分で調べた専門医療機関で受診する	17.5%	22.5%	21.2%	17.2%	17.3%	15.4%	14.5%	19.9%	20.0%	17.4%	18.9%	15.2%	15.0%
発熱相談センターなど公的相談窓口を利用する	3.8%	5.3%	4.7%	2.3%	3.3%	3.5%	4.3%	3.6%	1.9%	2.9%	2.1%	4.2%	5.8%
たくさんの診療科がそろった病院で受診する	5.9%	7.9%	6.6%	5.2%	5.0%	6.5%	9.1%	3.2%	3.3%	3.4%	3.7%	5.6%	7.8%
どの医療機関で受診したらよいかわからないので救急車での搬送を頼む	1.1%	1.9%	2.4%	0.8%	0.8%	0.7%	2.5%	2.1%	0.6%	0.4%	0.2%	0.8%	0.3%
日中は忙しかったり医療機関が混雑していたりするので夜間救急外来を探し、夜間に受診する	2.5%	5.5%	5.8%	4.0%	2.9%	1.1%	0.6%	3.6%	4.0%	2.2%	1.8%	0.5%	0.8%
その他	0.7%	1.0%	0.5%	1.3%	0.6%	1.5%	0.8%	0.2%	0.7%	0.4%	0.4%	0.8%	0.7%

(3) 大病院での外来受診の際に「選定療養費」を支払った経験の有無

一部の大規模な病院では、紹介状を持たずに外来受診すると、国の制度により、通常の医療費とは別に「特別な料金（選定療養費）」がかかります。あなたは、過去1年以内にこの「特別な料金（選定療養費）」を支払って、このような病院で紹介状を持たずに初診を受けたことがありますか。当てはまるもの1つをお選びください。【問8（単数回答）】

○本設問で「紹介状を持たずに、「特別な料金（選定療養費）」を支払って、初診を受けたことがある」と回答した方の割合は、8.6%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、若年層（20~30歳代の男性、30歳代の女性）が1割台、他の年代は1割未満であった。

図表 10 大病院での外来受診の際に「選定療養費」を支払った経験の有無



- 紹介状を持たずに、「特別な料金（選定療養費）」を支払って、初診を受けたことがある
- 「特別な料金（選定療養費）」の対象となる大規模な病院で受診したことがあるが、初診の際に紹介状を持参したため、「特別な料金（選定療養費）」は一度も支払っていない
- 「特別な料金（選定療養費）」の対象となる大規模な病院で受診したことがあるが、救急や公費負担医療等での受診であったため、「特別な料金（選定療養費）」は一度も支払っていない
- 過去1年以内に、「特別な料金（選定療養費）」の対象となる大規模な病院は受診していない
- わからない

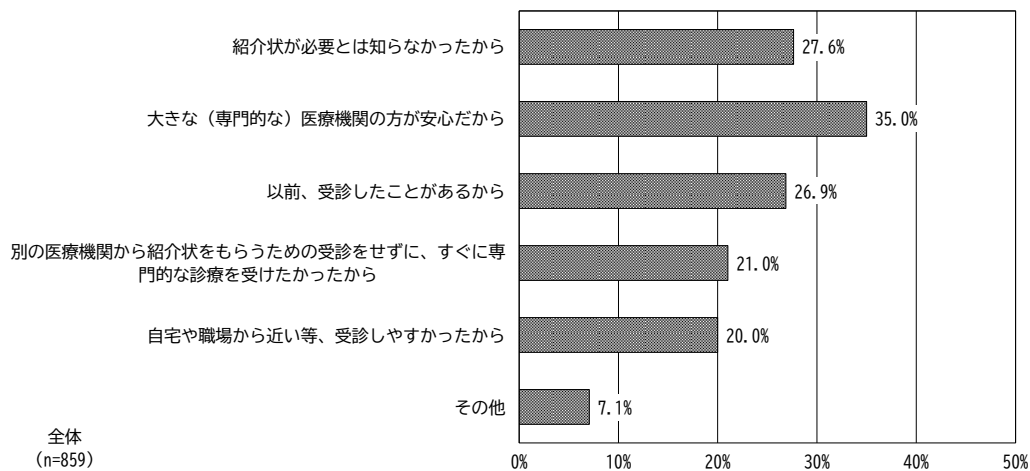
(4) 紹介状を持たずに大規模な病院で受診した理由

《「紹介状を持たずに選定療養費を支払って、初診を受けたことがある」と回答した方》

✚ 紹介状を持たずに、大規模な病院で受診した理由について、当てはまるものを2つまでお選びください。【問9（複数回答）】

- 本設問の回答は、「大きな（専門的な）医療機関の方が安心だから」（35.0%）、「紹介状が必要とは知らなかったから」（27.6%）、「以前、受診したことがあるから」（26.9%）の順が多かった。
- 最も回答割合の高かった「大きな（専門的な）医療機関の方が安心だから」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性は3～4割台で横ばいに対し、女性は1～4割でばらつきがみられた。

図表 11 紹介状を持たずに大規模な病院で受診した理由



	全体 (n=859)	20歳代男性 (n=71)	30歳代男性 (n=78)	40歳代男性 (n=82)	50歳代男性 (n=85)	60歳代男性 (n=57)	70歳以上男性 (n=82)	20歳代女性 (n=42)	30歳代女性 (n=78)	40歳代女性 (n=65)	50歳代女性 (n=63)	60歳代女性 (n=51)	70歳以上女性 (n=107)
紹介状が必要とは知らなかったから	27.6%	43.5%	36.0%	37.8%	29.0%	19.0%	18.9%	21.7%	26.7%	33.8%	13.0%	19.6%	25.0%
大きな（専門的な）医療機関の方が安心だから	35.0%	37.0%	40.7%	38.9%	36.6%	36.5%	35.6%	19.6%	29.1%	26.8%	44.9%	33.9%	34.1%
以前、受診したことがあるから	26.9%	26.1%	22.1%	20.0%	28.0%	36.5%	36.7%	13.0%	19.8%	22.5%	33.3%	32.1%	29.5%
別の医療機関から紹介状をもらうための受診をせずに、すぐに専門的な診療を受けたかったから	21.0%	13.0%	24.4%	12.2%	17.2%	19.0%	23.3%	17.4%	22.1%	25.4%	24.6%	19.6%	29.5%
自宅や職場から近い等、受診しやすかったから	20.0%	21.7%	25.6%	16.7%	21.5%	23.8%	17.8%	37.0%	22.1%	15.5%	14.5%	19.6%	13.6%
その他	7.1%	6.5%	2.3%	8.9%	6.5%	3.2%	4.4%	17.4%	7.0%	7.0%	8.7%	7.1%	9.1%

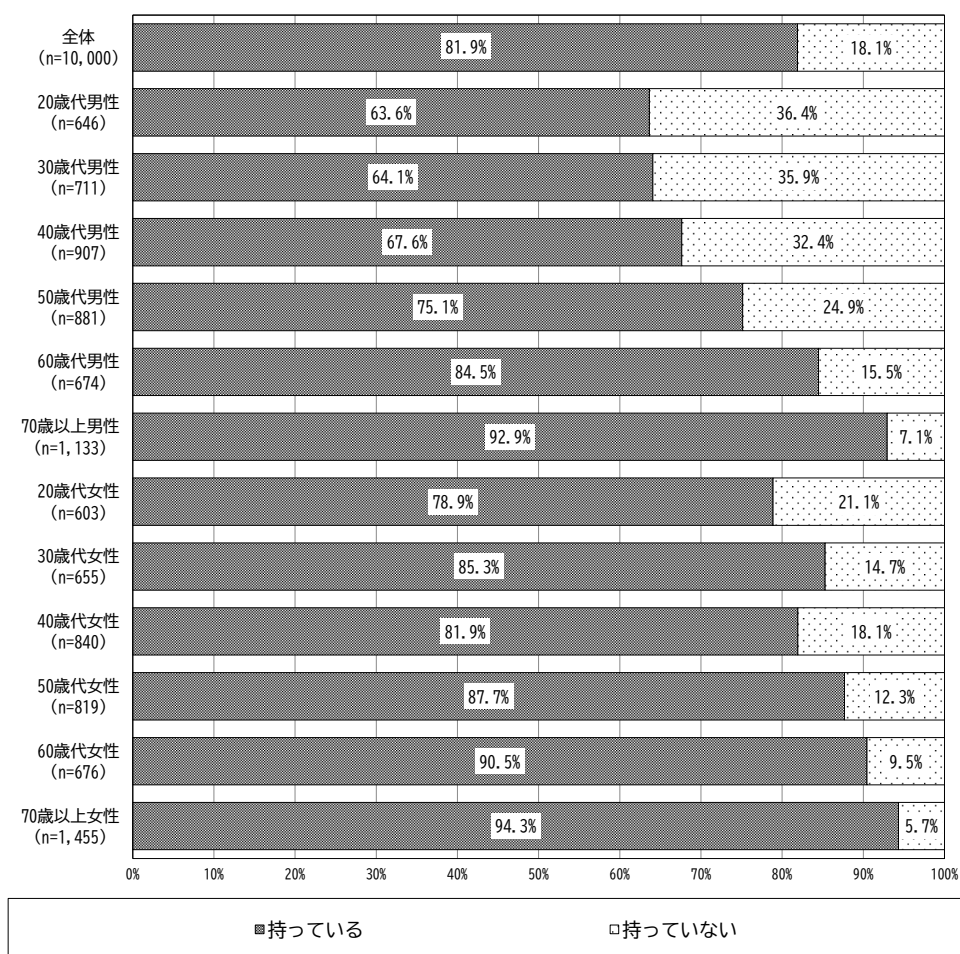
4. お薬手帳について

(1) お薬手帳の保有状況

あなたは「お薬手帳」を持っていますか（スマートフォンのアプリ等による電子版のお薬手帳も含みます）。当てはまるもの1つをお選びください。【問10（単数回答）】

○本設問で「持っている」と回答した方の割合は、81.9%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性：6～9割台、女性：7～9割台）がみられた。

図表 12 お薬手帳の保有状況



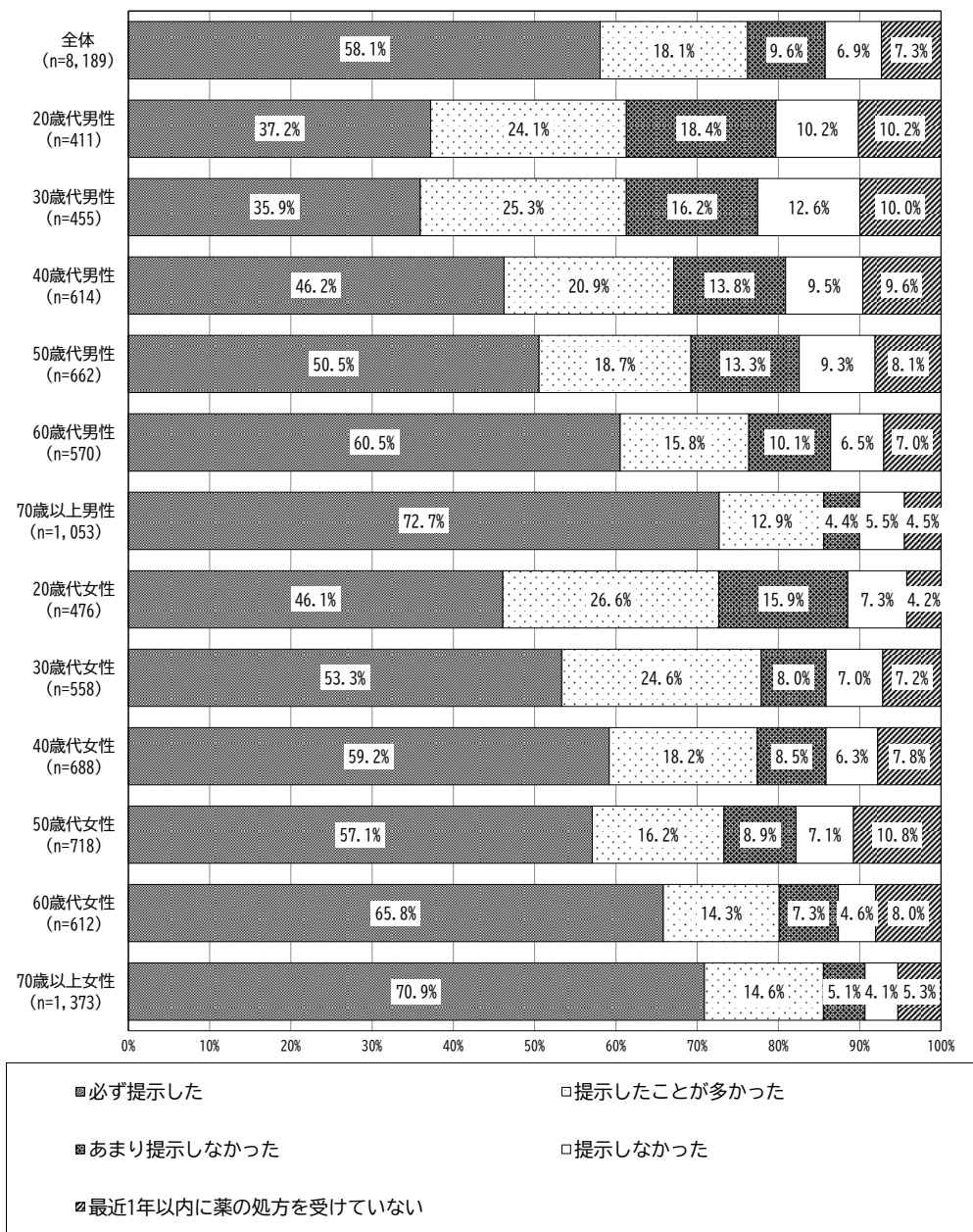
(2) 処方薬を受け取った際のお薬手帳の提示状況

《「お薬手帳を持っている」と回答した方》

最近1年以内に、医療機関で処方された薬を医療機関や薬局で受け取った際に、あなたは「お薬手帳」を提示しましたか。当てはまるもの1つをお選びください。【問 11（単数回答）】

○本設問で「必ず提示した」と回答した方の割合は、58.1%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性：3～7割台、女性：4～7割台）がみられた。

図表 13 処方薬を受け取った際のお薬手帳の提示状況



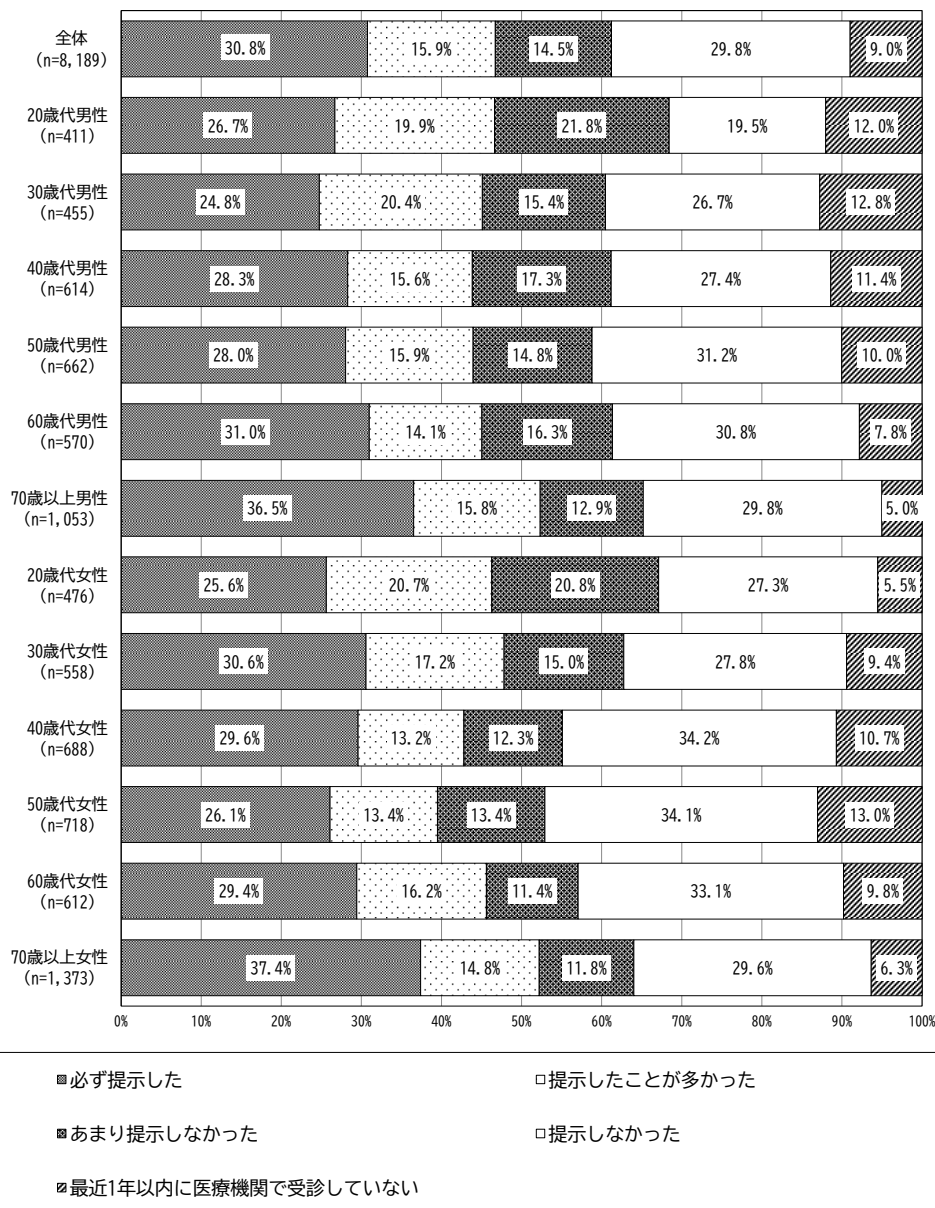
(3) 医療機関受診時の医師や看護師等に対するお薬手帳の提示状況

《「お薬手帳を持っている」と回答した方》

最近1年以内に、受診した医療機関において、医師や看護師等に対して「お薬手帳」を提示しましたか。当てはまるもの1つをお選びください。【問12（単数回答）】

○本設問で「必ず提示した」と回答した方の割合は、30.8%であった。その内訳を性別・年齢区別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性：2～3割台、女性：2～3割台）がみられた。

図表 14 医療機関受診時の医師や看護師等に対するお薬手帳の提示状況



(4) お薬手帳を提示しなかった理由

《「お薬手帳を提示しなかった」と回答した方》

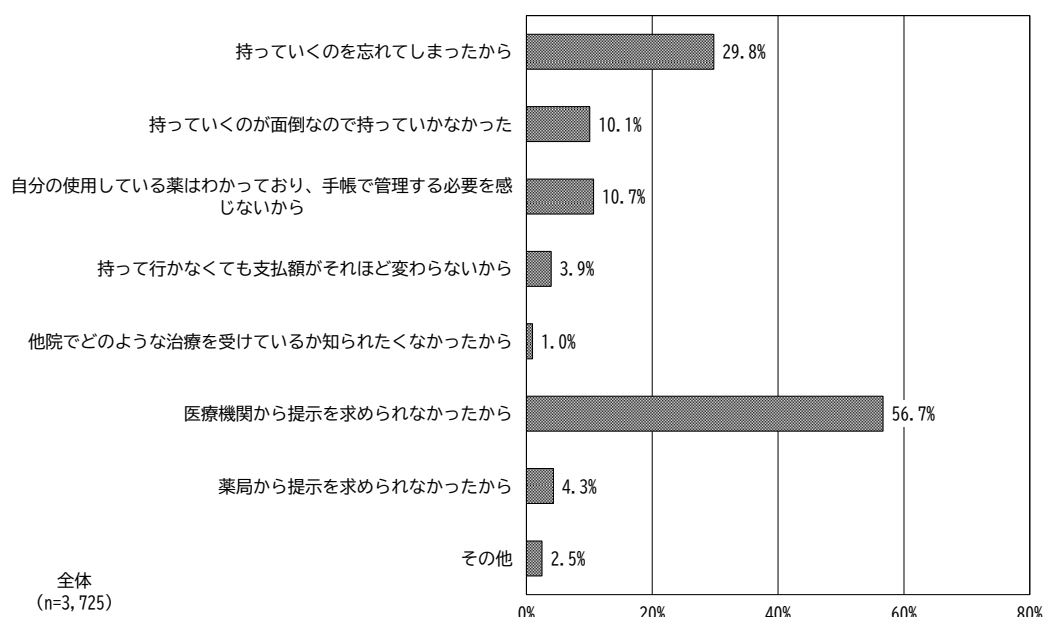
「お薬手帳」を提示しなかった理由は何ですか。当てはまるものすべてをお選びください。

【問 13 (複数回答)】

○本設問の回答は、「医療機関から提示を求められなかったから」(56.7%)、「持っていくのを忘れてしまったから」(29.8%)の順が多かった。

○最も回答割合の高かった「医療機関から提示を求められなかったから」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向(男性：2～6割台、女性：4～7割台)がみられた。

図表 15 お薬手帳を提示しなかった理由



	全体 (n=3,725)	20歳代男性 (n=179)	30歳代男性 (n=205)	40歳代男性 (n=283)	50歳代男性 (n=313)	60歳代男性 (n=272)	70歳以上男性 (n=457)	20歳代女性 (n=230)	30歳代女性 (n=243)	40歳代女性 (n=328)	50歳代女性 (n=345)	60歳代女性 (n=261)	70歳以上女性 (n=581)
持っていくのを忘れてしまったから	29.8%	49.1%	44.4%	37.9%	31.7%	30.4%	19.5%	37.5%	34.0%	31.9%	29.5%	24.9%	17.9%
持っていくのが面倒なので持っていかなかった	10.1%	12.9%	24.0%	18.6%	12.5%	10.4%	7.0%	13.4%	8.6%	7.5%	6.6%	5.2%	6.3%
自分の使用している薬はわかっており、手帳で管理する必要を感じないから	10.7%	12.1%	6.2%	11.3%	8.7%	12.4%	17.5%	7.7%	10.4%	5.8%	7.1%	9.1%	13.3%
持って行かなくても支払額がそれほど変わらないから	3.9%	11.2%	12.0%	5.8%	4.7%	4.3%	3.2%	3.4%	4.1%	1.4%	1.6%	1.6%	2.1%
他院でどのような治療を受けているか知られなくなかったから	1.0%	3.4%	4.4%	2.6%	0.9%	0.0%	0.4%	0.8%	1.5%	0.3%	0.8%	0.0%	0.0%
医療機関から提示を求められなかったから	56.7%	26.7%	33.8%	42.4%	48.0%	55.9%	67.0%	48.3%	58.6%	60.7%	62.6%	66.3%	70.0%
薬局から提示を求められなかったから	4.3%	6.9%	6.7%	6.8%	7.3%	4.7%	3.2%	3.8%	4.1%	3.0%	3.2%	1.9%	3.3%
その他	2.5%	0.9%	1.3%	1.3%	4.7%	2.3%	3.0%	2.3%	1.1%	0.8%	2.4%	3.2%	3.8%

5. 後発医薬品（ジェネリック医薬品）について

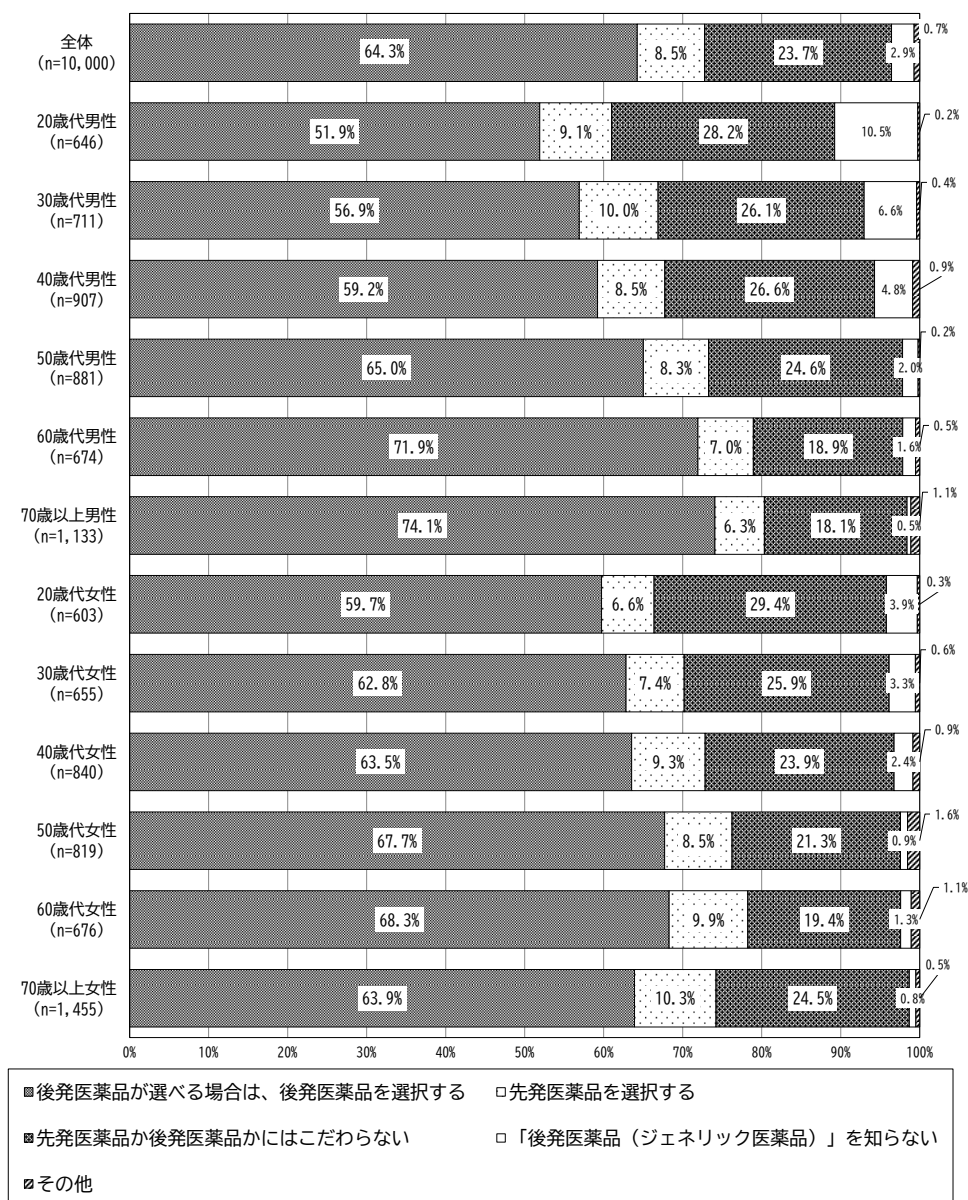
(1) 処方薬を受け取った際の後発医薬品の選択状況

あなたは医療機関から処方を受けた薬を受け取る際に、「後発医薬品（ジェネリック医薬品）」を選択していますか。当てはまるもの1つをお選びください。【問14（単数回答）】

○本設問の回答は、「後発医薬品が選べる場合は、後発医薬品を選択する」（64.3%）、「先発医薬品か後発医薬品かにはこだわらない」（23.7%）」の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「後発医薬品が選べる場合は、後発医薬品を選択する」の内訳を性別・年齢区分別にみると、年齢区分が上がるにつれて男性は増加傾向（男性：5～7割台）、女性は6割前後で横ばいであった。

図表 16 処方薬を受け取った際の後発医薬品の選択状況



(2) 後発医薬品を提示しなかった理由

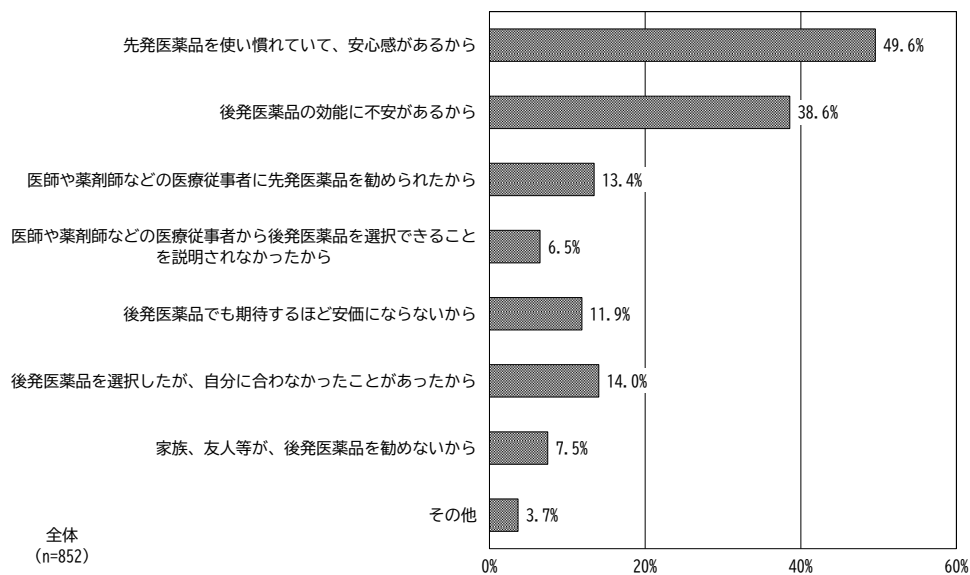
《「先発医薬品を選択する」と回答した方》

📌 後発医薬品（ジェネリック医薬品）を選択しない理由は何ですか。当てはまるものすべてをお選びください。【問 15（複数回答）】

○本設問の回答は、「先発医薬品を使い慣れていて、安心感があるから」（49.6%）、「後発医薬品の効能に不安があるから」（38.6%）」の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「先発医薬品を使い慣れていて、安心感があるから」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性：2～5割台、女性：3～6割台）がみられた。

図表 17 後発医薬品を提示しなかった理由



	全体 (n=852)	20歳代男性 (n=99)	30歳代男性 (n=71)	40歳代男性 (n=77)	50歳代男性 (n=73)	60歳代男性 (n=49)	70歳以上男性 (n=71)	20歳代女性 (n=40)	30歳代女性 (n=48)	40歳代女性 (n=78)	50歳代女性 (n=70)	60歳代女性 (n=67)	70歳以上女性 (n=130)
先発医薬品を使い慣れていて、安心感があるから	49.6%	26.3%	38.5%	38.8%	40.0%	57.7%	59.0%	38.6%	49.1%	48.8%	48.1%	54.1%	69.4%
後発医薬品の効能に不安があるから	38.6%	42.1%	19.2%	38.8%	45.0%	44.2%	42.3%	20.5%	32.1%	48.8%	44.2%	41.9%	37.1%
医師や薬剤師などの医療従事者に先発医薬品を勧められたから	13.4%	15.8%	16.7%	12.9%	13.8%	5.8%	11.5%	11.4%	17.0%	19.8%	10.4%	14.9%	11.3%
医師や薬剤師などの医療従事者から後発医薬品を選択できることを説明されなかったから	6.5%	15.8%	14.1%	7.1%	8.8%	3.8%	5.1%	22.7%	3.8%	2.3%	3.9%	1.4%	1.6%
後発医薬品でも期待するほど安価にならないから	11.9%	15.8%	15.4%	22.4%	11.3%	3.8%	7.7%	9.1%	15.1%	12.8%	7.8%	10.8%	9.7%
後発医薬品を選択したが、自分に合わなかったことがあったから	14.0%	23.7%	9.0%	14.1%	11.3%	7.7%	15.4%	11.4%	20.8%	14.0%	11.7%	18.9%	12.9%
家族、友人等が、後発医薬品を勧めないから	7.5%	10.5%	10.3%	3.5%	10.0%	9.6%	2.6%	9.1%	5.7%	12.8%	15.6%	2.7%	3.2%
その他	3.7%	0.0%	3.8%	2.4%	10.0%	5.8%	3.8%	2.3%	3.8%	4.7%	0.0%	4.1%	3.2%

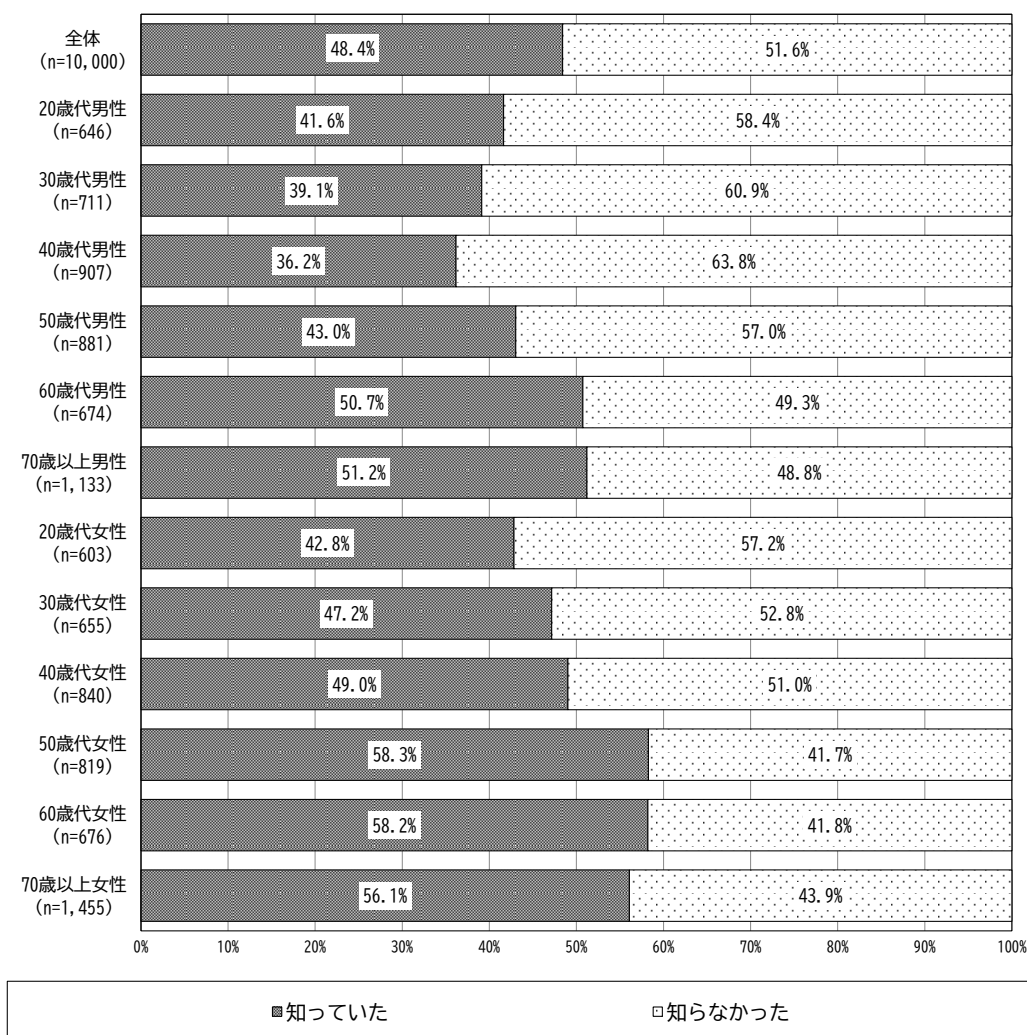
6. 入院医療について

(1) 患者の状況に応じて入院先からの転院があることの認知状況

✚ 入院医療では、それぞれの患者の状況に応じて、入院する病院や病棟を変える場合があります。(例えば、手術の前後には「急性期病院」に入院し、リハビリテーションを行う段階では「回復期病院」に転院し、長期にわたって療養が必要となる患者は「療養病棟(療養病床)」に転院するなど)。このことについて、あなたは知っていましたか。当てはまるもの1つをお選びください。【問16(単数回答)】

○本設問で「知っていた」と回答した方の割合は、48.4%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向(男性(40歳以上):3~5割台、女性:4~5割台)がみられた。

図表 18 患者の状況に応じて入院先からの転院があることの認知状況



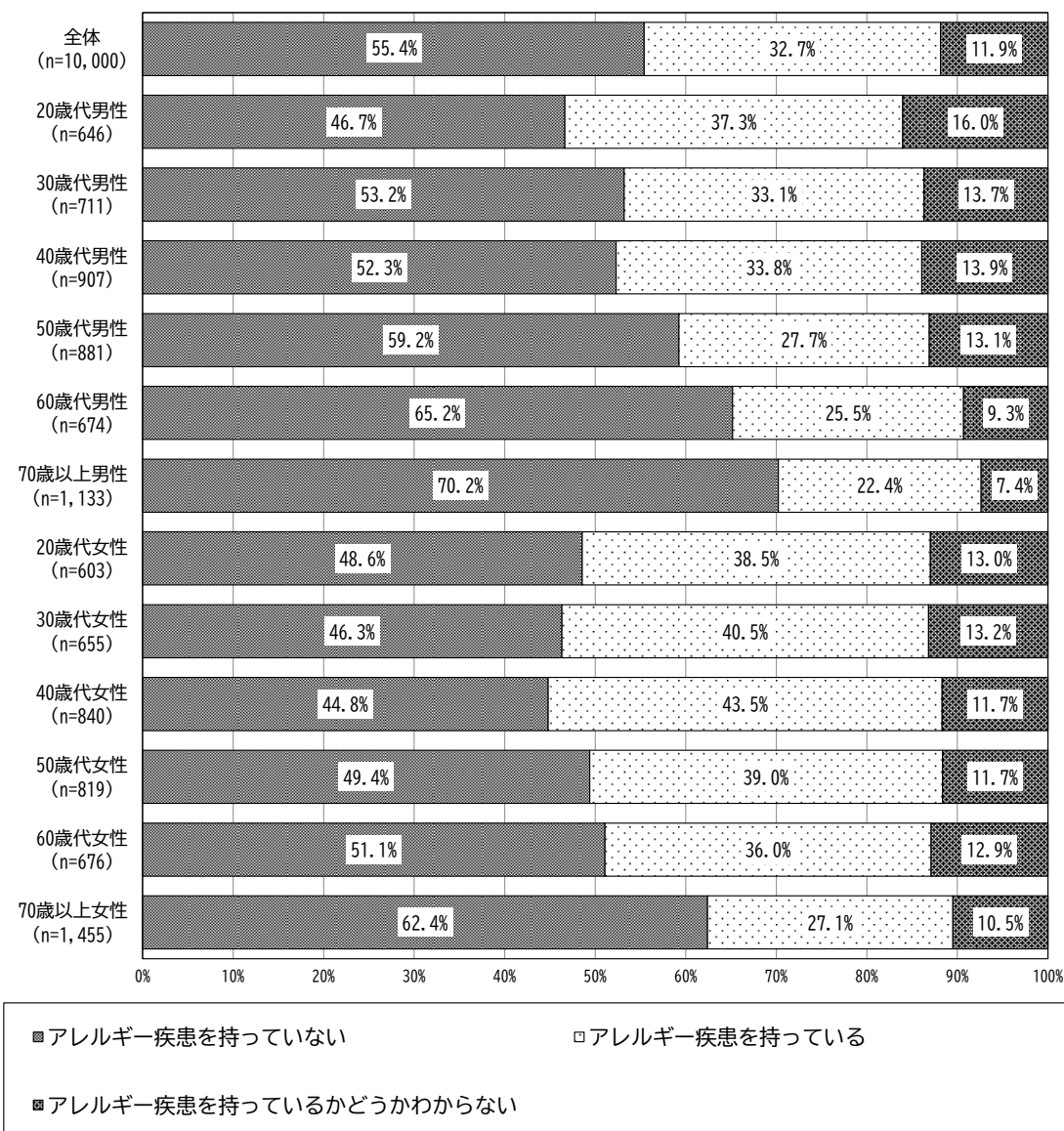
7. アレルギー疾患について

(1) アレルギー疾患の有無

あなたは現在、アレルギー疾患（気管支ぜん息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー結膜炎、花粉症、食物アレルギー等）を持っていますか。当てはまるもの1つをお選びください。【問 17（単数回答）】

○本設問で「アレルギー疾患を持っている」と回答した方の割合は、32.7%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね減少傾向（男性：2～3割台、女性（40歳以上）：2～4割台）がみられた。

図表 19 アレルギー疾患の有無



(2) 自身が持っているアレルギー疾患

《「アレルギー疾患を持っている」と回答した方》

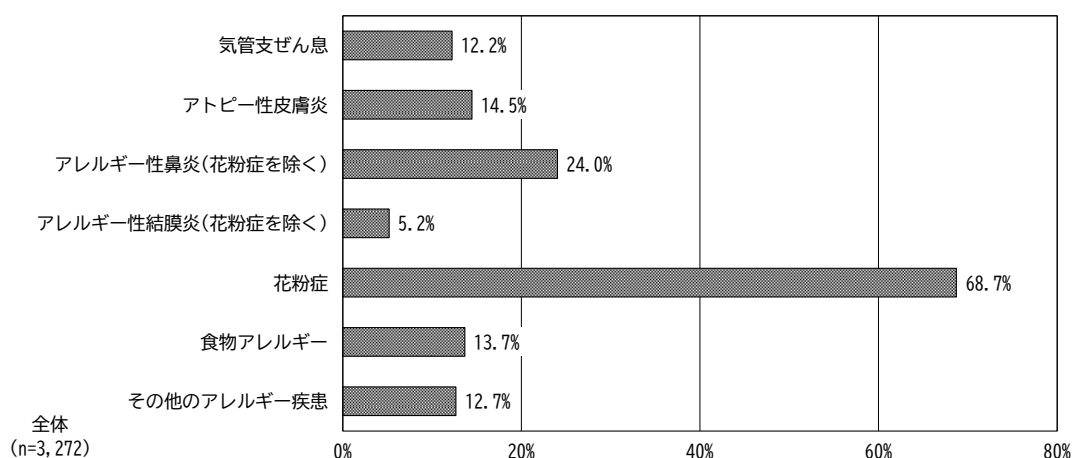
🚩 あなたが持っているアレルギー疾患は何ですか。当てはまるものすべてをお選びください。

【問 18 (複数回答)】

○本設問の回答は、「花粉症」(68.7%)、「アレルギー性鼻炎(花粉症を除く)」(24.0%)の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「花粉症」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに6～7割台であった。

図表 20 自身が持っているアレルギー疾患



	全体 (n=3,272)	20歳代男性 (n=241)	30歳代男性 (n=235)	40歳代男性 (n=306)	50歳代男性 (n=244)	60歳代男性 (n=172)	70歳以上男性 (n=254)	20歳代女性 (n=232)	30歳代女性 (n=265)	40歳代女性 (n=365)	50歳代女性 (n=319)	60歳代女性 (n=244)	70歳以上女性 (n=395)
気管支ぜん息	12.2%	9.0%	13.5%	14.5%	11.2%	7.9%	9.3%	10.2%	15.1%	14.4%	14.5%	11.9%	11.7%
アトピー性皮膚炎	14.5%	19.9%	21.6%	20.2%	16.4%	6.9%	6.5%	18.4%	16.4%	15.7%	13.7%	6.7%	10.4%
アレルギー性鼻炎(花粉症を除く)	24.0%	33.3%	32.8%	20.5%	20.5%	15.9%	16.1%	27.5%	28.8%	27.9%	23.4%	18.3%	22.1%
アレルギー性結膜炎(花粉症を除く)	5.2%	6.4%	7.7%	4.5%	4.5%	1.1%	2.5%	6.7%	5.1%	6.5%	6.0%	4.1%	5.5%
花粉症	68.7%	66.0%	68.7%	68.2%	67.5%	73.0%	71.0%	70.6%	65.8%	71.1%	70.9%	74.6%	61.3%
食物アレルギー	13.7%	16.7%	14.3%	10.1%	11.9%	8.5%	6.8%	16.9%	18.2%	16.2%	14.2%	11.9%	15.3%
その他のアレルギー疾患	12.7%	7.7%	5.8%	7.1%	13.8%	13.2%	13.6%	12.5%	11.6%	15.7%	14.2%	14.2%	18.4%

(3) アレルギー疾患への対応状況

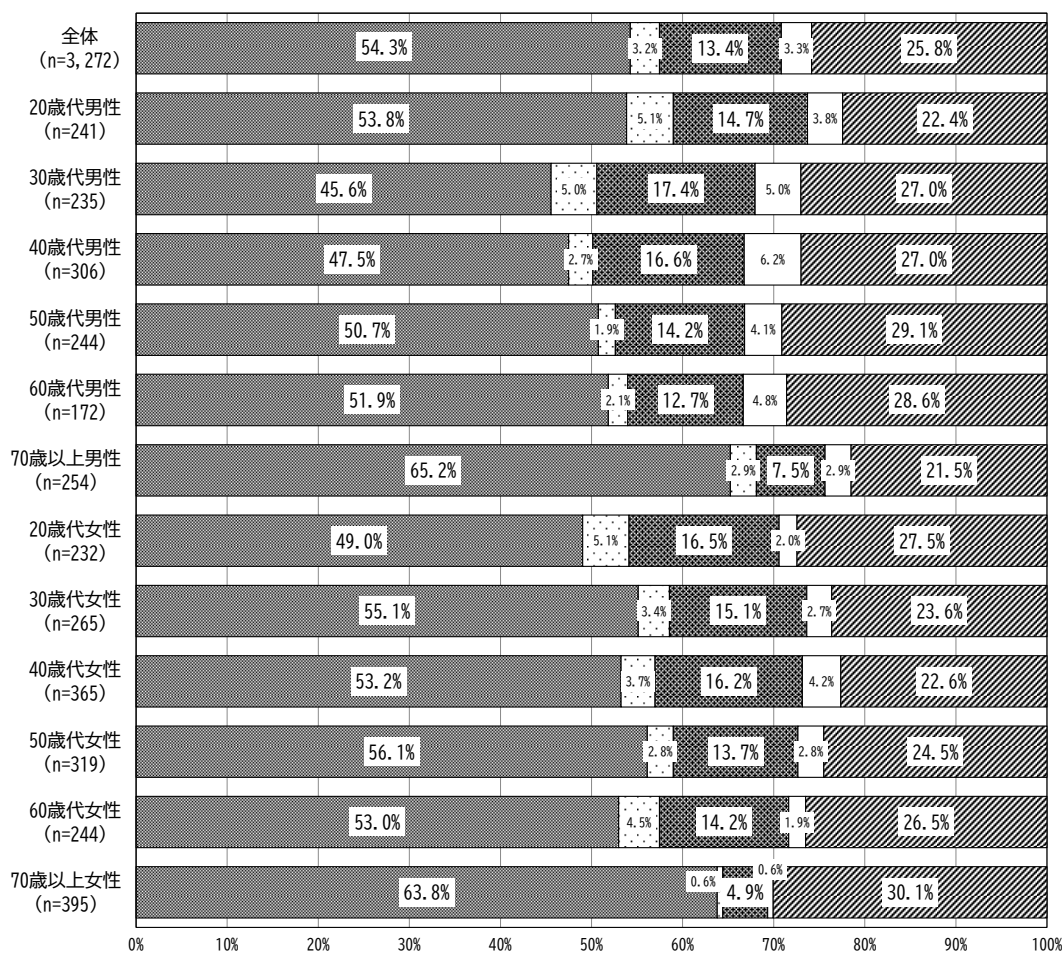
《「アレルギー疾患を持っている」と回答した方》

この1年間、あなたはどのように対応していましたか。あなたの状況に最も近いもの1つをお選びください。(複数を組み合わせてアレルギー疾患に対応している場合は、最も重視した(している)対応をお選びください。)【問19(単数回答)】

○本設問の回答は、「医療機関で受診した」(54.3%)、「医療機関で受診したり、医薬品を用いたりしていない」(25.8%)の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「医療機関で受診した」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに4～6割台であるものの、20～60歳代は年齢区分によってばらつきがみられた。

図表 21 アレルギー疾患への対応状況



- 医療機関で受診した
- 薬局等で薬剤師に相談して、医薬品を購入した
- 薬局等で薬剤師に相談せずに、医薬品を購入した
- インターネットで医薬品を購入した
- 医療機関で受診したり、医薬品を用いたりしていない

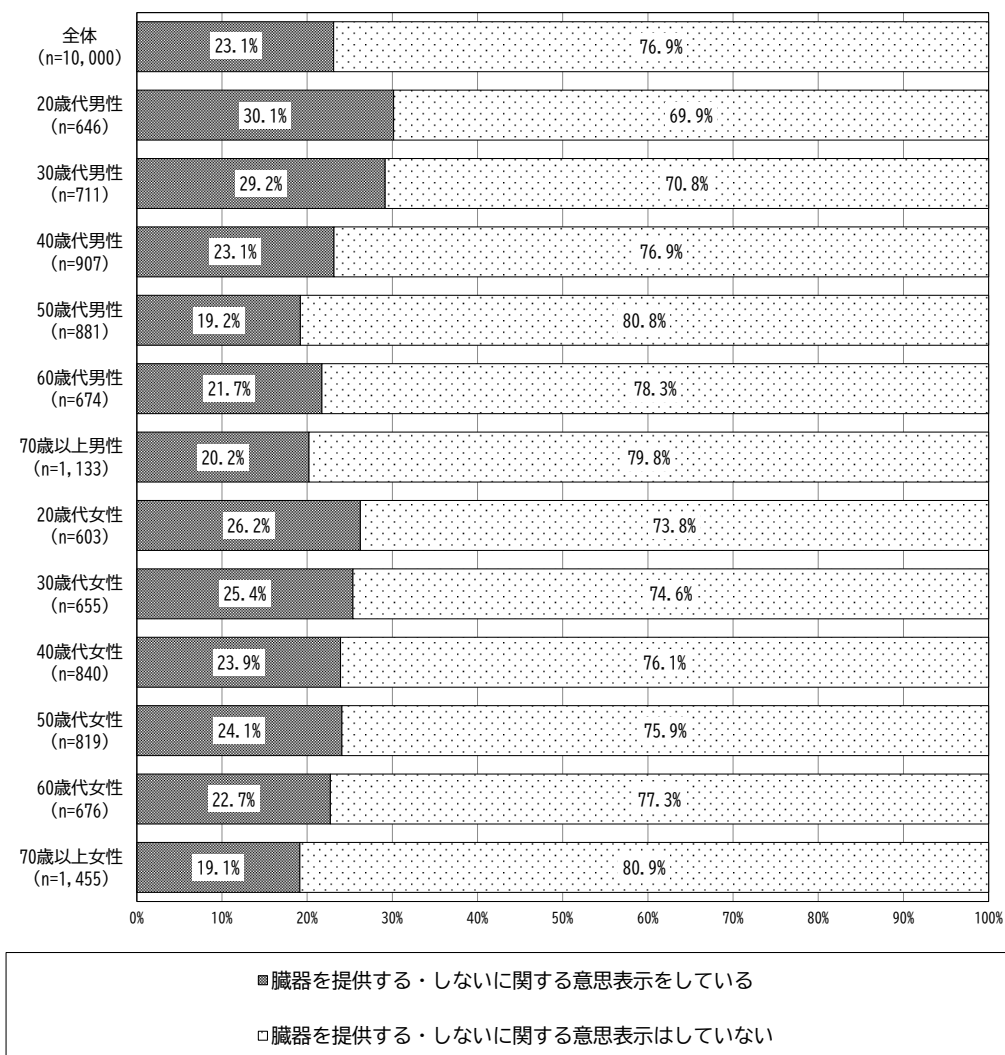
8. 臓器提供について

(1) 自身の臓器提供に対する意思表示の有無

あなたは、脳死と判定された場合、または心臓が停止し死亡と判断された場合の臓器提供について、提供する・しないに関する意思表示（運転免許証や健康保険証、マイナンバーカード等の意思表示欄への記入による）を行っていますか。当てはまるもの1つをお選びください。【問20（単数回答）】

○本設問で「臓器を提供する・しないに関する意思表示をしている」と回答した方の割合は、23.1%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性は1～3割台、女性は1～2割台であった。

図表 22 自身の臓器提供に対する意思表示の有無



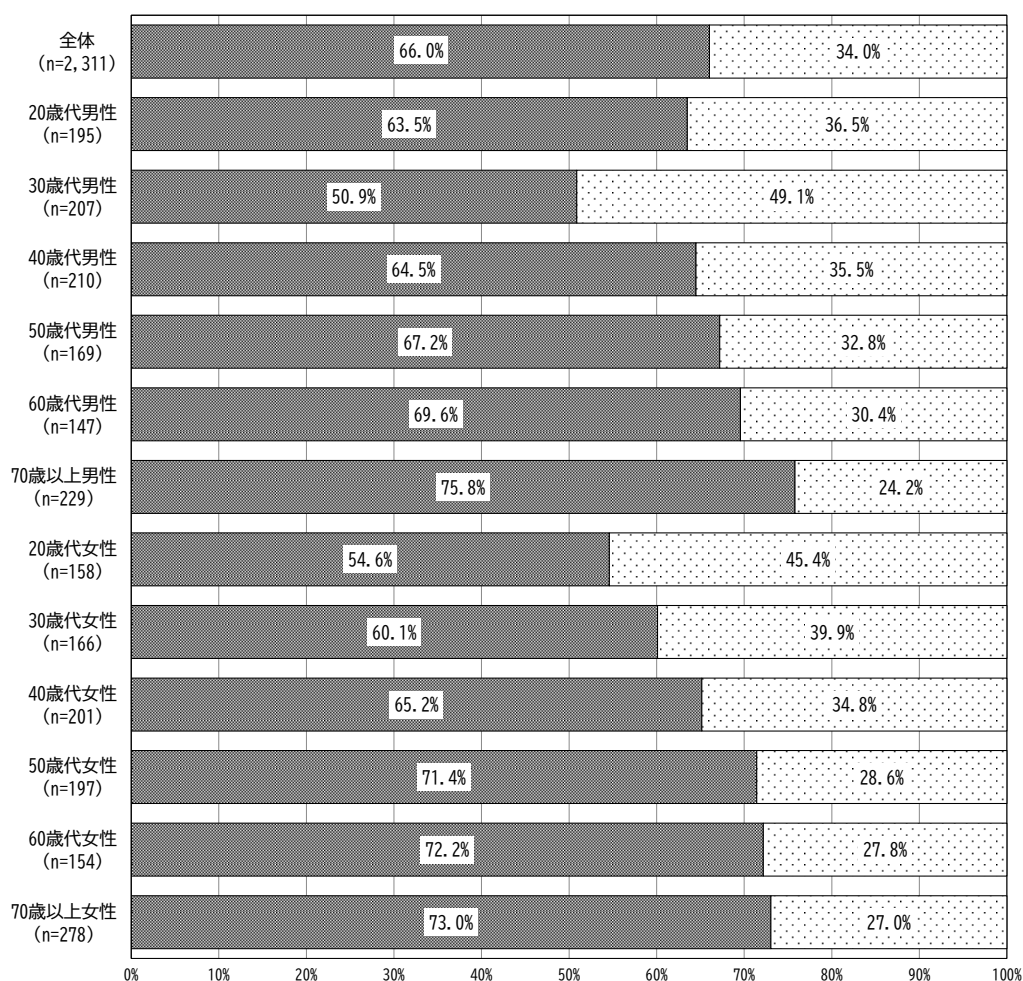
(2) 自身の臓器提供について家族等への意思表示の有無

《「臓器提供に対する意思表示をしている」と回答した方》

あなたは、臓器を提供する・しないに関する意思表示をしていることを、家族や親しい方に話していますか。当てはまるもの1つをお選びください。【問 21 (単数回答)】

○本設問で「あなたが臓器を提供する・しないに関する意思表示をしていることを、家族または親しい方に話している」と回答した方の割合は、66.0%であった。その内訳を性別・年齢区別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性（30歳以上）：5～7割台、女性：5～7割台）がみられた。

図表 23 自身の臓器提供について家族等への意思表示の有無



■あなたが臓器を提供する・しないに関する意思表示をしていることを、家族または親しい方に話している
 □あなたが臓器を提供する・しないに関する意思表示をしていることを、家族または親しい方に話してはいない

(3) 自身の臓器提供の可否及び意思表示の考え

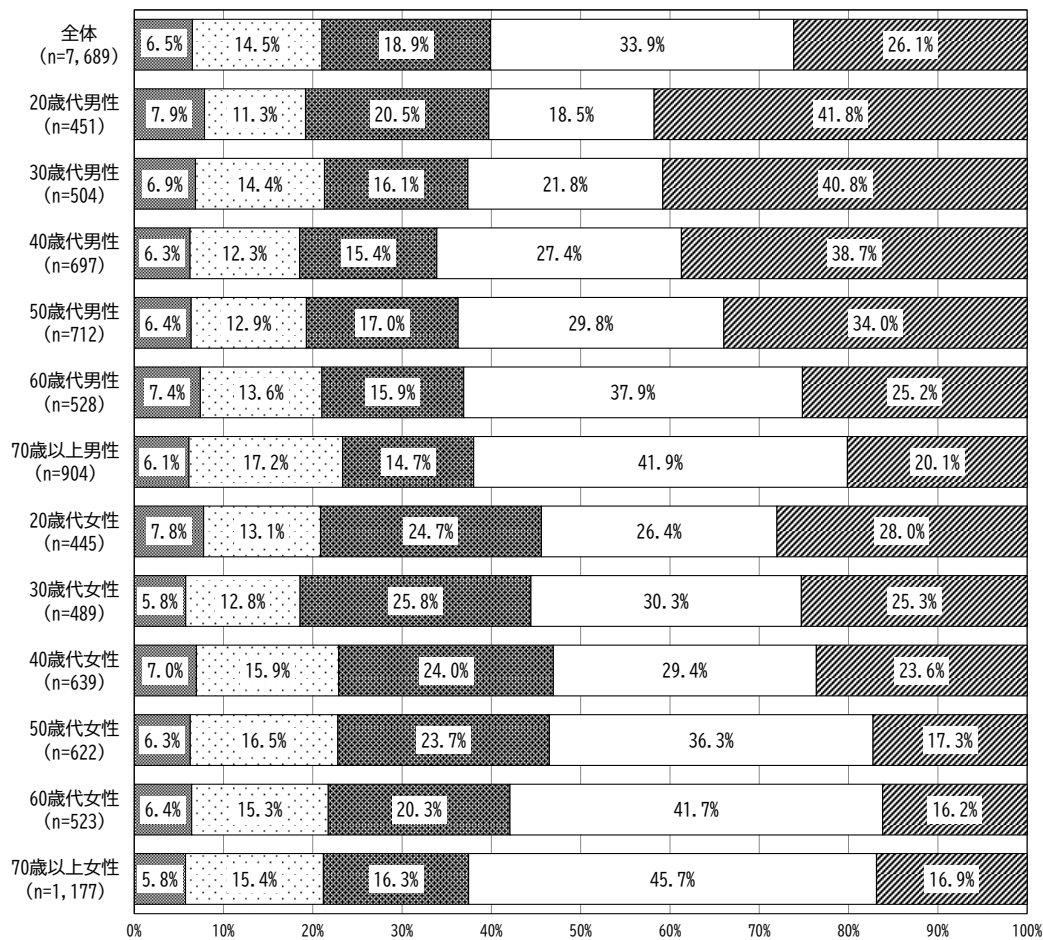
《「臓器提供に対する意思表示をしていない」と回答した方》

あなたは、臓器を提供する・しないを決めていますか。また、その意思表示をすることを考えていますか。当てはまるもの1つをお選びください。【問 22 (単数回答)】

○本設問の回答は、「臓器提供の可否に関心があるが、自身が臓器を提供する・しないについては考えていない」(33.9%)、「臓器提供の可否に関心がない」(26.1%)の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「臓器提供の可否に関心があるが、自身が臓器を提供する・しないについては考えていない」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向(男性：1～4割台、女性：2～4割台)がみられた。

図表 24 自身の臓器提供の可否及び意思表示の考え



- 臓器を提供する・しないは決めており、その意思表示をすることを考えている
- 臓器を提供する・しないは決めていないが、その意思表示をすることまでは考えていない
- 臓器提供の可否に関心があり、自身が臓器を提供する・しないについては考え中である
- 臓器提供の可否に関心があるが、自身が臓器を提供する・しないについては考えていない
- 臓器提供の可否に関心がない

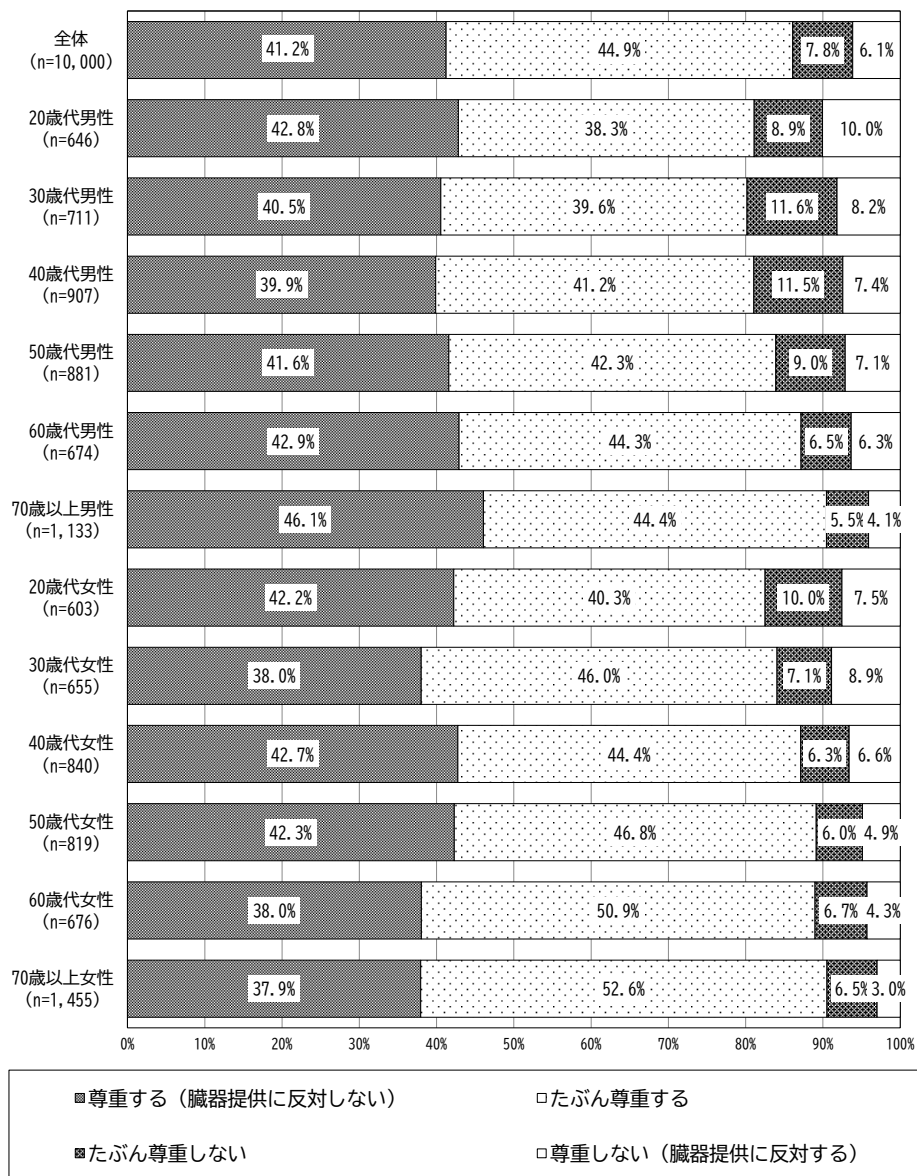
(4) 家族の臓器提供の意思表示に対する考え

仮に、あなたのご家族が脳死と判定された場合、または心臓が停止し死亡と判断された場合に、その方が臓器提供する意思表示をしていた場合、あなたはその意思を尊重しますか。当てはまるもの1つをお選びください。【問23（単数回答）】

○本設問の回答は、「たぶん尊重する」（44.9%）、「尊重する（臓器提供に反対しない）」（41.2%）」の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「たぶん尊重する」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性：3～4割台、女性：4～5割台）がみられた。

図表 25 家族の臓器提供の意思表示に対する考え



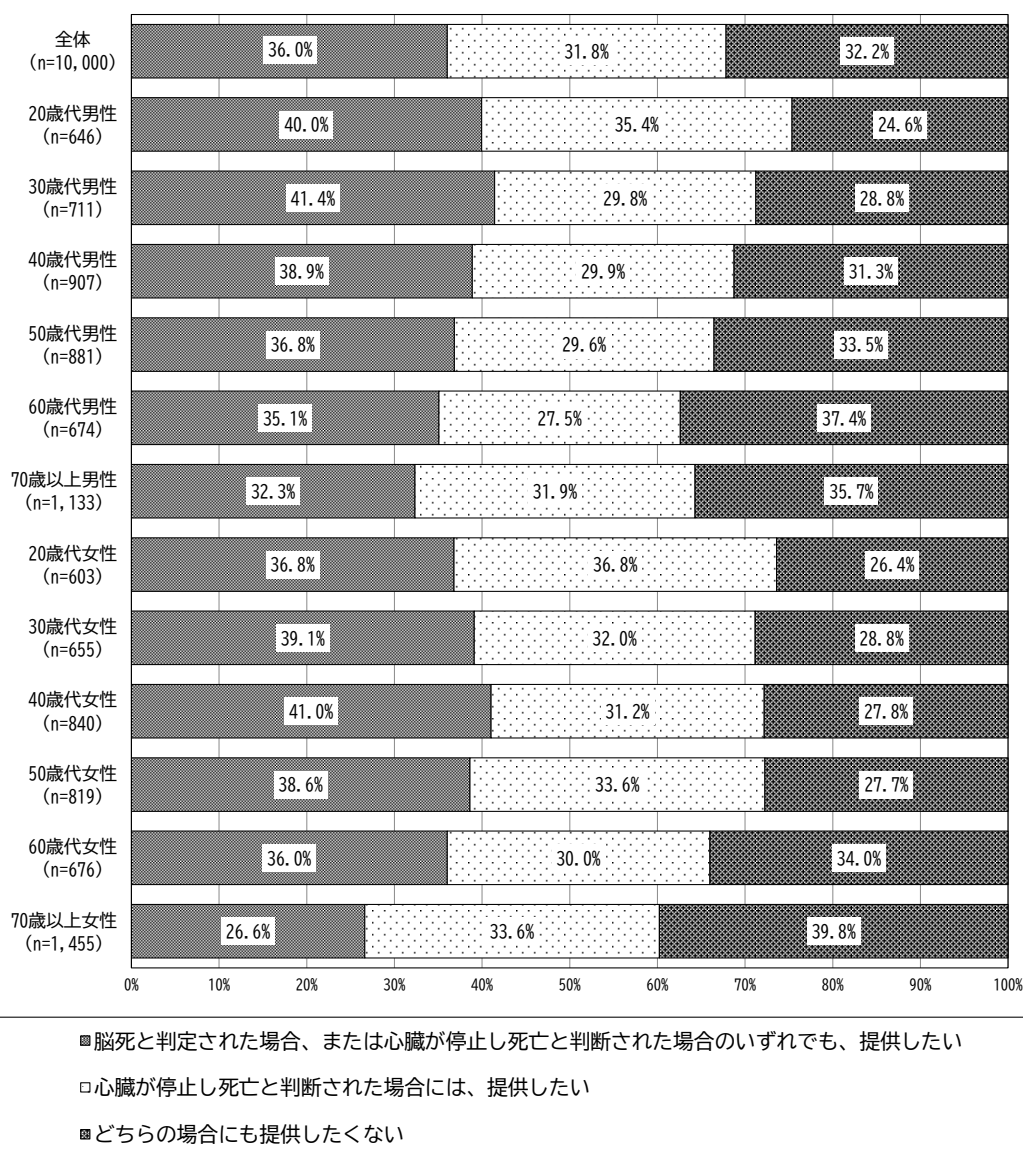
(5) 自身が脳死又は心臓停止した場合の臓器提供に対する考え

あなたは、仮に、ご自身が脳死と判定された場合、または心臓が停止し死亡と判断された場合に、臓器提供をしたいと思いますか。当てはまるもの1つをお選びください。【問 24 (単数回答)】

○本設問の回答は、「脳死と判定された場合、または心臓が停止し死亡と判断された場合のいずれでも、提供したい」(36.0%)、「どちらの場合にも提供したくない」(32.2%)、「心臓が停止し死亡と判断された場合には、提供したい」(31.8%)の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「脳死と判定された場合、または心臓が停止し死亡と判断された場合のいずれでも、提供したい」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね減少傾向(男性：3～4割台、女性(40歳以上)：2～4割台)がみられた。

図表 26 自身が脳死又は心臓停止した場合の臓器提供に対する考え



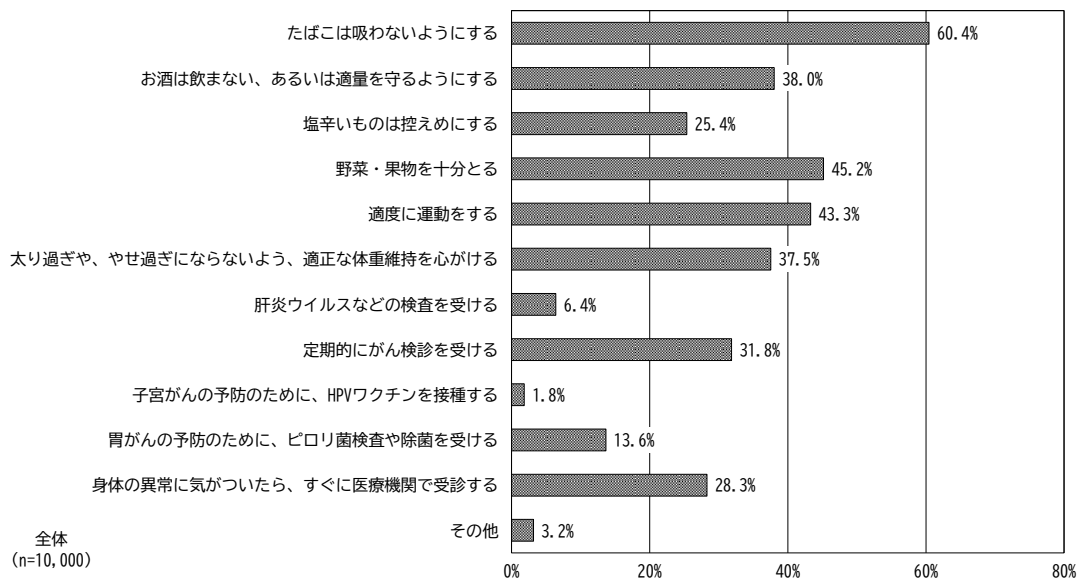
9. がんの予防等に関する状況や考え

(1) がんの予防のために実践していること

あなたは、がんを予防するために、どんなことを実践していますか。当てはまるものすべてをお選びください。【問 25 (複数回答)】

- 本設問の回答は、「たばこは吸わないようにする」(60.4%)、「野菜・果物を十分とる」(45.2%)、「適度に運動をする」(43.3%)の順で多かった。
- 最も回答割合の高かった「たばこは吸わないようにする」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性は5～6割台、女性は5～7割台であった。

図表 27 がんの予防のために実践していること



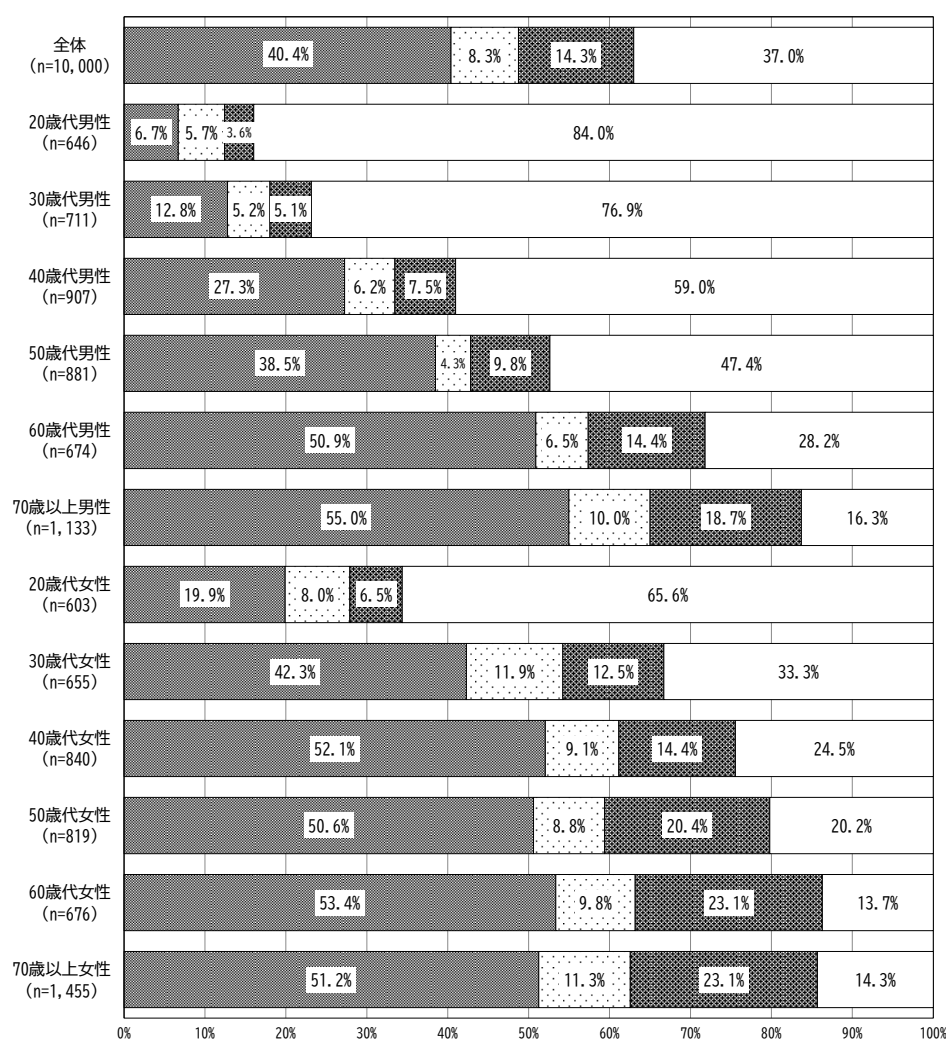
	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=911)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
たばこは吸わないようにする	60.4%	63.9%	59.6%	53.7%	50.5%	55.5%	67.4%	71.6%	65.3%	62.0%	54.7%	57.5%	63.2%
お酒は飲まない、あるいは適量を守るようにする	38.0%	35.6%	36.2%	31.2%	26.6%	29.0%	36.6%	45.6%	46.0%	40.0%	38.1%	41.1%	47.1%
塩辛いものは控えるにする	25.4%	11.7%	13.7%	13.4%	13.5%	23.2%	32.3%	14.9%	19.0%	22.7%	28.9%	37.2%	48.6%
野菜・果物を十分とる	45.2%	27.5%	32.9%	30.6%	35.2%	47.8%	61.0%	31.5%	36.5%	40.3%	45.0%	56.0%	68.1%
適度に運動をする	43.3%	37.6%	39.3%	39.4%	39.8%	46.6%	61.2%	27.3%	30.4%	30.4%	36.0%	45.2%	60.1%
太り過ぎや、やせ過ぎにならないよう、適正な体重維持を心がける	37.5%	29.7%	31.1%	30.9%	32.8%	40.5%	47.4%	30.3%	32.3%	33.9%	35.4%	45.8%	46.9%
肝炎ウイルスなどの検査を受ける	6.4%	3.1%	2.7%	3.7%	4.3%	7.0%	9.5%	2.3%	3.3%	5.3%	4.9%	10.3%	12.6%
定期的にかん検診を受ける	31.8%	4.3%	7.9%	15.2%	23.9%	34.7%	48.0%	18.7%	33.1%	40.4%	37.3%	45.0%	47.8%
子宮がんの予防のために、HPVワクチンを接種する	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.2%	3.9%	2.2%	1.6%	0.9%	2.0%
胃がんの予防のために、ピロリ菌検査や除菌を受ける	13.6%	3.8%	5.4%	8.2%	12.4%	18.1%	23.5%	3.2%	5.8%	9.8%	12.3%	20.4%	24.1%
身体の異常に気がついたら、すぐに医療機関で受診する	28.3%	12.9%	15.3%	17.3%	21.1%	25.2%	36.7%	21.9%	26.2%	27.4%	27.6%	36.0%	48.4%
その他	3.2%	2.9%	3.3%	4.5%	4.2%	4.2%	2.3%	2.3%	3.1%	2.7%	4.7%	3.0%	1.8%

(2) がん検診の受診状況

■ 症状が出る前のがんを発見し、早期の治療に結び付けるために、胸や胃のレントゲン撮影やマンモグラフィ検査などによる「がん検診」が行われています。あなたは、このような「がん検診」を受けたことがありますか。当てはまるもの1つをお選びください。【問 26 (単数回答)】

○本設問で「過去1年以内に受診したことがある」と回答した方の割合は、40.4%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、年齢区分が上がるにつれて、男性は増加傾向（1割未満から5割超え）、女性は20~40歳代は増加傾向（1割から5割超え）・40歳以上は5割台で横ばいであった。

図表 28 がん検診の受診状況



過去1年以内に受診したことがある
 過去1年以内の受診はないが、2年以内に受診したことがある
 過去2年以内の受診はないが、それ以前に受診したことがある
 今までがん検診を受けたことがない

(3) がん検診を受診しなかった理由

《「2年以上前にかん検診を受診したことがある」または「今までがん検診を受診したことがない」と回答した方と回答した方》

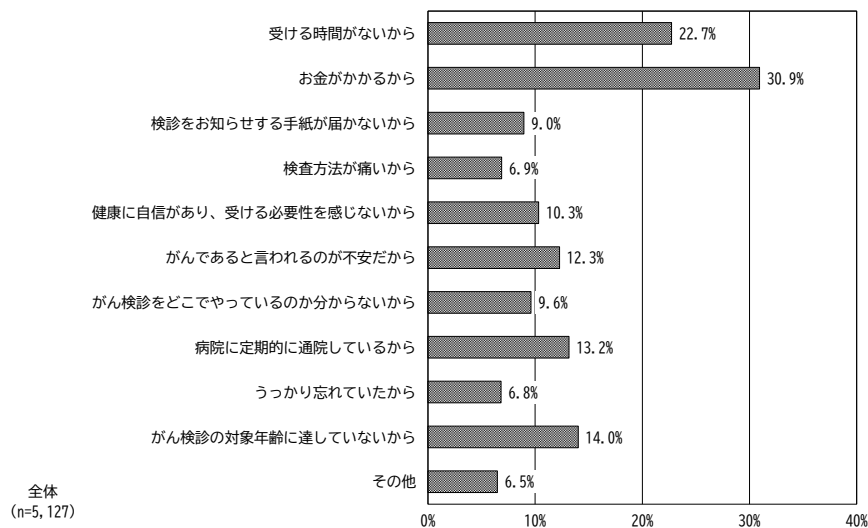
あなたがこれまで、あるいは最近、がん検診を受けない理由は何ですか。当てはまるものすべてをお選びください。【問 27 (複数回答)】

○本設問の回答は、「お金がかかるから」(30.9%)、「受ける時間がないから」(22.7%)の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「お金がかかるから」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性は1～4割台、女性は1～3割台であった。

○年齢層で違いが見られた理由として、「病院に定期的に通院しているから」(60歳未満：1割以下／60歳以上：2割～4割台)、「がん検診の対象年齢に達していないから」(40歳未満：2～4割台／40歳以上：1割未満)がみられた。

図表 29 がん検診を受診しなかった理由



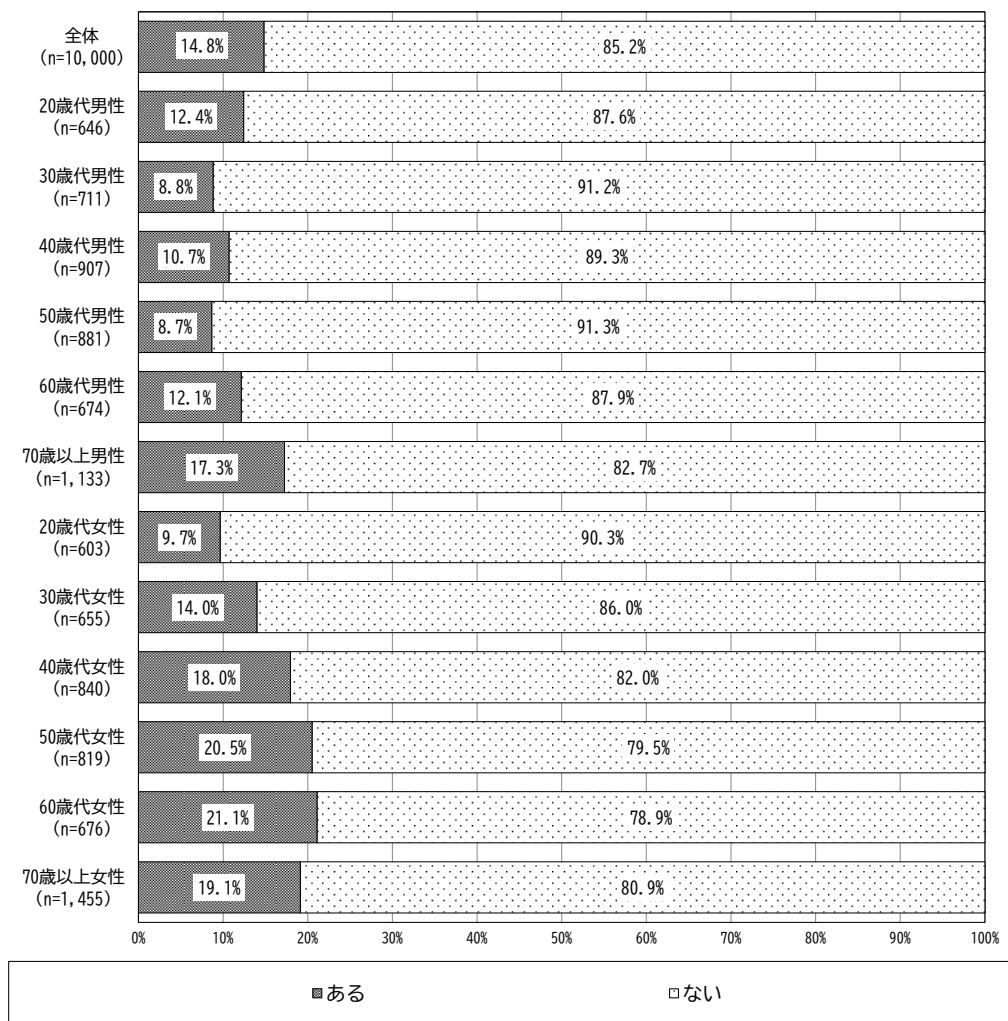
	全体 (n=5,127)	20歳代男性 (n=565)	30歳代男性 (n=583)	40歳代男性 (n=604)	50歳代男性 (n=504)	60歳代男性 (n=298)	70歳以上男性 (n=396)	20歳代女性 (n=435)	30歳代女性 (n=300)	40歳代女性 (n=326)	50歳代女性 (n=333)	60歳代女性 (n=249)	70歳以上女性 (n=545)
受ける時間がないから	22.7%	23.5%	24.2%	34.2%	33.0%	17.7%	5.0%	23.2%	33.3%	26.5%	22.7%	15.7%	8.4%
お金がかかるから	30.9%	28.4%	40.7%	41.3%	41.0%	30.1%	17.4%	28.9%	33.0%	34.5%	29.8%	24.5%	14.7%
検診をお知らせする手紙が届かないから	9.0%	13.7%	10.6%	8.9%	6.3%	6.0%	8.0%	14.0%	12.7%	5.3%	5.2%	6.2%	6.7%
検査方法が痛いから	6.9%	2.5%	3.4%	3.5%	4.0%	4.7%	2.5%	7.3%	10.3%	15.3%	15.0%	12.4%	11.1%
健康に自信があり、受ける必要性を感じないから	10.3%	13.4%	10.1%	6.6%	8.5%	10.1%	16.5%	5.9%	3.6%	8.9%	10.9%	12.4%	15.6%
がんであると言われるのが不安だから	12.3%	4.9%	8.0%	11.9%	14.4%	14.6%	13.3%	5.9%	10.6%	20.6%	18.0%	16.8%	16.4%
がん検診をどこでやっているのか分からないから	9.6%	11.2%	13.9%	13.6%	12.5%	7.6%	5.5%	14.0%	10.3%	7.8%	4.6%	5.1%	2.7%
病院に定期的に通院しているから	13.2%	3.8%	3.1%	7.4%	11.4%	24.4%	46.1%	1.7%	4.2%	5.6%	9.6%	20.1%	29.3%
うっかり忘れていたから	6.8%	2.5%	3.9%	7.5%	4.3%	3.8%	1.1%	9.4%	14.2%	13.1%	12.3%	7.7%	8.0%
がん検診の対象年齢に達していないから	14.0%	43.2%	31.0%	6.6%	2.3%	1.3%	0.7%	35.6%	20.0%	3.1%	0.5%	0.7%	1.3%
その他	6.5%	2.5%	2.3%	4.1%	5.4%	14.6%	10.8%	1.9%	4.8%	7.8%	12.6%	10.9%	9.3%

(4) 新型コロナウイルス感染症の流行期間中におけるがん検診の受診控えの有無

✚ 新型コロナウイルス感染症が流行した期間、感染を危惧してがん検診を受診しなかったことはありますか。当てはまるもの1つをお選びください。【問 28 (単数回答)】

○本設問で「ある」と回答した方の割合は、14.8%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、50歳以上女性の割合が2割前後で他の区分よりも高かった。

図表 30 新型コロナウイルス感染症の流行期間中におけるがん検診の受診控えの有無



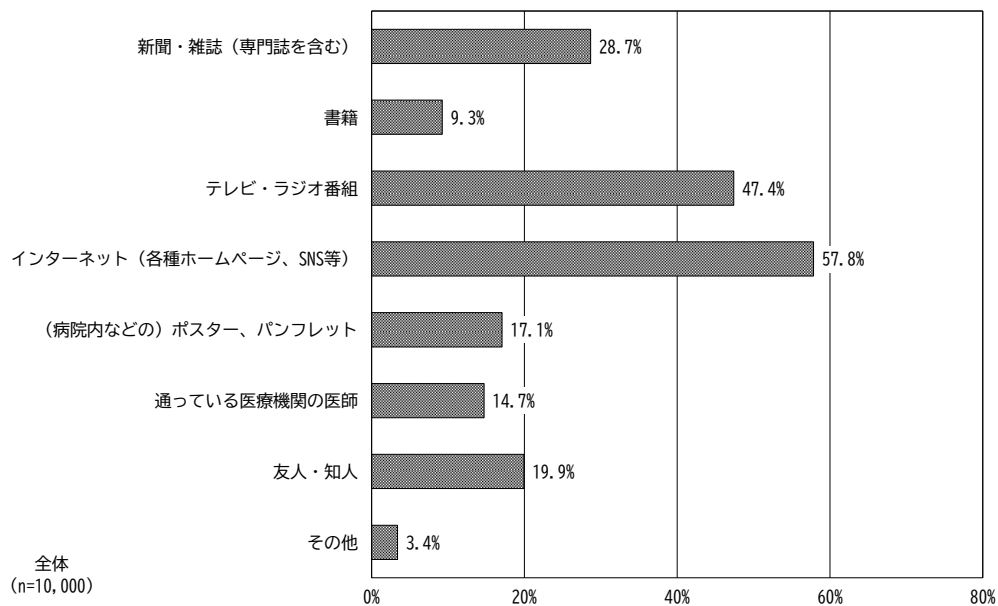
(5) がんに関する情報を得るために活用している情報源

あなたは、どのようなところから、がんに関する情報を得ていますか。当てはまるものすべてをお選びください。【問 29 (複数回答)】

○本設問の回答は、「インターネット (各種ホームページ、SNS 等)」(57.8%)、「テレビ・ラジオ番組」(47.4%)の順で多かった。


○最も回答割合の高かった「インターネット (各種ホームページ、SNS 等)」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性は5～6割台、女性は4～6割台であった。

図表 31 がんに関する情報を得るために活用している情報源



	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=623)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
新聞・雑誌 (専門誌を含む)	28.7%	13.9%	16.5%	19.8%	25.0%	36.0%	54.1%	11.0%	14.3%	14.0%	21.4%	33.3%	49.9%
書籍	9.3%	12.4%	9.0%	6.9%	6.6%	9.9%	11.8%	6.5%	5.4%	6.2%	7.9%	10.5%	13.6%
テレビ・ラジオ番組	47.4%	37.1%	38.7%	37.9%	38.3%	47.4%	56.4%	36.3%	37.3%	44.0%	46.6%	59.3%	66.7%
インターネット (各種ホームページ、SNS等)	57.8%	50.5%	59.5%	60.6%	65.7%	63.8%	57.5%	54.9%	63.8%	64.2%	63.2%	58.3%	42.9%
(病院内などの) ポスター、パンフレット	17.1%	8.9%	11.5%	11.2%	11.5%	18.1%	20.3%	18.7%	17.8%	17.4%	16.5%	22.6%	24.1%
通っている医療機関の医師	14.7%	8.1%	6.4%	7.1%	10.5%	18.8%	31.5%	7.8%	8.7%	10.3%	14.3%	16.8%	21.5%
友人・知人	19.9%	18.9%	17.4%	15.9%	9.3%	13.2%	14.3%	19.8%	22.6%	22.6%	23.4%	28.1%	29.6%
その他	3.4%	4.1%	4.0%	4.6%	4.3%	2.3%	1.4%	5.3%	4.2%	3.8%	3.7%	3.0%	2.3%

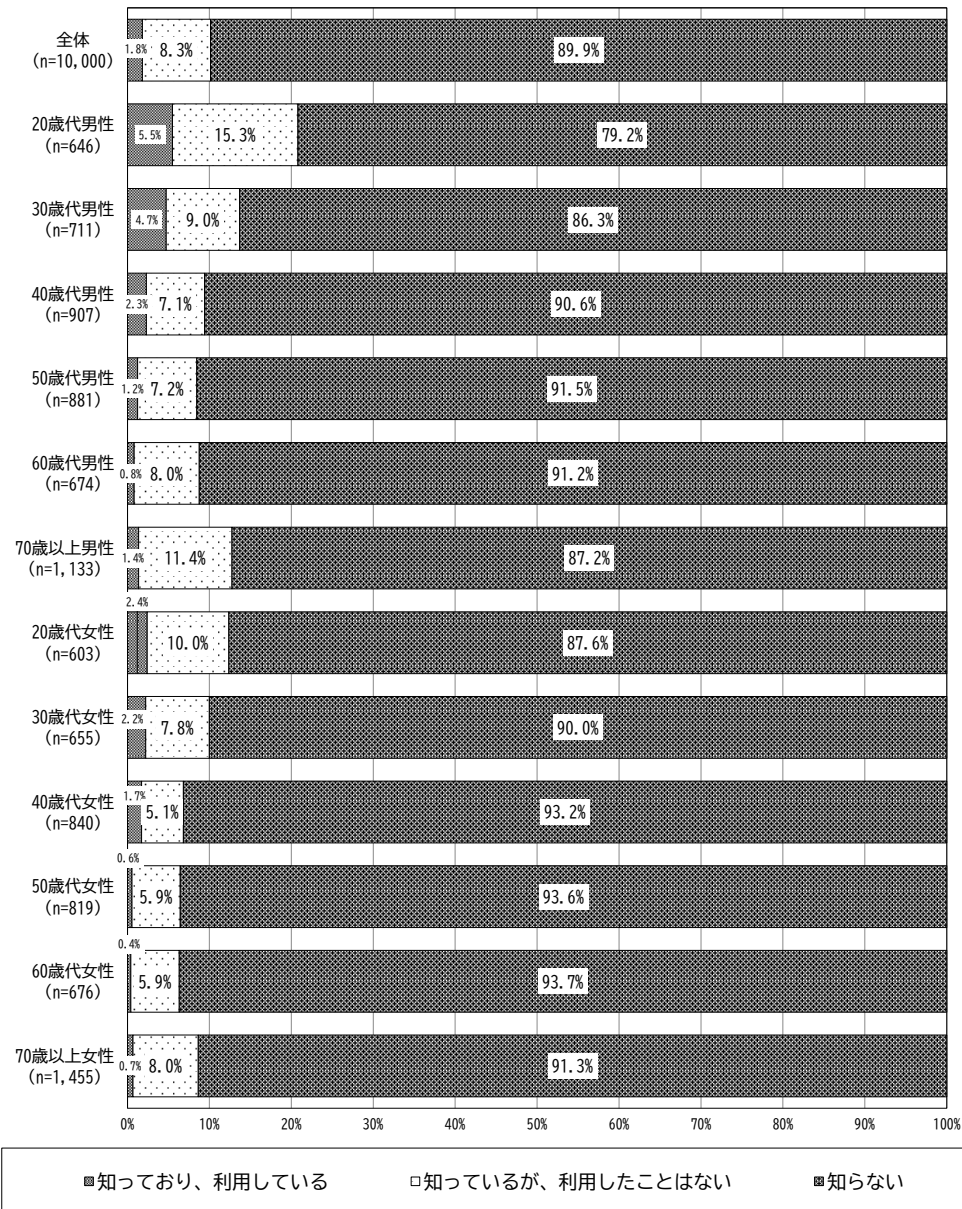
(6) 「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の認知状況


 がん専用サイト「千葉県がん情報 ちばがんナビ」では、がんに関する知識や、県内の医療機関、不安や悩みを相談できる身近な窓口、各種の支援制度などを紹介しています。あなたは、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」を知っていますか。当てはまるもの1つをお選びください。【問 30 (単数回答)】

○本設問の回答は、「知らない」(89.9%)、「知っているが、利用したことはない」(8.3%)、「知っており、利用している」(1.8%)の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「知らない」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向(男性：7～9割台、女性：8～9割台)がみられた。

図表 32 「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の認知状況



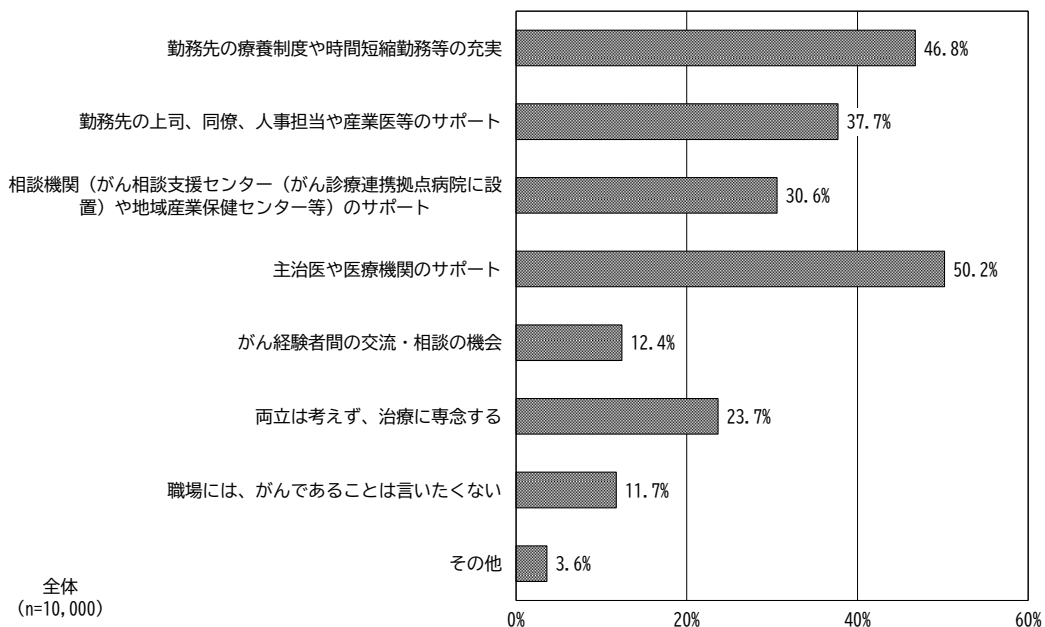
(7) がんの治療と仕事の両立のために必要な支援・取組

🌈 早期発見と治療方法の進歩により、多くのがんの生存率は向上しており、がんと診断された方で、働いている方の約7割は、治療と仕事を両立しながら同じ職場に復帰していると言われています。あなたが、がんと診断されたとしたら、治療と現在の仕事を両立してゆくにあって、どのような支援や取組が必要だと思いますか。当てはまるものすべてをお選びください。【問 31 (複数回答)】

○本設問の回答は、「主治医や医療機関のサポート」(50.2%)、「勤務先の療養制度や時間短縮勤務等の充実」(46.8%)の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「主治医や医療機関のサポート」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向(男性：3～6割台、女性：4～6割台)がみられた。

図表 33 がんの治療と仕事の両立のために必要な支援・取組



	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=801)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=683)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
勤務先の療養制度や時間短縮勤務等の充実	46.8%	54.1%	55.2%	56.2%	51.5%	41.4%	26.0%	57.5%	61.4%	56.9%	52.5%	39.7%	32.4%
勤務先の上司、同僚、人事担当や産業医等のサポート	37.7%	42.1%	45.3%	42.8%	41.5%	32.5%	22.4%	44.5%	50.2%	45.7%	45.0%	33.2%	26.0%
相談機関 (がん相談支援センター (がん診療連携拠点病院に設置) や地域産業保健センター等) のサポート	30.6%	24.6%	24.2%	24.8%	29.0%	32.7%	30.4%	25.9%	33.3%	32.6%	36.2%	34.1%	34.8%
主治医や医療機関のサポート	50.2%	34.9%	36.3%	36.4%	45.4%	53.0%	64.0%	43.7%	50.9%	47.2%	52.7%	55.5%	63.4%
がん経験者間の交流・相談の機会	12.4%	13.2%	9.5%	9.1%	7.5%	9.2%	8.9%	12.2%	16.1%	16.1%	16.2%	16.9%	14.8%
両立は考えず、治療に専念する	23.7%	18.4%	21.4%	21.1%	21.6%	24.7%	32.2%	23.2%	20.1%	19.8%	19.4%	26.9%	27.8%
職場には、がんであることは言いたくない	11.7%	16.0%	15.0%	14.8%	11.1%	7.4%	3.4%	16.3%	18.0%	18.7%	13.9%	10.5%	5.8%
その他	3.6%	1.7%	1.4%	1.7%	3.5%	5.4%	7.1%	0.8%	0.3%	1.7%	3.0%	4.2%	7.2%

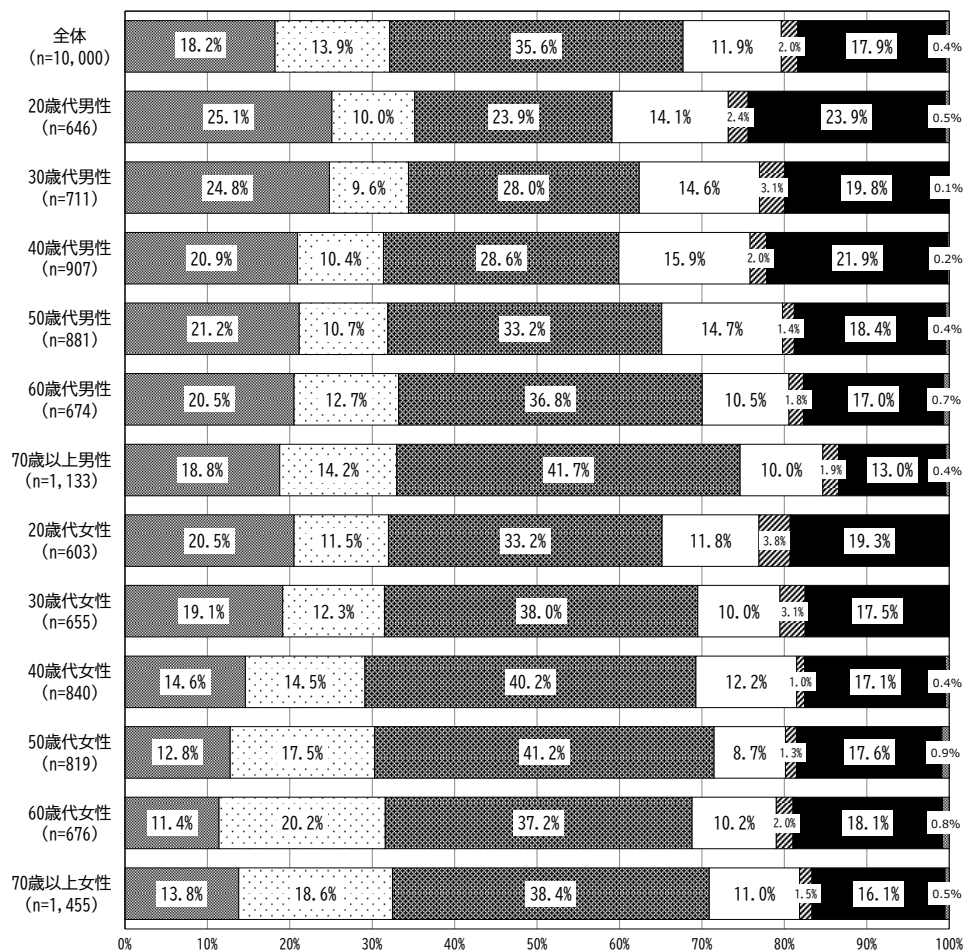
(8) がんに対する症状緩和に専念する場合に過ごしたい場所

🚩 がんに対する積極的な治療を行わずに症状緩和に専念する場合、どこで過ごしたいと思いますか。当てはまるもの1つをお選びください。【問 32 (単数回答)】

○本設問の回答は、「自宅で療養して、必要に応じて(通院中の)医療機関に入院したい」(35.6%)、「なるべく早く(通院中の)医療機関に入院したい」(18.2%)、「わからない」(17.9%)の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「自宅で療養して、必要に応じて(通院中の)医療機関に入院したい」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向(男性：2～4割台、女性(20～50歳代)：3～4割台)がみられた。

図表 34 がんに対する症状緩和に専念する場合に過ごしたい場所



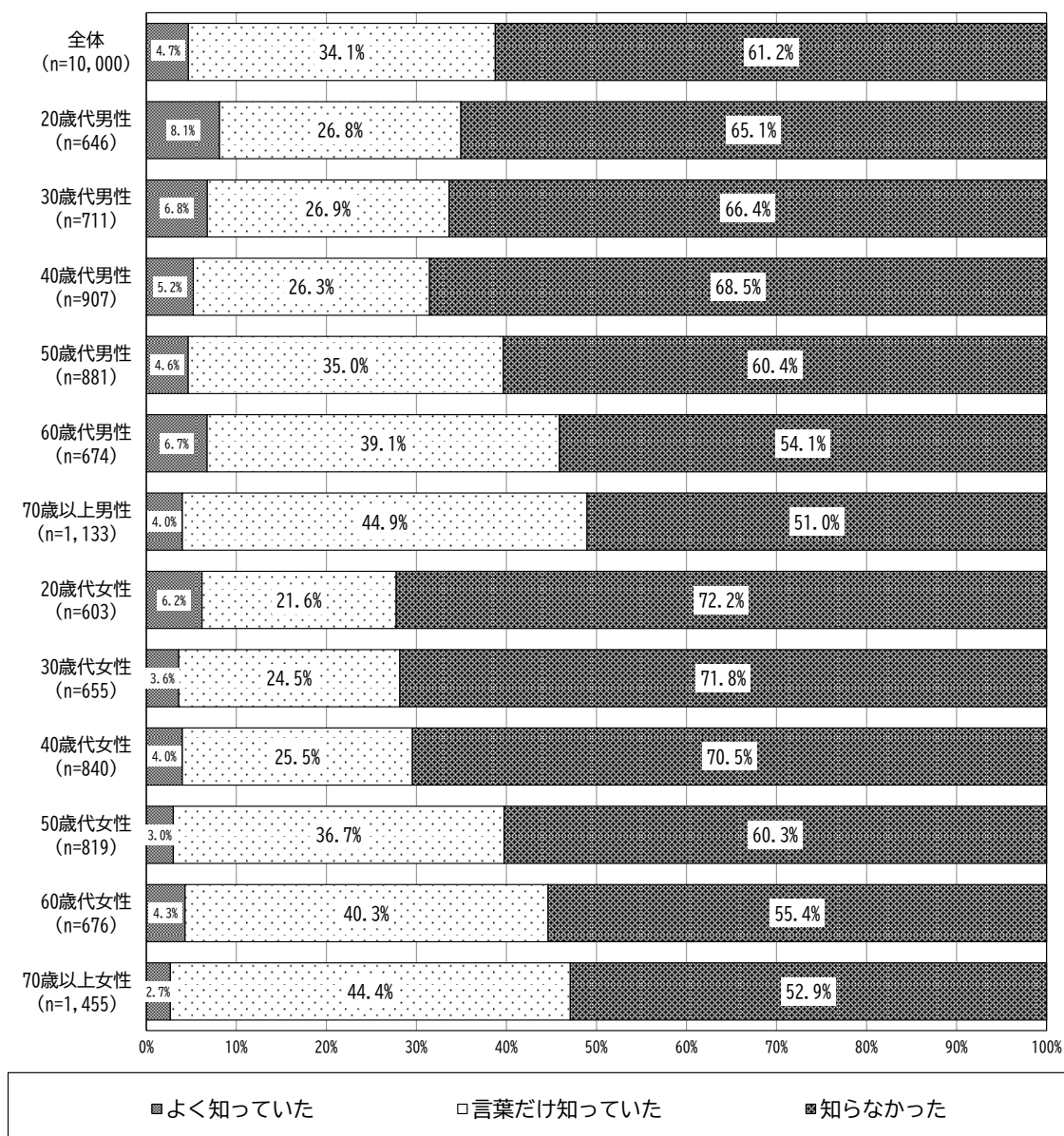
- なるべく早く(通院中の)医療機関に入院したい
- なるべく早く緩和ケア病棟(終末期における体と心の苦痛緩和のための治療とケアを行う病棟)に入院したい
- 自宅で療養して、必要に応じて(通院中の)医療機関に入院したい
- 自宅で最期まで療養したい
- 老人ホーム、介護付き施設に入所したい
- わからない
- その他

(9) がんゲノム治療の認知状況

あなたは、がんゲノム医療について知っていましたか。当てはまるもの1つをお選びください。【問 33 (単数回答)】

○本設問で「何らか知っていた」と回答した方の割合は、38.8%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性：3～4割台、女性：2～4割台）がみられた。

図表 35 がんゲノム治療の認知状況



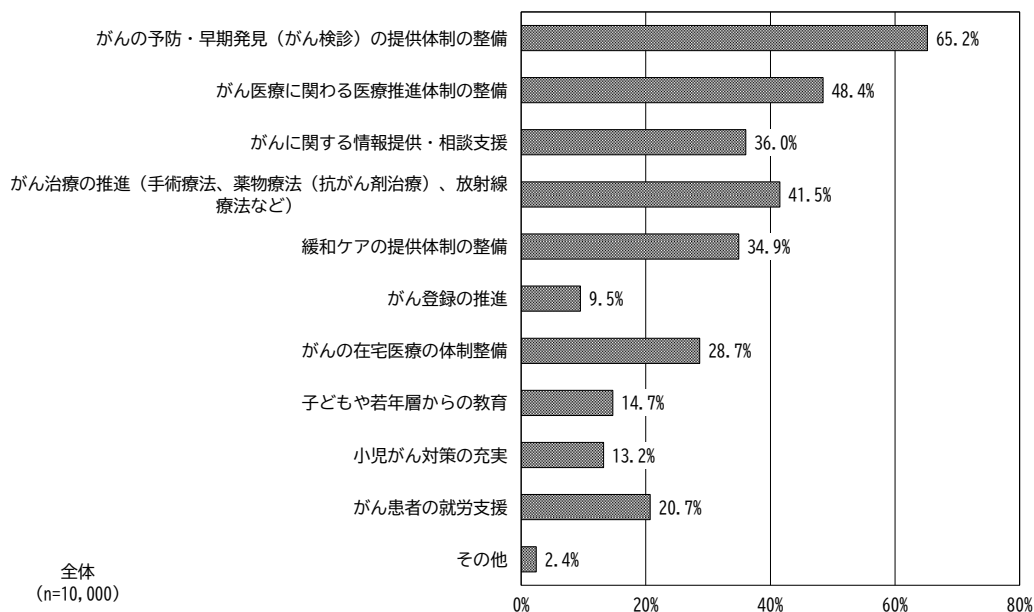
(10) がん対策について県に期待すること

あなたは、がん対策について、県としてどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。当てはまるものすべてをお選びください。【問 34 (複数回答)】

○本設問の回答は、「がんの予防・早期発見（がん検診）の提供体制の整備」（65.2%）、「がん医療に関わる医療推進体制の整備」（48.4%）」の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「がんの予防・早期発見（がん検診）の提供体制の整備」の内訳を性別・年齢区分別にみると、年齢区分が上がるにつれて男性は概ね増加傾向（5～7割台）、女性は概ね減少傾向（6～7割台）がみられた。

図表 36 がん対策について県に期待すること



	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
がんの予防・早期発見（がん検診）の提供体制の整備	65.2%	58.6%	61.3%	60.9%	65.1%	68.2%	73.4%	70.7%	70.5%	65.6%	60.2%	63.3%	63.9%
がん医療に関わる医療推進体制の整備	48.4%	38.0%	42.3%	44.5%	48.2%	50.1%	54.1%	40.6%	49.9%	51.2%	53.1%	52.2%	50.2%
がんに関する情報提供・相談支援	36.0%	25.6%	29.8%	30.9%	31.1%	34.7%	40.9%	33.6%	36.6%	36.9%	39.6%	43.5%	41.6%
がん治療の推進（手術療法、薬物療法（抗がん剤治療）、放射線療法など）	41.5%	25.6%	34.0%	32.6%	37.0%	43.3%	52.5%	31.2%	42.2%	43.2%	46.8%	47.3%	48.6%
緩和ケアの提供体制の整備	34.9%	19.4%	23.4%	24.8%	27.1%	29.7%	36.0%	19.9%	35.4%	40.8%	46.8%	46.9%	50.4%
がん登録の推進	9.5%	14.4%	10.6%	10.9%	8.9%	7.3%	7.1%	12.4%	13.3%	10.5%	8.5%	5.1%	8.5%
がんの在宅医療の体制整備	28.7%	16.0%	19.7%	20.7%	23.3%	26.9%	35.0%	19.2%	27.7%	28.9%	33.5%	32.5%	42.4%
子どもや若年層からの教育	14.7%	23.7%	20.6%	14.7%	7.6%	6.9%	8.3%	28.8%	27.3%	18.8%	11.3%	9.5%	11.1%
小児がん対策の充実	13.2%	15.3%	14.7%	11.8%	7.2%	6.6%	7.7%	21.7%	25.7%	17.0%	9.9%	11.4%	14.8%
がん患者の就労支援	20.7%	20.6%	19.7%	20.1%	17.0%	12.8%	9.8%	24.3%	34.5%	33.0%	29.7%	20.3%	16.3%
その他	2.4%	3.1%	2.2%	2.9%	3.5%	3.5%	1.1%	1.8%	1.8%	2.2%	3.8%	2.4%	1.7%

10. 緊急電話相談について

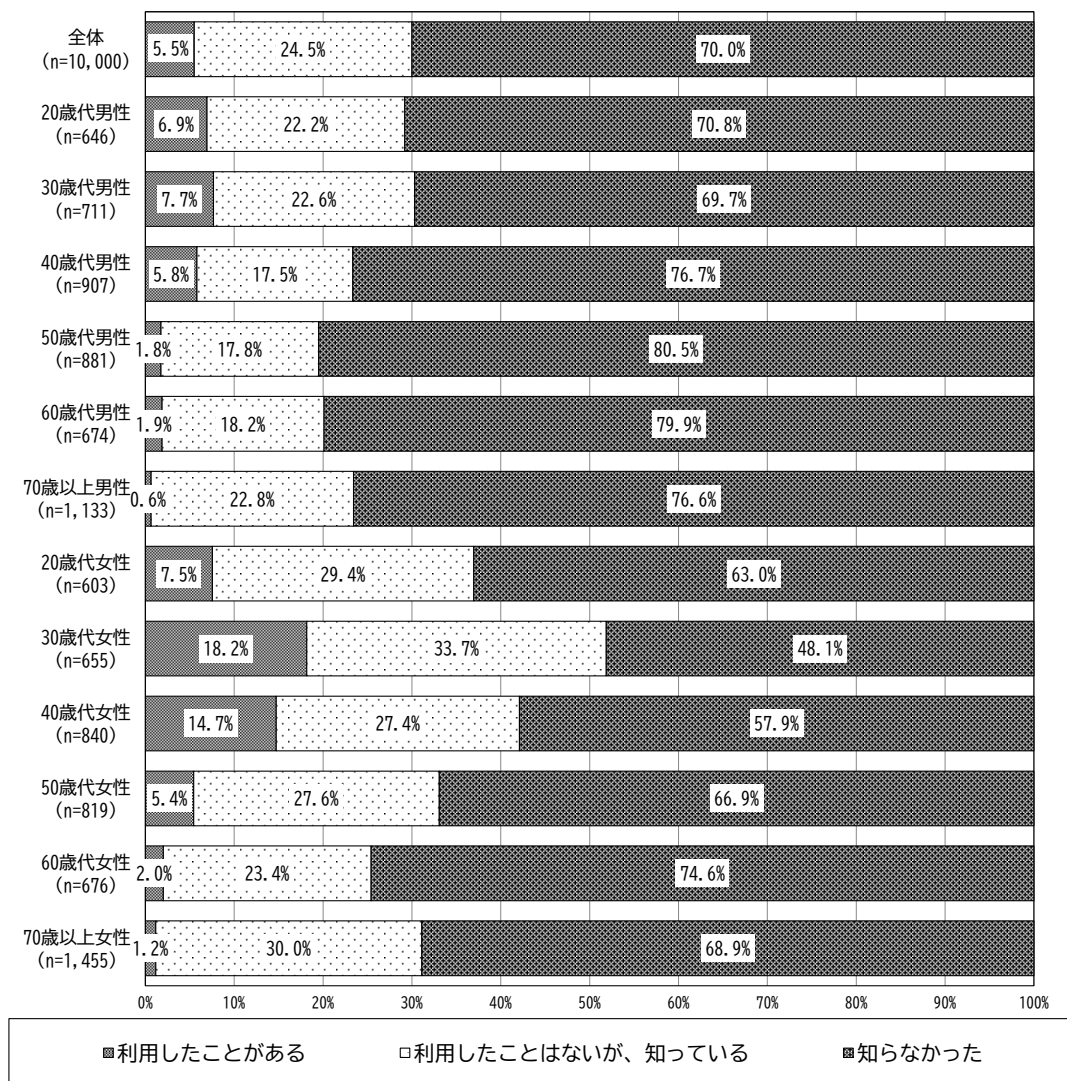
(1) 救急安心電話相談#7009・こども救急電話相談#8000の利用状況

あなたは、救急安心電話相談#7009、こども救急電話相談#8000について知っていますか。また、利用したことがありますか。当てはまるもの1つをお選びください。【問35（単数回答）】

○本設問の回答は、「知らなかった」（70.0%）、「利用したことはないが、知っている」（24.5%）、「利用したことがある」（5.5%）」の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「知らなかった」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性：6～7割台、女性（30～60歳代）：4～7割台）がみられた。

図表 37 救急安心電話相談#7009・こども救急電話相談#8000の利用状況



11. 心臓の異常や脳卒中に関連した症状への対応に関する考え

(1) 自身又は家族に心臓の異常に関連した症状が生じた場合の対処法

🚦 心臓の異常に関連した症状についての質問です。仮に、次にあげる症状があなた（又はあなたの家族）に生じた場合、あなたは救急車を呼ぼうと思いますか。当てはまるもの各1つをお選びください。【問 36（単数回答）】

《症状1》横になると苦しい、苦しくて横になれない

《症状2》冷や汗がでて苦しい

《症状3》脈が乱れていて気を失いそうになる

《症状4》強い胸の痛みが持続する

- 《症状1》が生じた場合に救急車を呼ぶ意志のある方（「救急車を呼ぼうと思う」又は「どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う」と回答した方）の割合は、56.0%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性：4～7割台、女性（30歳以上）：4～6割台）がみられた。
- 《症状2》が生じた場合に救急車を呼ぶ意志のある方（「救急車を呼ぼうと思う」又は「どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う」と回答した方）の割合は、40.6%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性：2～5割台、女性：2～5割台）がみられた。
- 《症状3》が生じた場合に救急車を呼ぶ意志のある方（「救急車を呼ぼうと思う」又は「どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う」と回答した方）の割合は、79.0%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性（40歳以上）：6～8割台、女性（30歳以上）：7～8割台）がみられた。
- 《症状4》が生じた場合に救急車を呼ぶ意志のある方（「救急車を呼ぼうと思う」又は「どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う」と回答した方）の割合は、77.0%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性（40歳以上）：6～8割台、女性（30歳以上）：7～8割台）がみられた。

図表 38 自身又は家族に心臓の異常に関連した症状が生じた場合の対処法

【症状1】横になると苦しい、苦しくて横になれない													
	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
救急車を呼ぼうとは思わない	11.4%	16.5%	15.2%	13.3%	12.0%	6.7%	5.7%	17.6%	20.8%	15.4%	10.2%	6.3%	6.0%
どちらかといえば救急車を呼ぼうとは思わない	19.9%	27.0%	23.8%	18.7%	20.4%	17.9%	11.7%	28.2%	27.3%	25.0%	22.0%	18.1%	12.6%
どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う (A)	32.5%	26.6%	26.9%	27.9%	31.1%	32.7%	35.2%	29.1%	27.7%	31.9%	33.6%	39.8%	39.4%
救急車を呼ぼうと思う (B)	23.5%	18.2%	20.5%	20.5%	21.2%	31.4%	37.4%	14.0%	14.4%	14.1%	21.0%	24.7%	30.3%
わからない	12.7%	11.7%	13.7%	19.5%	15.4%	11.2%	10.0%	11.0%	9.7%	13.6%	13.2%	11.0%	11.6%
救急車を呼ぶ意志あり (AorB)	56.0%	44.7%	47.3%	48.4%	52.2%	64.1%	72.6%	43.1%	42.2%	46.0%	54.6%	64.5%	69.7%

【症状2】冷や汗がでて苦しい													
	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
救急車を呼ぼうとは思わない	17.9%	26.3%	24.6%	19.0%	17.0%	14.0%	11.4%	27.3%	26.1%	21.6%	15.0%	11.4%	12.8%
どちらかといえば救急車を呼ぼうとは思わない	28.5%	33.5%	31.5%	26.4%	29.2%	26.5%	25.1%	34.7%	34.3%	30.7%	30.3%	26.5%	22.8%
どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う (A)	26.0%	17.5%	19.3%	23.7%	24.5%	26.6%	32.7%	18.4%	22.7%	24.0%	27.1%	32.3%	31.8%
救急車を呼ぼうと思う (B)	14.7%	10.8%	11.6%	11.5%	13.4%	20.2%	19.2%	9.8%	7.5%	10.1%	14.7%	18.7%	20.5%
わからない	12.9%	12.0%	13.0%	19.3%	15.9%	12.7%	11.6%	9.8%	9.4%	13.5%	13.0%	11.2%	12.1%
救急車を呼ぶ意志あり (AorB)	40.6%	28.2%	30.9%	35.3%	37.9%	46.8%	51.9%	28.2%	30.2%	34.1%	41.7%	50.9%	52.2%

【症状3】脈が乱れていて気を失いそうになる													
	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
救急車を呼ぼうとは思わない	4.0%	7.2%	5.5%	5.8%	6.2%	2.8%	2.0%	2.1%	5.0%	5.3%	3.2%	2.0%	2.3%
どちらかといえば救急車を呼ぼうとは思わない	8.4%	12.4%	12.7%	9.9%	8.9%	8.2%	5.9%	9.0%	10.8%	7.7%	7.4%	6.7%	5.8%
どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う (A)	32.1%	29.2%	29.3%	29.5%	31.1%	32.7%	33.9%	29.7%	35.1%	34.5%	31.9%	30.9%	34.3%
救急車を呼ぼうと思う (B)	46.9%	42.8%	43.1%	39.6%	42.3%	47.8%	53.0%	49.2%	42.4%	44.2%	49.7%	53.8%	50.7%
わからない	8.6%	8.4%	9.5%	15.2%	11.6%	8.5%	5.2%	10.0%	6.7%	8.3%	7.8%	6.6%	6.8%
救急車を呼ぶ意志あり (AorB)	79.0%	72.0%	72.4%	69.0%	73.4%	80.4%	86.9%	78.9%	77.5%	78.7%	81.6%	84.7%	85.0%

【症状4】強い胸の痛みが持続する													
	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
救急車を呼ぼうとは思わない	4.5%	9.6%	7.5%	6.2%	6.2%	3.8%	2.6%	4.7%	5.4%	4.0%	3.7%	2.6%	1.8%
どちらかといえば救急車を呼ぼうとは思わない	9.9%	14.1%	14.2%	11.8%	10.0%	9.0%	5.7%	13.1%	16.2%	10.9%	8.9%	8.1%	5.0%
どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う (A)	26.8%	27.3%	23.7%	27.2%	25.0%	25.9%	27.0%	24.7%	27.2%	27.5%	24.6%	27.0%	30.6%
救急車を呼ぼうと思う (B)	50.2%	40.4%	44.5%	39.6%	47.1%	52.4%	59.2%	47.5%	44.2%	48.2%	55.5%	56.9%	56.4%
わからない	8.6%	8.6%	10.1%	15.2%	11.8%	8.9%	5.4%	10.0%	6.9%	9.4%	7.3%	5.5%	6.2%
救急車を呼ぶ意志あり (AorB)	77.0%	67.7%	68.2%	66.7%	72.0%	78.3%	86.3%	72.2%	71.4%	75.6%	80.1%	83.9%	87.0%

(2) 自身又は家族に脳卒中に関連した症状が生じた場合の対処法

🚩 脳卒中に関連した症状についての質問です。仮に、次にあげる症状があなた（又はあなたの家族）に生じた場合、あなたは救急車を呼ぼうと思いますか。当てはまるもの各1つをお選びください。【問 37（単数回答）】

- 《症状1》顔がゆがむ
- 《症状2》片側の腕（と足）に力が入らない
- 《症状3》急に上手く話せなくなった
- 《症状4》急に目が見えなくなった
- 《症状5》突然、いつもと違う頭痛がした
- 《症状6》突然、不整脈を自覚した

- 《症状1》が生じた場合に救急車を呼ぶ意志のある方（「救急車を呼ぼうと思う」又は「どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う」と回答した方）の割合は、53.2%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性（30歳以上）：3～6割台、女性：3～6割台）がみられた。
- 《症状2》が生じた場合に救急車を呼ぶ意志のある方（「救急車を呼ぼうと思う」又は「どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う」と回答した方）の割合は、61.2%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性（30歳以上）：4～6割台、女性（30歳以上）：5～7割台）がみられた。
- 《症状3》が生じた場合に救急車を呼ぶ意志のある方（「救急車を呼ぼうと思う」又は「どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う」と回答した方）の割合は、69.1%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性（30歳以上）：5～7割台、女性：5～8割台）がみられた。
- 《症状4》が生じた場合に救急車を呼ぶ意志のある方（「救急車を呼ぼうと思う」又は「どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う」と回答した方）の割合は、80.7%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性（40歳以上）：7～8割台、女性（30歳以上）：7～8割台）がみられた。
- 《症状5》が生じた場合に救急車を呼ぶ意志のある方（「救急車を呼ぼうと思う」又は「どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う」と回答した方）の割合は、58.4%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性（30歳以上）：4～6割台、女性：4～7割台）がみられた。
- 《症状6》が生じた場合に救急車を呼ぶ意志のある方（「救急車を呼ぼうと思う」又は「どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う」と回答した方）の割合は、55.2%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性（40歳以上）：4～6割台、女性（30歳以上）：4～6割台）がみられた。

図表 39 自身又は家族に脳卒中に関連した症状が生じた場合の対処法

【症状1】顔がゆがむ													
	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
救急車を呼ぼうとは思わない	12.4%	19.9%	22.1%	14.2%	12.5%	8.2%	7.9%	19.9%	19.4%	13.1%	8.9%	6.5%	6.7%
どちらかといえば救急車を呼ぼうとは思わない	20.3%	25.6%	22.4%	20.1%	20.6%	19.2%	13.7%	29.4%	27.9%	22.5%	21.4%	19.2%	13.8%
どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う (A)	24.1%	23.9%	17.6%	23.2%	23.5%	24.4%	27.6%	17.3%	20.7%	21.4%	25.0%	26.5%	29.3%
救急車を呼ぼうと思う (B)	29.1%	18.4%	21.7%	21.0%	26.3%	33.2%	38.6%	18.6%	19.0%	27.8%	32.1%	37.6%	38.9%
わからない	14.1%	12.2%	16.1%	21.3%	17.0%	15.0%	12.1%	14.8%	13.0%	15.2%	12.7%	10.2%	11.3%
救急車を呼ぶ意志あり (AorB)	53.2%	42.3%	39.4%	44.3%	49.8%	57.6%	66.2%	35.9%	39.7%	49.2%	57.0%	64.1%	68.2%

【症状2】片側の腕（と足）に力が入らない													
	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
救急車を呼ぼうとは思わない	9.4%	13.4%	16.0%	11.3%	9.3%	8.0%	9.2%	11.8%	11.9%	7.9%	6.5%	5.1%	6.3%
どちらかといえば救急車を呼ぼうとは思わない	19.2%	26.8%	23.8%	22.0%	20.7%	18.9%	16.9%	21.4%	25.2%	18.1%	15.3%	14.2%	14.3%
どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う (A)	25.9%	24.6%	20.3%	21.7%	25.1%	25.2%	27.5%	27.3%	26.4%	28.1%	26.6%	25.4%	29.1%
救急車を呼ぼうと思う (B)	35.3%	26.1%	27.6%	29.4%	31.8%	36.8%	37.2%	28.5%	27.5%	35.8%	42.8%	48.4%	42.6%
わからない	10.2%	9.1%	12.3%	15.5%	13.1%	11.1%	9.1%	11.0%	9.0%	10.1%	8.7%	6.9%	7.7%
救急車を呼ぶ意志あり (AorB)	61.2%	50.7%	48.0%	51.1%	56.9%	62.1%	64.7%	55.8%	53.8%	64.0%	69.5%	73.8%	71.7%

【症状3】急に上手く話せなくなった													
	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
救急車を呼ぼうとは思わない	7.3%	13.2%	15.7%	8.7%	7.8%	7.3%	4.7%	9.4%	10.8%	6.3%	4.6%	3.5%	3.2%
どちらかといえば救急車を呼ぼうとは思わない	14.1%	18.2%	17.0%	16.8%	14.2%	12.4%	11.9%	23.7%	21.2%	14.1%	10.3%	8.5%	9.5%
どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う (A)	24.1%	23.0%	19.6%	22.3%	24.3%	21.2%	28.7%	19.9%	22.3%	25.9%	24.2%	25.5%	26.6%
救急車を呼ぼうと思う (B)	45.0%	36.1%	36.4%	36.0%	41.6%	49.4%	47.0%	37.6%	37.2%	44.3%	52.4%	56.7%	54.6%
わからない	9.4%	9.6%	11.3%	16.1%	12.1%	9.7%	7.9%	9.5%	8.5%	9.5%	8.5%	5.8%	6.2%
救急車を呼ぶ意志あり (AorB)	69.1%	59.1%	56.0%	58.3%	65.8%	70.6%	75.6%	57.5%	59.5%	70.1%	76.6%	82.3%	81.2%

【症状4】急に目が見えなくなった													
	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
救急車を呼ぼうとは思わない	3.5%	7.2%	5.5%	4.2%	3.9%	3.5%	2.4%	4.5%	5.4%	3.5%	2.1%	1.7%	1.3%
どちらかといえば救急車を呼ぼうとは思わない	7.5%	9.3%	9.0%	7.9%	8.4%	5.4%	5.9%	10.0%	10.8%	9.0%	5.9%	6.2%	5.8%
どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う (A)	21.2%	22.2%	18.9%	20.6%	21.6%	17.4%	22.6%	20.5%	23.0%	22.5%	19.2%	20.3%	23.1%
救急車を呼ぼうと思う (B)	59.5%	52.9%	56.1%	53.0%	56.2%	64.2%	63.9%	55.7%	52.7%	56.3%	64.4%	66.4%	64.9%
わからない	8.3%	8.4%	10.5%	14.2%	9.9%	9.4%	5.3%	9.4%	8.0%	8.8%	8.4%	5.4%	4.8%
救急車を呼ぶ意志あり (AorB)	80.7%	75.1%	75.1%	73.6%	77.8%	81.6%	86.4%	76.2%	75.7%	78.8%	83.6%	86.7%	88.0%

【症状5】突然、いつもと違う頭痛がした													
	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
救急車を呼ぼうとは思わない	8.5%	15.1%	15.7%	10.2%	9.5%	5.8%	4.6%	14.3%	13.0%	9.0%	5.4%	3.4%	4.0%
どちらかといえば救急車を呼ぼうとは思わない	21.4%	27.5%	26.2%	22.0%	23.6%	19.7%	17.3%	30.8%	31.1%	24.4%	18.3%	15.5%	13.3%
どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う (A)	29.0%	24.9%	21.2%	26.9%	27.0%	29.0%	35.3%	20.1%	25.5%	30.3%	32.4%	32.9%	33.1%
救急車を呼ぼうと思う (B)	29.3%	23.0%	23.7%	22.9%	24.7%	32.9%	32.2%	22.6%	22.1%	24.8%	34.0%	37.8%	40.1%
わからない	11.7%	9.6%	13.2%	17.9%	15.2%	12.6%	10.6%	12.2%	8.3%	11.6%	9.9%	10.5%	9.5%
救急車を呼ぶ意志あり (AorB)	58.4%	47.8%	44.9%	49.8%	51.7%	61.9%	67.5%	42.7%	47.6%	55.1%	66.4%	70.7%	73.2%

【症状6】突然、不整脈を自覚した													
	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
救急車を呼ぼうとは思わない	8.5%	11.5%	12.9%	8.4%	8.7%	5.1%	6.3%	9.7%	11.8%	10.0%	8.0%	5.5%	7.0%
どちらかといえば救急車を呼ぼうとは思わない	23.3%	21.8%	23.4%	23.4%	20.6%	21.7%	22.4%	24.7%	29.4%	27.5%	23.6%	20.2%	22.1%
どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う (A)	28.6%	23.7%	22.4%	24.2%	28.1%	27.9%	32.7%	25.9%	27.5%	27.3%	30.2%	33.3%	33.4%
救急車を呼ぼうと思う (B)	26.6%	32.1%	28.3%	25.4%	26.6%	31.4%	28.5%	28.4%	20.7%	21.2%	24.1%	29.7%	25.5%
わからない	13.0%	11.0%	13.0%	18.5%	16.0%	13.8%	10.1%	11.3%	10.7%	14.1%	14.1%	11.3%	12.0%
救急車を呼ぶ意志あり (AorB)	55.2%	55.7%	50.6%	49.6%	54.7%	59.4%	61.2%	54.3%	48.1%	48.5%	54.3%	63.0%	58.9%

12. 地域医療について

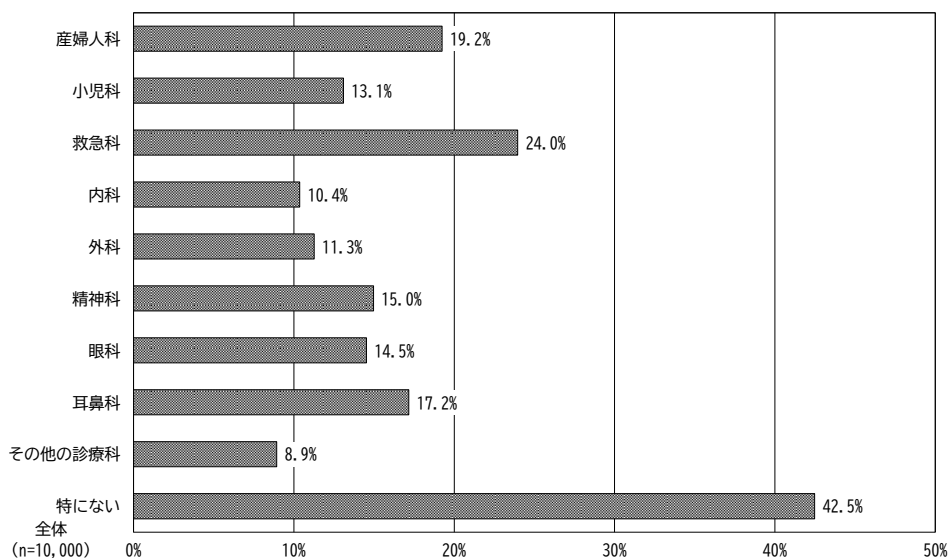
(1) 自身が居住する地域で不足を感じる診療科

🌈 あなたがお住まいの地域において、不足であると感じる診療科はありますか。当てはまるものすべてをお選びください。【問 38 (複数回答)】

○本設問で「何らかの不足であると感じる診療科がある」と回答した方（全体から「特にない」の回答割合を除いたもの）は、57.5%であった。具体的な診療科として回答は、「救急科」（24.0%）、「産婦人科」（19.2%）の順が多かった。

○不足であると感じる診療科として最も回答の高かった「救急科」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性は1～2割台、女性は1～2割台であった。

図表 40 自身が居住する地域で不足を感じる診療科



	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
産婦人科	19.2%	11.7%	15.2%	12.6%	10.9%	13.1%	10.4%	30.5%	36.1%	30.5%	27.3%	24.7%	17.6%
小児科	13.1%	11.5%	17.1%	12.8%	8.6%	9.4%	8.9%	13.6%	25.5%	19.4%	11.4%	14.0%	10.8%
救急科	24.0%	12.7%	20.2%	21.8%	20.4%	23.6%	23.8%	19.9%	25.4%	25.9%	27.6%	29.8%	29.6%
内科	10.4%	12.7%	13.4%	12.7%	10.3%	7.3%	5.7%	11.5%	15.1%	12.8%	10.7%	12.1%	6.5%
外科	11.3%	11.2%	11.9%	11.5%	11.6%	11.1%	8.3%	10.3%	12.2%	14.1%	13.2%	13.2%	9.5%
精神科	15.0%	15.8%	14.2%	14.2%	11.4%	10.7%	9.1%	21.3%	21.5%	20.0%	17.1%	13.2%	15.3%
眼科	14.5%	9.8%	10.5%	11.5%	11.4%	12.1%	12.5%	11.3%	19.1%	19.3%	21.9%	18.7%	15.5%
耳鼻科	17.2%	9.3%	11.0%	13.8%	11.8%	14.0%	14.4%	13.0%	22.1%	22.7%	24.6%	26.1%	20.6%
その他の診療科	8.9%	4.3%	5.0%	8.1%	8.6%	7.2%	8.8%	5.3%	9.6%	13.3%	14.0%	9.8%	10.0%
特にない	42.5%	53.8%	47.1%	47.4%	53.1%	48.6%	49.5%	38.5%	30.7%	32.8%	33.2%	34.7%	38.8%

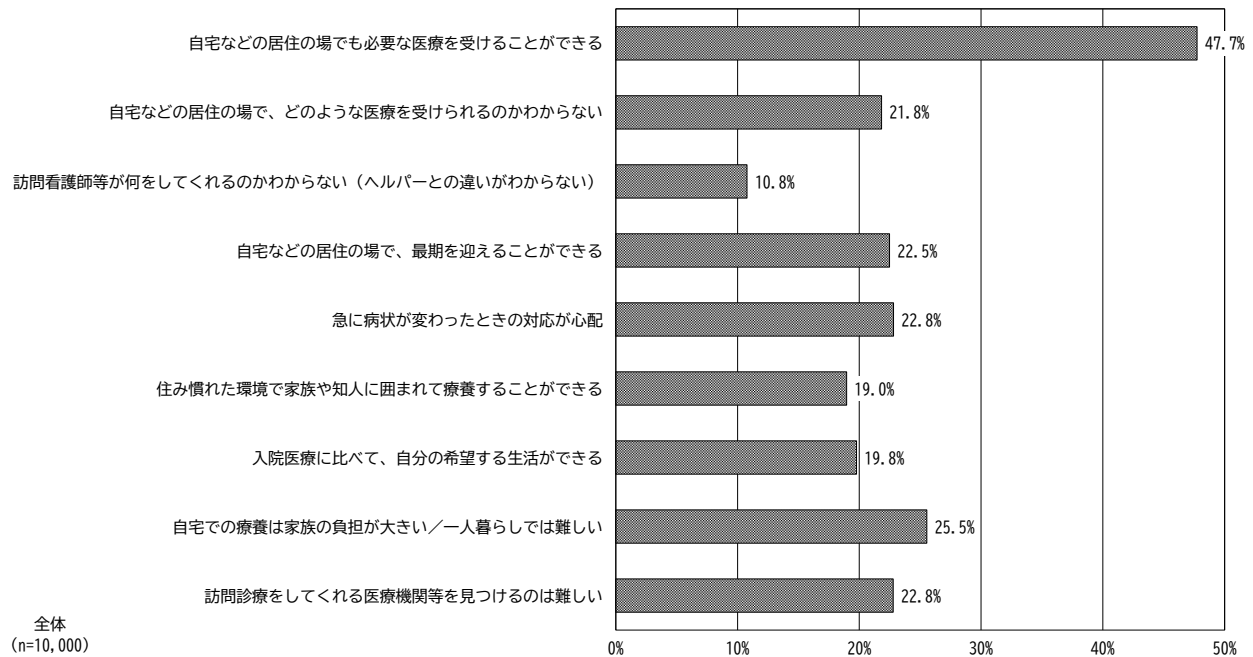
13. 在宅医療のイメージについて

(1) 自身が持つ「在宅医療」へのイメージ

🌈 自宅などの居住の場に、医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、理学療法士（リハビリ）等の医療関係者が訪問して行う医療のことを「在宅医療」といいます。在宅医療を受けることについて、どのようなイメージをお持ちですか。ご自身のイメージに近い項目を3つまでお選びください。【問 39（複数回答）】

- 本設問の回答は、「自宅などの居住の場でも必要な医療を受けることができる」（47.7%）、「自宅での療養は家族の負担が大きい／一人暮らしでは難しい」（25.5%）の順で多かった。
- 最も回答割合の高かった「自宅などの居住の場でも必要な医療を受けることができる」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに4～5割台であった。

図表 41 自身が持つ「在宅医療」へのイメージ



	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=911)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
自宅などの居住の場でも必要な医療を受けることができる	47.7%	47.6%	42.2%	40.8%	44.5%	50.5%	54.3%	44.9%	49.9%	43.7%	46.1%	53.0%	51.4%
自宅などの居住の場で、どのような医療を受けられるのかわからない	21.8%	21.3%	21.6%	24.8%	24.6%	23.5%	25.8%	18.6%	19.7%	23.1%	19.2%	17.9%	19.6%
訪問看護師等が何をしてくれるのかわからない（ヘルパーとの違いがわからない）	10.8%	13.9%	13.3%	11.7%	12.9%	11.9%	13.4%	10.0%	9.3%	9.1%	8.4%	7.3%	8.7%
自宅などの居住の場で、最期を迎えることができる	22.5%	15.8%	19.7%	16.5%	15.7%	20.1%	27.8%	18.9%	20.9%	23.1%	24.3%	25.0%	31.3%
急に病状が変わったときの対応が心配	22.8%	17.7%	21.2%	20.5%	18.1%	19.4%	23.4%	22.2%	23.9%	23.4%	22.9%	26.7%	28.8%
住み慣れた環境で家族や知人に囲まれて療養することができる	19.0%	15.6%	14.5%	13.8%	12.6%	17.0%	23.0%	19.3%	20.1%	20.0%	21.1%	22.7%	23.3%
入院医療に比べて、自分の希望する生活ができる	19.8%	12.9%	14.7%	14.4%	16.6%	19.2%	23.3%	15.2%	18.3%	19.6%	21.1%	23.5%	28.3%
自宅での療養は家族の負担が大きい／一人暮らしでは難しい	25.5%	10.5%	16.5%	18.0%	22.1%	24.8%	26.9%	20.5%	25.2%	28.0%	31.7%	32.1%	36.9%
訪問診療をしてくれる医療機関等を見つけるのは難しい	22.8%	21.8%	21.7%	21.4%	23.2%	23.9%	23.6%	22.9%	22.6%	22.5%	24.3%	22.2%	22.8%

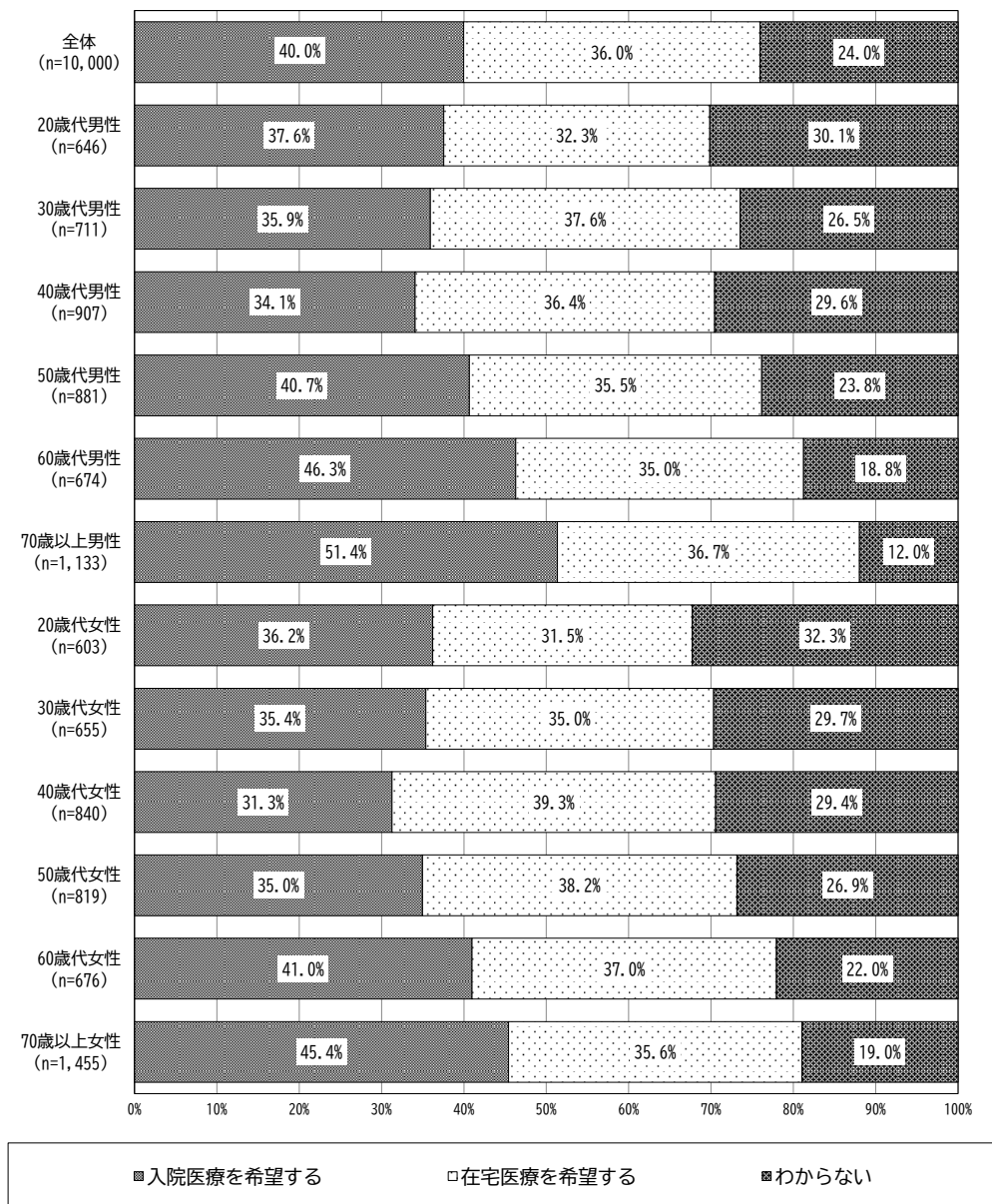
14. 長期の療養場所の希望や理由について

(1) 長期の治療・療養が必要になった場合の「在宅医療」の選択希望

仮に、あなたが、病気で長期にわたる治療・療養が必要になったとします。医師からは、あなたの希望で、「在宅医療」、「入院治療」のいずれでも対応できると言われました。こうした場合、あなたは、どちらでの治療・療養を希望しますか。最もあてはまるもの1つをお選びください。【問 40 (単数回答)】

○本設問で「在宅医療を希望する」と回答した方の割合は、36.0%であった。回答割合の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに3割台であった。

図表 42 長期の治療・療養が必要になった場合の「在宅医療」の選択希望



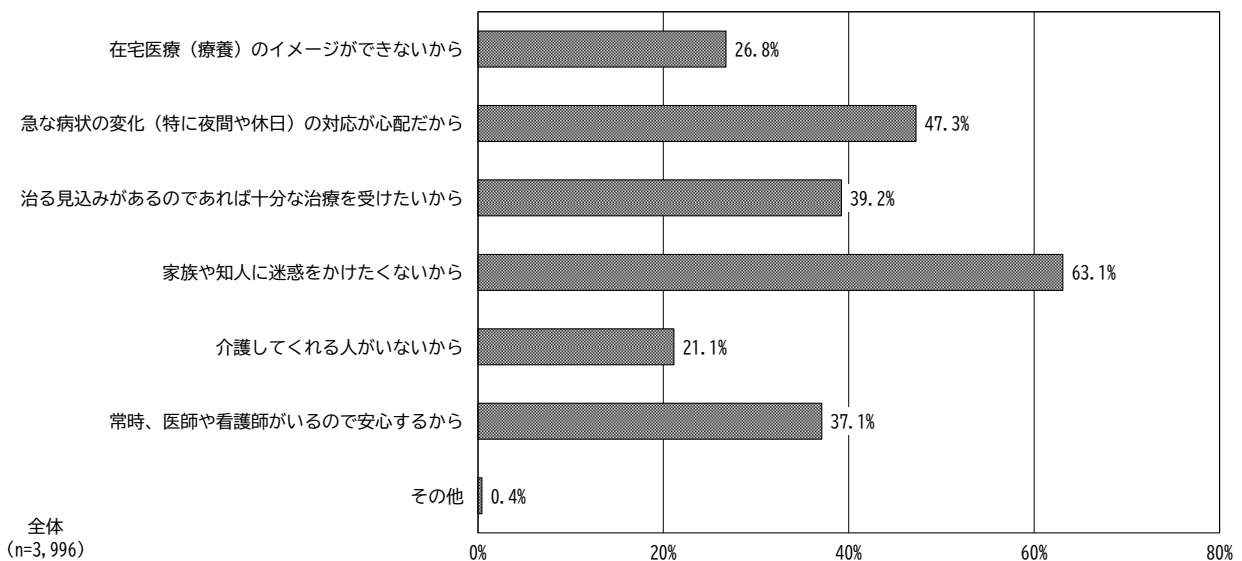
(2) 入院医療を希望する理由

入院医療を希望する理由はなぜですか。当てはまるものすべてをお選びください。【問 41 (複数回答)】

○本設問の回答は、「家族や知人に迷惑をかけたくないから」(63.1%)、「急な病状の変化(特に夜間や休日)の対応が心配だから」(47.3%)の順が多かった。

○最も回答割合の高かった「家族や知人に迷惑をかけたくないから」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向(男性：4～7割台、女性：6～7割台)がみられた。

図表 43 入院医療を希望する理由



	全体 (n=3,996)	20歳代男性 (n=243)	30歳代男性 (n=255)	40歳代男性 (n=309)	50歳代男性 (n=358)	60歳代男性 (n=312)	70歳以上男性 (n=582)	20歳代女性 (n=218)	30歳代女性 (n=232)	40歳代女性 (n=263)	50歳代女性 (n=286)	60歳代女性 (n=277)	70歳以上女性 (n=661)
在宅医療(療養)のイメージができないから	26.8%	42.0%	44.5%	36.5%	33.0%	24.8%	22.0%	25.8%	29.0%	24.6%	21.3%	18.0%	17.9%
急な病状の変化(特に夜間や休日)の対応が心配だから	47.3%	38.9%	41.6%	42.6%	38.8%	51.3%	57.8%	45.0%	40.4%	42.9%	37.8%	48.9%	56.4%
治る見込みがあるのであれば十分な治療を受けたいから	39.2%	40.8%	41.6%	36.2%	38.6%	38.8%	53.8%	37.5%	30.6%	29.4%	27.0%	35.1%	41.4%
家族や知人に迷惑をかけたくないから	63.1%	40.1%	41.3%	49.7%	54.8%	62.7%	70.8%	60.0%	66.3%	70.2%	69.5%	72.8%	74.4%
介護してくれる人がいないから	21.1%	10.8%	17.1%	15.9%	21.6%	16.6%	15.0%	11.3%	17.6%	22.5%	26.7%	31.8%	33.3%
常時、医師や看護師がいるので安心するから	37.1%	21.7%	29.5%	25.9%	25.9%	33.2%	51.3%	30.0%	28.2%	30.1%	32.4%	41.0%	54.9%
その他	0.4%	0.0%	0.0%	0.6%	0.5%	0.9%	0.5%	1.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.7%	0.4%

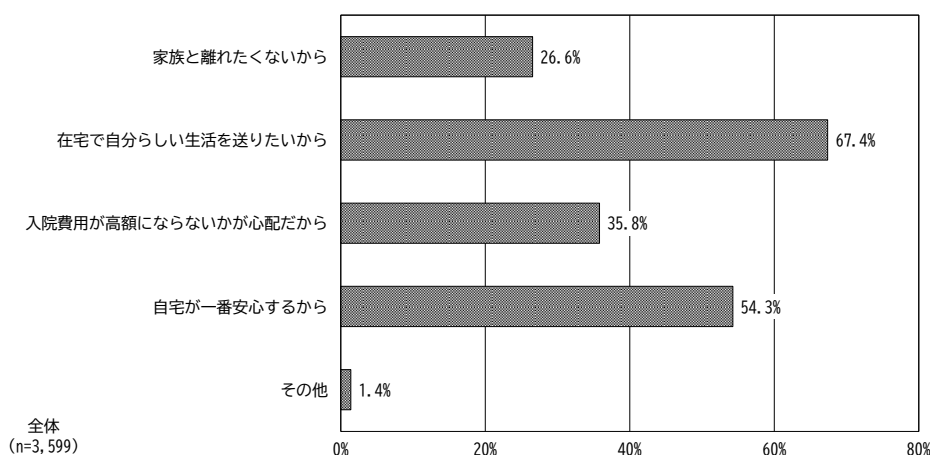
(3) 在宅医療を希望する理由

在宅医療を希望する理由はなぜですか。当てはまるものすべてをお選びください。【問 42 (複数回答)】

○本設問の回答は、「在宅で自分らしい生活を送りたいから」(67.4%)、「自宅が一番安心するから」(54.3%)の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「在宅で自分らしい生活を送りたいから」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向(男性：5～7割台、女性：5～7割台)がみられた。

図表 44 在宅医療を希望する理由



	全体 (n=3,599)	20歳代男性 (n=209)	30歳代男性 (n=267)	40歳代男性 (n=330)	50歳代男性 (n=313)	60歳代男性 (n=236)	70歳以上男性 (n=415)	20歳代女性 (n=190)	30歳代女性 (n=229)	40歳代女性 (n=330)	50歳代女性 (n=313)	60歳代女性 (n=250)	70歳以上女性 (n=518)
家族と離れたくないから	26.6%	27.4%	27.9%	26.4%	24.1%	26.3%	23.2%	44.0%	51.6%	36.1%	20.3%	14.5%	15.9%
在宅で自分らしい生活を送りたいから	67.4%	58.5%	57.8%	58.1%	59.3%	73.7%	78.3%	51.7%	59.1%	68.9%	68.0%	77.8%	78.0%
入院費用が高額にならないかが心配だから	35.8%	30.4%	35.0%	38.0%	41.9%	33.2%	29.8%	39.2%	38.1%	44.9%	42.7%	32.0%	29.0%
自宅が一番安心するから	54.3%	51.9%	53.1%	55.6%	52.3%	49.4%	60.6%	53.6%	53.6%	54.0%	50.3%	49.1%	58.9%
その他	1.4%	0.7%	1.0%	1.7%	0.3%	0.4%	0.7%	1.4%	2.8%	1.4%	2.3%	1.1%	2.3%

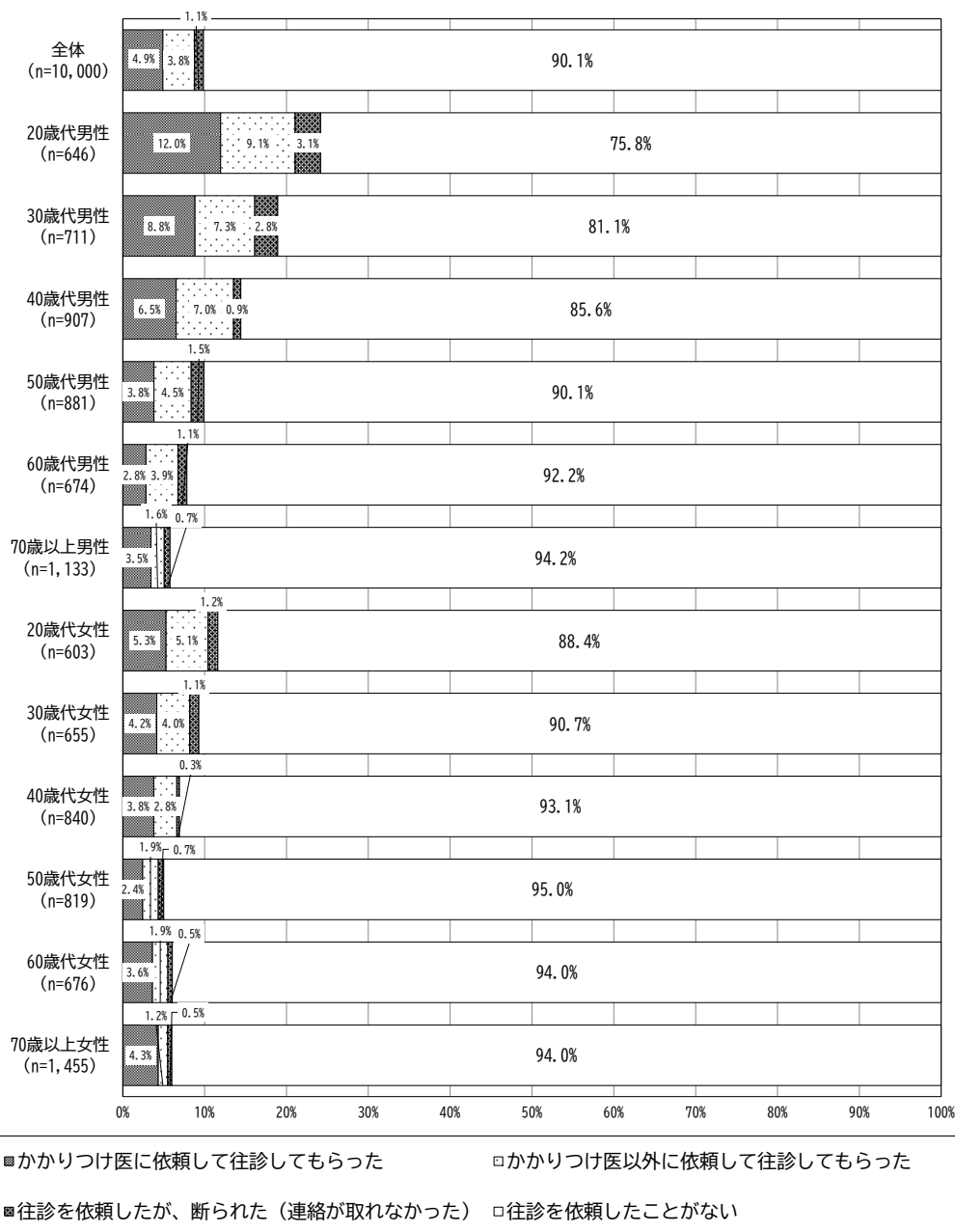
15. 夜間・休日の急変時対応について

(1) 自身又は家族が「往診」を依頼した経験の有無

あなたは、あなた自身又は家族が夜間や休日に具合が悪くなり、自宅や施設に来てもらい診療（往診）してくれるように依頼したことがありますか。最もあてはまるもの1つをお選びください。【問 43（単数回答）】

○本設問で「何らか往診を依頼した」と回答した方の割合は、9.9%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね減少傾向がみられた。

図表 45 自身又は家族が「往診」を依頼した経験の有無



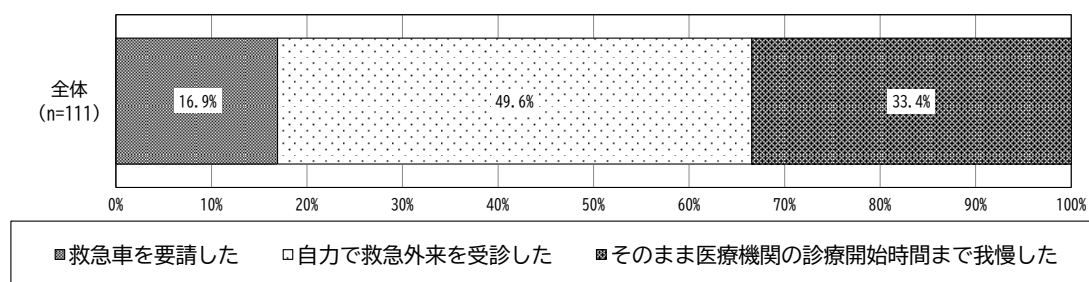
(2) 自身又は家族が「往診」を断られた後の対応

《「往診を依頼したが断れられた（連絡が取れなかった）」と回答した方》

📌 往診を断られた後、どのように対応しましたか。最もあてはまるもの1つをお選びください。【問 44（単数回答）】

○本設問の回答は、「自力で救急外来を受診した」（49.6%）、「そのまま医療機関の診療開始時間まで我慢した」（33.4%）、「救急車を要請した」（16.9%）」の順が多かった。

図表 46 自身又は家族が「往診」を断られた後の対応



	全体 (n=111)	20歳代男性 (n=20)	30歳代男性 (n=20)	40歳代男性 (n=8)	50歳代男性 (n=14)	60歳代男性 (n=7)	70歳以上男性 (n=8)	20歳代女性 (n=7)	30歳代女性 (n=7)	40歳代女性 (n=3)	50歳代女性 (n=5)	60歳代女性 (n=4)	70歳以上女性 (n=7)
救急車を要請した	16.9%	0.0%	9.1%	0.0%	33.3%	25.0%	44.4%	12.5%	12.5%	33.3%	16.7%	25.0%	33.3%
自力で救急外来を受診した	49.6%	61.5%	50.0%	55.6%	53.3%	62.5%	44.4%	25.0%	62.5%	66.7%	33.3%	75.0%	0.0%
そのまま医療機関の診療開始時間まで我慢した	33.4%	38.5%	40.9%	44.4%	13.3%	12.5%	11.1%	62.5%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	66.7%

16. 最期を迎える場所の希望や理由について

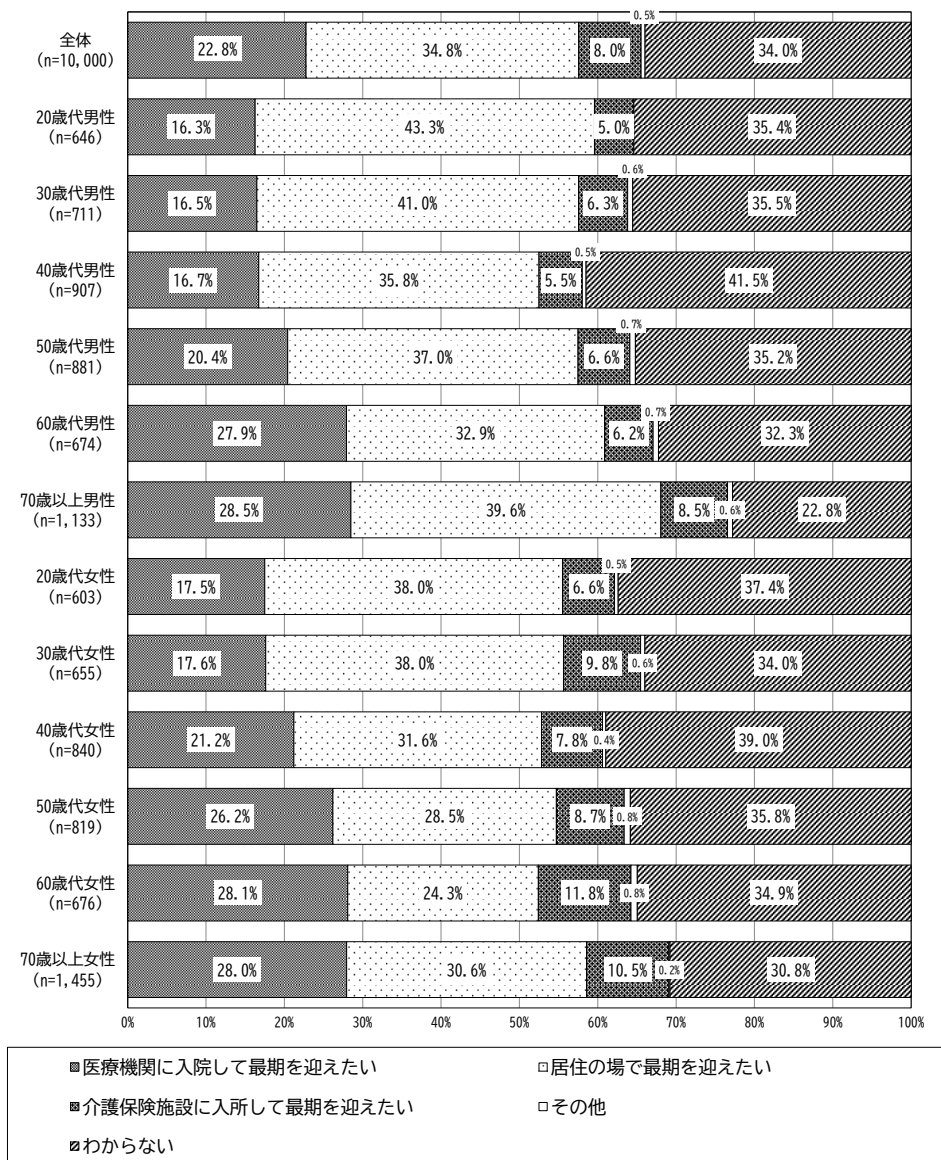
(1) 自身が最期を迎える場所の希望

あなたは将来、自分が最期を迎える場所として、医療機関（病院や診療所）と、居住の場（自宅や生活相談・見守りサービス付き高齢者向け住宅など）、介護保険施設（特別養護老人ホームなど）のどこを希望しますか、現時点のお考えに最もあてはまるもの1つをお選びください。【問45（単数回答）】

○本設問の回答は、「居住の場で最期を迎えたい」（34.8%）、「わからない」（34.0%）」の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「居住の場で最期を迎えたい」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性は3～4割台、女性は2～3割台であった。

図表 47 自身が最期を迎える場所の希望



(2) 医療機関で最期を迎えたい理由

《「医療機関に入院して最期を迎えたい」と回答した方》

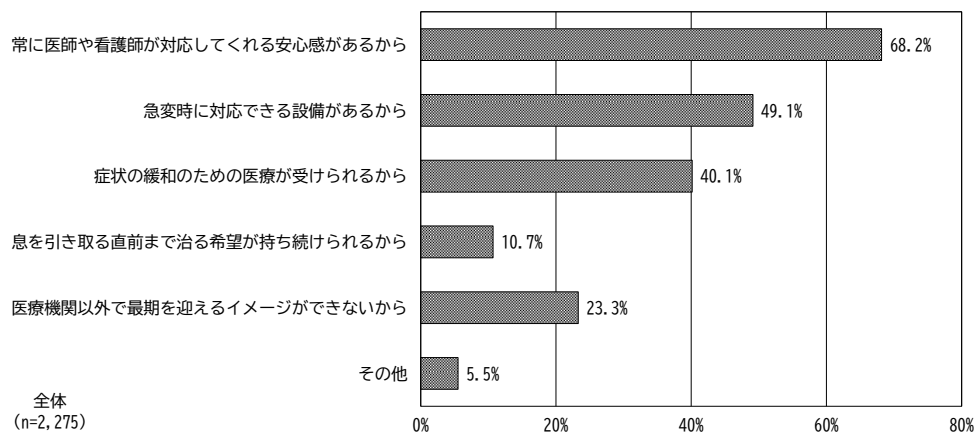
📌 医療機関で最期を迎えたい理由はなぜですか。当てはまるものすべてをお選びください。

【問 46 (複数回答)】

○本設問の回答は、「常に医師や看護師が対応してくれる安心感があるから」(68.2%)、「急変時に対応できる設備があるから」(49.1%)の順が多かった。

○最も回答割合の高かった「常に医師や看護師が対応してくれる安心感があるから」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向(男性：5～7割台、女性：5～7割台)がみられた。

図表 48 医療機関で最期を迎えたい理由



	全体 (n=2,275)	20歳代男性 (n=105)	30歳代男性 (n=177)	40歳代男性 (n=152)	50歳代男性 (n=180)	60歳代男性 (n=186)	70歳以上男性 (n=323)	20歳代女性 (n=186)	30歳代女性 (n=115)	40歳代女性 (n=178)	50歳代女性 (n=215)	60歳代女性 (n=190)	70歳以上女性 (n=407)
常に医師や看護師が対応してくれる安心感があるから	68.2%	58.8%	55.8%	62.9%	68.2%	70.5%	77.2%	58.6%	61.4%	61.7%	63.6%	76.1%	73.8%
急変時に対応できる設備があるから	49.1%	36.8%	41.1%	41.9%	53.5%	46.4%	50.4%	43.1%	47.2%	43.9%	46.6%	53.1%	59.5%
症状の緩和のための医療が受けられるから	40.1%	27.9%	29.5%	29.9%	30.8%	34.8%	45.9%	30.2%	33.1%	39.8%	41.5%	44.5%	54.2%
息を引き取る直前まで治る希望が持ち続けられるから	10.7%	19.1%	14.7%	16.8%	9.1%	11.6%	9.6%	6.9%	15.0%	9.2%	5.5%	6.7%	11.3%
医療機関以外で最期を迎えるイメージができないから	23.3%	29.4%	23.3%	21.6%	26.8%	16.9%	19.7%	28.4%	20.5%	22.4%	19.9%	18.7%	30.4%
その他	5.5%	2.9%	7.8%	6.0%	4.5%	5.3%	4.2%	6.0%	10.2%	8.7%	9.7%	4.3%	2.4%

(3) 居住の場で最期を迎えたい理由

《「居住の場で最期を迎えたい」と回答した方》

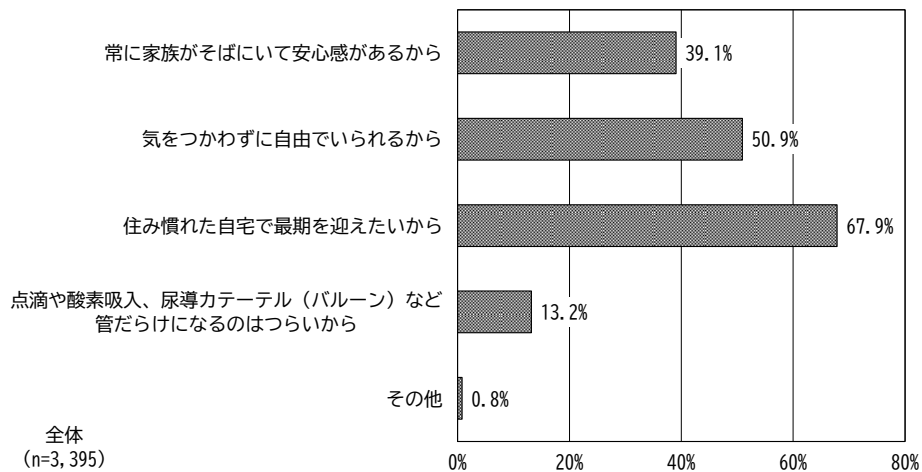
📌 居住の場で最期を迎えたい理由はなぜですか。当てはまるものすべてをお選びください。

【問 47 (複数回答)】

○本設問の回答は、「住み慣れた自宅で最期を迎えたいから」(67.9%)、「気をつかわずに自由でいられるから」(50.9%)の順が多かった。

○最も回答割合の高かった「住み慣れた自宅で最期を迎えたいから」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向(男性：5～7割台、女性：6～7割台)がみられた。

図表 49 居住の場で最期を迎えたい理由



	全体 (n=3,480)	20歳代男性 (n=280)	30歳代男性 (n=292)	40歳代男性 (n=325)	50歳代男性 (n=326)	60歳代男性 (n=222)	70歳以上男性 (n=448)	20歳代女性 (n=229)	30歳代女性 (n=249)	40歳代女性 (n=265)	50歳代女性 (n=234)	60歳代女性 (n=165)	70歳以上女性 (n=445)
常に家族がそばにいて安心感があるから	39.1%	40.9%	40.5%	34.2%	36.2%	38.1%	43.8%	50.4%	56.9%	40.8%	33.1%	27.6%	28.8%
気をつかわずに自由でいられるから	50.9%	45.9%	55.5%	62.7%	49.3%	49.2%	45.2%	46.8%	51.5%	52.7%	49.4%	55.8%	50.0%
住み慣れた自宅で最期を迎えたいから	67.9%	55.2%	63.9%	66.4%	66.0%	67.2%	79.3%	65.9%	64.6%	64.4%	67.7%	71.3%	73.4%
点滴や酸素吸入、尿導カテーテル（バルーン）など管だらけになるのはつらいから	13.2%	11.0%	7.8%	8.4%	7.2%	9.8%	11.6%	13.9%	15.0%	16.1%	19.5%	22.1%	19.6%
その他	0.8%	0.6%	0.6%	0.3%	0.3%	0.8%	0.4%	0.4%	1.5%	1.7%	1.9%	1.7%	0.5%

(4) 介護保険施設で最期を迎えたい理由

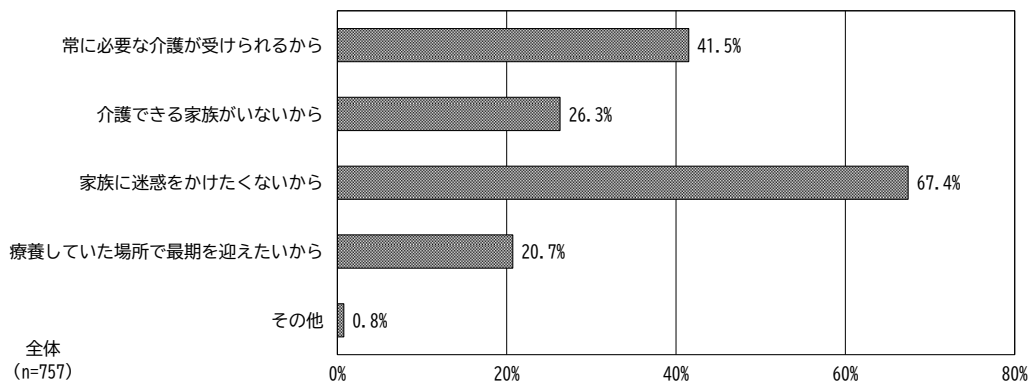
《「介護保険施設に入所して最期を迎えたい」と回答した方》

📌 介護保険施設で最期を迎えたい理由はなぜですか。当てはまるものすべてをお選びください。【問 48 (複数回答)】

○本設問の回答は、「家族に迷惑をかけたくないから」(67.4%)、「常に必要な介護が受けられるから」(41.5%)の順が多かった。

○最も回答割合の高かった「家族に迷惑をかけたくないから」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性は概ね増加傾向(3～7割台)、女性は6～8割台であり30歳代が8割台で最も多かった。

図表 50 介護保険施設で最期を迎えたい理由



	全体 (n=757)	20歳代男性 (n=32)	30歳代男性 (n=45)	40歳代男性 (n=50)	50歳代男性 (n=58)	60歳代男性 (n=42)	70歳以上男性 (n=96)	20歳代女性 (n=40)	30歳代女性 (n=64)	40歳代女性 (n=65)	50歳代女性 (n=71)	60歳代女性 (n=80)	70歳以上女性 (n=153)
常に必要な介護が受けられるから	41.5%	19.0%	20.4%	29.1%	35.9%	47.8%	51.9%	36.4%	45.1%	40.3%	50.0%	39.8%	47.6%
介護できる家族がないから	26.3%	19.0%	18.4%	40.0%	34.4%	26.1%	18.9%	11.4%	14.1%	29.2%	30.8%	31.8%	30.2%
家族に迷惑をかけたくないから	67.4%	38.1%	55.1%	45.5%	65.6%	63.0%	76.4%	68.2%	80.3%	73.6%	61.5%	68.2%	74.6%
療養していた場所で最期を迎えたいから	20.7%	38.1%	30.6%	23.6%	21.9%	10.9%	17.9%	15.9%	23.9%	6.9%	16.7%	22.7%	23.8%
その他	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	1.4%	2.8%	0.0%	0.0%	1.6%

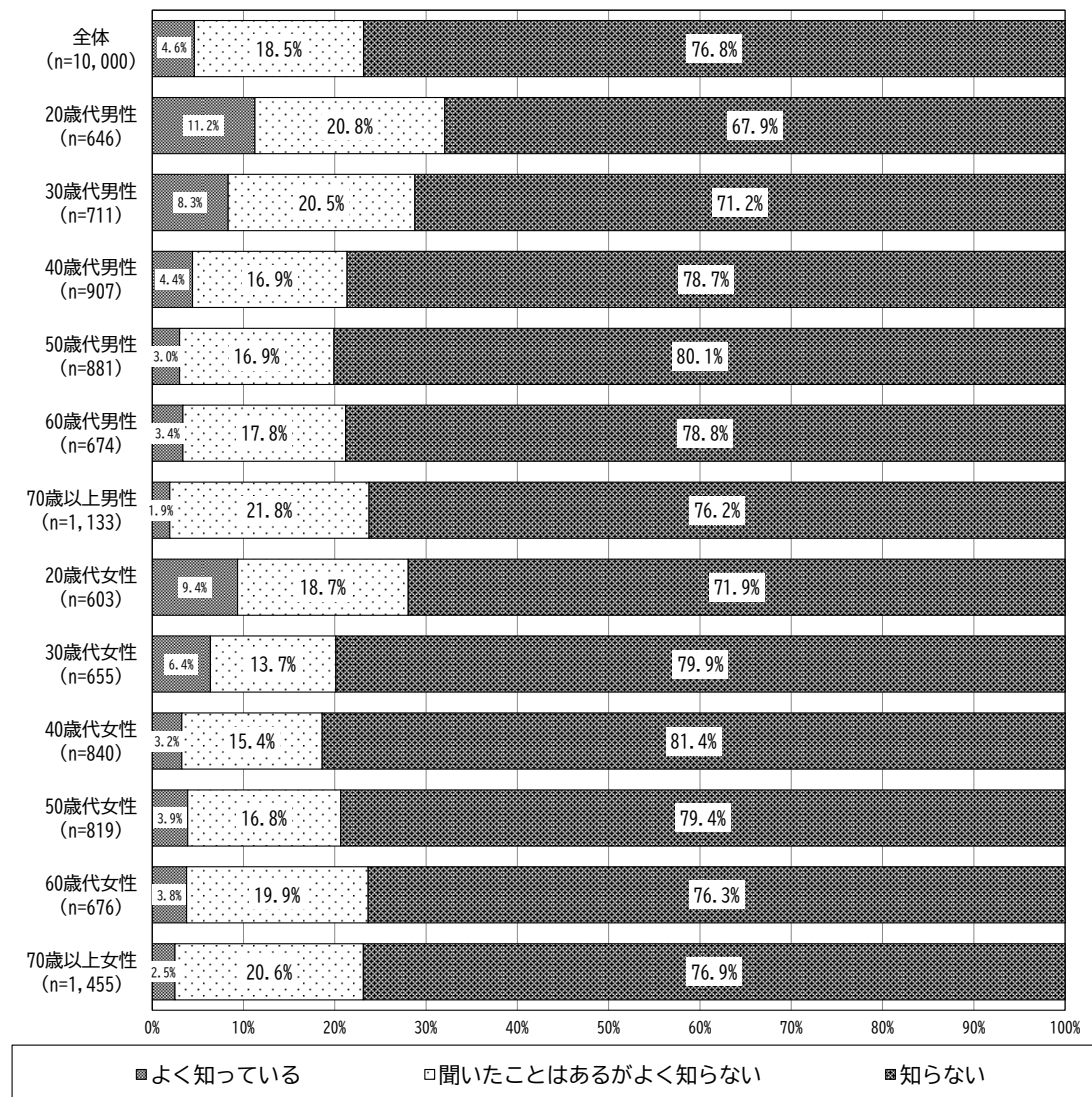
17. 人生の最終段階における医療・療養に関する状況や考え

(1) アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知状況

人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療・療養を受けるために、ご家族等や医療・介護関係者等と話し合うことを「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」（愛称：人生会議）と言います。あなたは、「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」もしくは「人生会議」という言葉を知っていますか。あてはまるもの1つをお選びください。【問 49（単数回答）】

- 本設問の回答は、「知らない」（76.8%）、「聞いたことはあるがよく知らない」（18.5%）、「よく知っている」（4.6%）」の順で多かった。
- 「よく知っている」と回答した方の割合は、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね減少傾向がみられた。

図表 51 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知状況

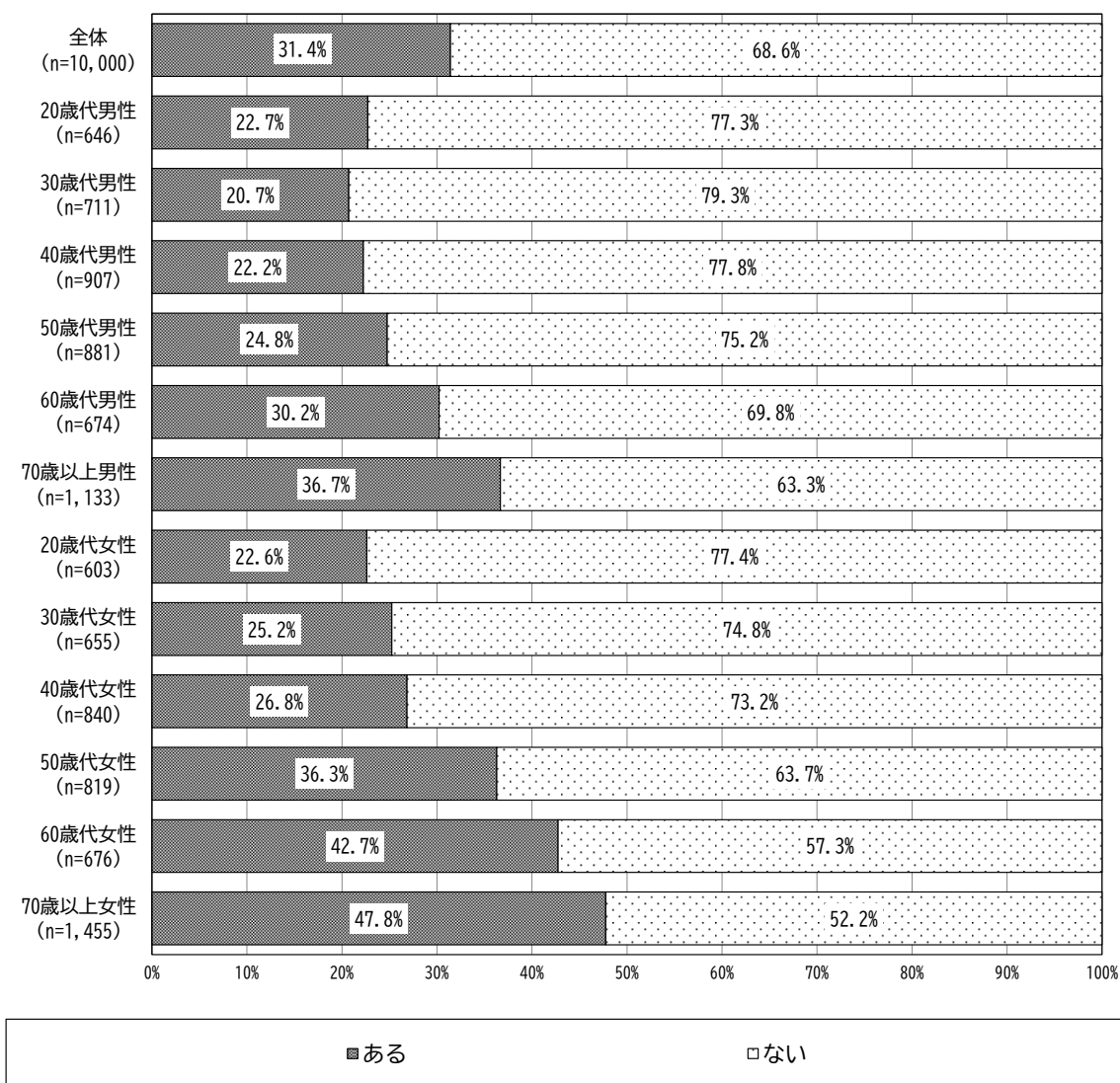


(2) 自身が人生の最終段階における医療・療養について考えた経験の有無

あなたは、人生の最終段階における医療・療養について、これまでに考えたことがありますか。あてはまるもの1つをお選びください。【問50 (単数回答)】

○本設問で「ある」と回答した方の割合は、31.4%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性：2～3割台、女性：2～4割台）がみられた。

図表 52 自身が人生の最終段階における医療・療養について考えた経験の有無

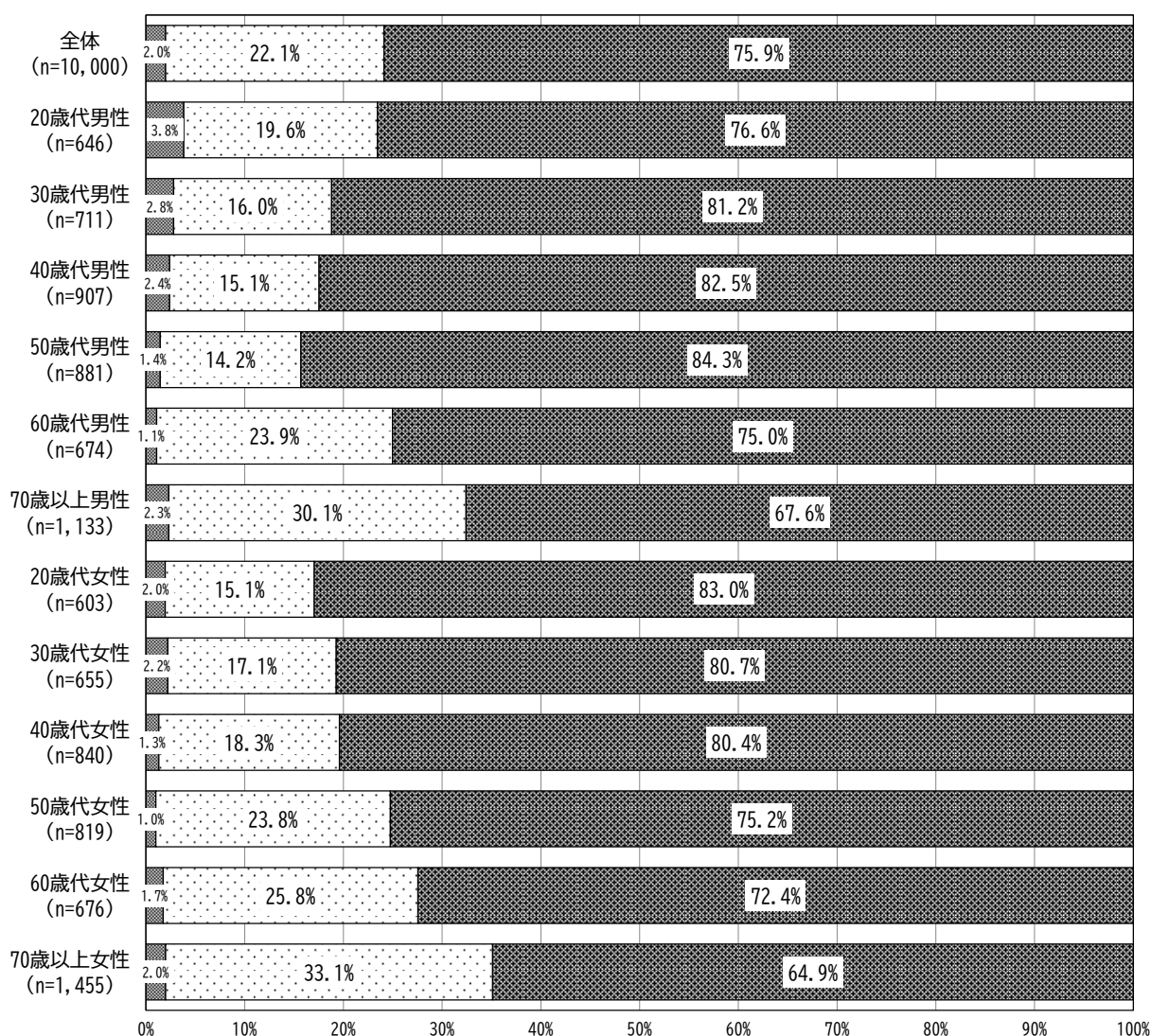


(3) 家族等とACPについて話し合った経験の有無

あなたは、人生の最終段階における医療・療養について、ご家族などの身近な人と話し合ったことはありますか。あてはまるもの1つをお選びください。【問51（単数回答）】

○本設問で「何らか話し合ったことがある」と回答した方の割合は、24.1%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性（50歳以上）：1～3割台、女性：1～3割台）がみられた。

図表 53 家族等とACPについて話し合った経験の有無



■ 詳しく話し合っている

□ 一応話し合っている

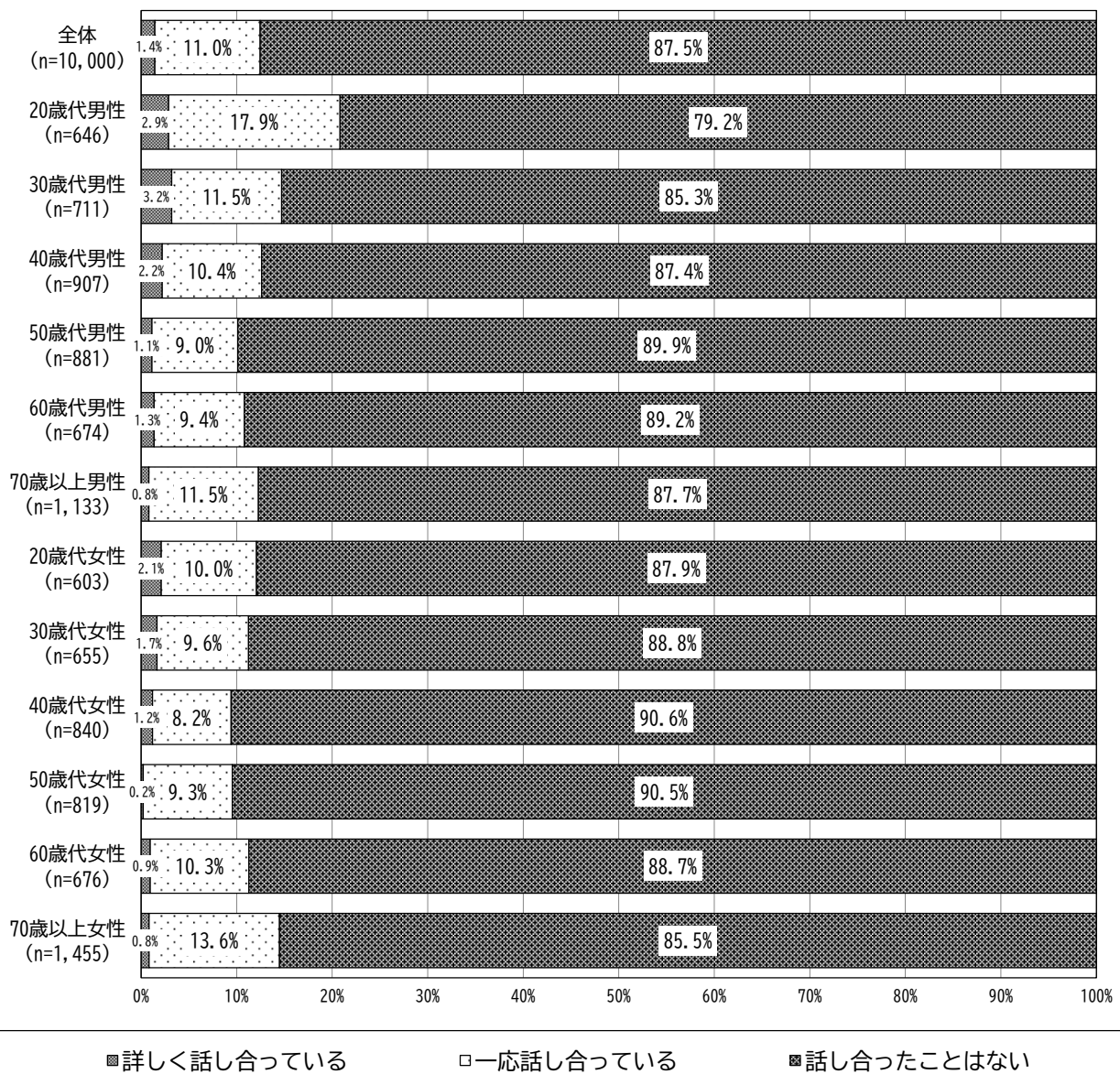
▨ 話し合ったことはない

(4) 医療・介護関係者等とACPについて話し合った経験の有無

あなたは、人生の最終段階における医療・療養について、医療・介護関係者と話し合ったことはありますか。あてはまるもの1つをお選びください。【問52 (単数回答)】

○本設問で「何らか話し合ったことがある」と回答した方の割合は、12.5%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、「20歳代男性」(20.8%)、「30歳代男性」(14.7%)の順で多く、他の区分は1割前後であった。

図表 54 医療・介護関係者等とACPについて話し合った経験の有無



(5) ACPについて話し合ったことがない理由

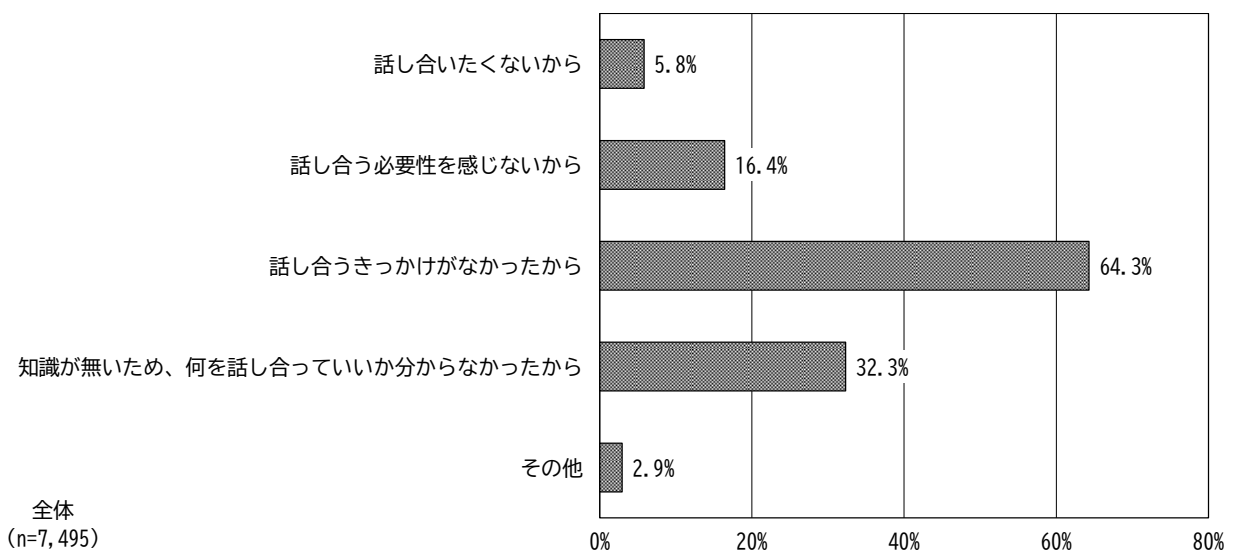
《ACPについて話し合ったことがない方》

人生の最終段階における医療・療養について、あなたがこれまで話し合ったことはない理由は何ですか。当てはまるものすべてをお選びください。【問 53 (複数回答)】

○本設問の回答は、「話し合うきっかけがなかったから」(64.3%)、「知識が無いため、何を話し合っ
ていいかわからなかったから」(32.3%)の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「話し合うきっかけがなかったから」の内訳を性別・年齢区分別にみると、
男性は5～6割台、女性は6～7割台であった。

図表 55 ACPについて話し合ったことがない理由



	全体 (n=7,495)	20歳代男性 (n=482)	30歳代男性 (n=569)	40歳代男性 (n=740)	50歳代男性 (n=734)	60歳代男性 (n=501)	70歳以上男性 (n=761)	20歳代女性 (n=494)	30歳代女性 (n=522)	40歳代女性 (n=666)	50歳代女性 (n=608)	60歳代女性 (n=489)	70歳以上女性 (n=930)
話し合いたくないから	5.8%	5.4%	8.6%	7.1%	7.6%	8.4%	6.5%	2.8%	4.3%	5.2%	4.6%	3.5%	4.9%
話し合う必要性を感じないから	16.4%	23.7%	21.9%	16.1%	17.7%	22.9%	24.5%	14.9%	9.6%	9.7%	10.5%	15.6%	12.2%
話し合うきっかけがなかったから	64.3%	56.4%	60.7%	60.9%	60.0%	58.9%	66.7%	65.2%	67.7%	63.6%	69.7%	67.3%	70.8%
知識が無いため、何を話し合っ ていいかわからなかったから	32.3%	32.1%	34.3%	35.0%	32.8%	27.8%	27.1%	36.6%	37.0%	41.5%	30.0%	28.1%	27.6%
その他	2.9%	1.6%	1.4%	2.2%	3.7%	3.6%	2.0%	2.2%	2.4%	2.2%	3.3%	5.2%	4.7%

付録. 二次医療圏別クロス集計

〔回答者の属性〕

定期的な医療機関受診の有無

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
受診している	49.3%	49.1%	47.9%	50.9%	49.6%	50.5%	52.4%	49.4%	46.7%	50.0%
受診していない	50.7%	50.9%	52.1%	49.1%	50.4%	49.5%	47.6%	50.6%	53.3%	50.0%

〔かかりつけ医に関する状況や考え〕

かかりつけ医の有無

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
いる	51.2%	51.3%	49.3%	49.7%	52.7%	50.2%	60.1%	51.9%	55.2%	58.6%
いない	48.8%	48.7%	50.7%	50.3%	47.3%	49.8%	39.9%	48.1%	44.8%	41.4%

	全体 (n=5,119)	千葉 (n=843)	東葛南部 (n=1,634)	東葛北部 (n=1,232)	印旛 (n=572)	香取海匠 (n=93)	山武長生夷隅 (n=290)	安房 (n=50)	君津 (n=230)	市原 (n=175)
入院施設(病床)を持たない診療所 (医院・クリニック)	72.7%	76.9%	76.7%	68.0%	71.8%	67.0%	68.6%	57.6%	70.2%	67.6%
入院施設(病床)を持つ病院・診療所 (A)のような病院を除く。)	19.6%	15.8%	15.3%	24.1%	19.2%	28.4%	24.6%	40.6%	24.4%	21.8%
(A)大学病院などの特に高度な診療機能を持った病院や、がんセンターなどの特定の分野に特化した高度な専門病院	7.8%	7.2%	8.0%	7.9%	9.0%	4.6%	6.8%	1.8%	5.4%	10.6%

かかりつけ医に期待すること

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
病気や治療についてわかりやすく説明してくれる	41.5%	40.2%	43.2%	41.6%	39.7%	40.1%	39.2%	35.8%	44.2%	38.1%
自分の持病を、継続的に診てくれる	31.1%	30.5%	31.1%	31.0%	31.1%	39.6%	29.4%	34.9%	29.7%	32.9%
幅広い病気・けがや症状を診てくれる	8.6%	8.8%	7.7%	8.4%	9.8%	10.8%	10.4%	12.3%	8.5%	10.2%
必要に応じて専門の医療機関を紹介してくれる	19.1%	20.2%	18.6%	17.7%	20.3%	14.0%	21.2%	25.2%	19.6%	21.4%
健康や疾病予防、医療・介護の相談に気軽に応じてくれる	4.7%	4.2%	5.2%	5.0%	4.4%	2.0%	4.7%	6.6%	3.6%	4.7%
あなたの病歴や健康状態などをよく知っている	15.3%	15.7%	14.1%	17.1%	14.8%	13.5%	14.6%	9.1%	14.7%	16.4%
あなたのご家族の病歴や健康状態などをよく知っている	2.2%	2.8%	1.9%	1.9%	2.3%	1.3%	3.1%	6.3%	2.3%	1.5%
気になる症状が生じたなど、必要となった時にいつでも連絡が取れ、適切な指示をしてくれる	8.4%	8.6%	7.4%	9.1%	9.2%	9.7%	10.5%	7.2%	8.0%	7.6%
深夜や休日などの緊急時にも診てくれる	2.8%	2.4%	2.6%	3.0%	2.9%	4.4%	3.8%	5.7%	2.3%	2.4%
外来に通えなくなった場合も、定期的に自宅に来て診察してくれる	1.0%	0.6%	0.8%	1.1%	2.0%	0.0%	1.1%	0.9%	0.9%	1.2%
最新の設備が整えられている	1.9%	1.6%	2.1%	1.7%	2.1%	2.5%	1.5%	2.8%	1.7%	1.7%
自宅から近く通院が便利	30.7%	31.9%	31.5%	29.7%	30.2%	24.3%	31.7%	18.3%	29.7%	31.3%
職場から近く通院が便利	1.1%	0.9%	0.9%	0.9%	1.4%	2.5%	0.6%	0.0%	1.7%	2.4%
医師の人柄がよい	10.3%	9.5%	11.0%	10.0%	9.9%	12.1%	10.6%	7.2%	11.2%	9.3%
その他	0.4%	0.3%	0.6%	0.5%	0.3%	1.0%	0.2%	0.0%	0.2%	0.6%
かかりつけ医を持つ必要性を感じていない	6.5%	6.3%	7.1%	6.7%	6.1%	7.7%	4.3%	9.4%	5.8%	4.8%

〔医療機関へのかかり方〕

軽度の体調不良を覚えた際の対処法

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海浜 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
医療機関で受診する	20.6%	18.2%	21.5%	21.8%	17.9%	25.8%	20.1%	20.8%	19.3%	23.5%
薬局等で薬剤師に相談して医薬品を購入する	3.2%	3.3%	3.1%	2.8%	3.1%	2.0%	3.3%	4.4%	4.6%	5.1%
薬局等で薬剤師に相談せずに医薬品を購入する	8.9%	9.6%	8.9%	7.6%	10.1%	9.1%	10.9%	6.6%	8.6%	10.1%
家に常備してある医薬品を服用する	34.0%	33.7%	33.4%	36.4%	36.3%	33.6%	30.5%	27.0%	29.1%	27.7%
栄養ドリンクや健康食品・サプリメントを摂取する	3.7%	4.0%	3.9%	2.8%	3.7%	4.4%	4.5%	6.3%	3.1%	4.4%
受診や服薬はせず、十分な食事や休息をとって様子を見る	29.3%	30.8%	28.9%	28.3%	28.5%	24.6%	30.3%	34.9%	34.7%	29.3%
その他	0.3%	0.4%	0.2%	0.2%	0.4%	0.5%	0.4%	0.0%	0.7%	0.0%

体調不良を覚えて当日中に医療機関を受診する場合のかかり方

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海浜 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
普段からかかりつけにしている医療機関で受診する	61.2%	59.4%	60.9%	59.4%	62.2%	67.5%	67.4%	62.3%	66.4%	64.8%
自宅や職場の近くなど、その時に最も受診しやすい医療機関で受診する	52.2%	54.2%	54.1%	52.7%	50.6%	42.5%	47.8%	41.2%	49.2%	44.1%
症状をもとに自分で調べた専門医療機関で受診する	17.5%	17.9%	17.8%	17.3%	18.4%	16.8%	13.4%	16.7%	16.4%	17.3%
発熱相談センターなど公的相談窓口を利用する	3.8%	4.0%	3.3%	4.3%	3.5%	2.8%	4.4%	3.5%	3.8%	5.0%
たくさんの診療科がそろった病院で受診する	5.9%	4.4%	5.1%	7.9%	5.4%	9.5%	7.7%	5.7%	4.1%	4.8%
どの医療機関で受診したらよいかわからないので救急車での搬送を頼む	1.1%	1.1%	1.0%	1.0%	1.7%	0.5%	1.3%	1.9%	0.7%	1.2%
日中は忙しかったり医療機関が混雑していたりするので夜間救急外来を探し、夜間に受診する	2.5%	2.6%	2.5%	2.5%	2.5%	4.8%	1.1%	4.4%	2.4%	2.1%
その他	0.7%	0.9%	0.7%	0.6%	0.7%	0.5%	1.4%	0.0%	0.9%	0.6%

大病院での外来受診の際に「選定療養費」を支払った経験の有無

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海浜 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
紹介状を持たずに、「特別な料金（選定療養費）」を支払って、初診を受けたことがある	8.6%	7.0%	8.7%	10.0%	7.6%	15.9%	8.8%	7.9%	7.4%	5.2%
「特別な料金（選定療養費）」の対象となる大規模な病院で受診したことがあるが、初診の際に紹介状を持参したため、「特別な料金（選定療養費）」は一度も支払っていない	11.6%	11.3%	11.6%	11.8%	11.9%	10.0%	11.0%	3.5%	10.9%	15.4%
「特別な料金（選定療養費）」の対象となる大規模な病院で受診したことがあるが、救急や公費負担医療等での受診であったため、「特別な料金（選定療養費）」は一度も支払っていない	2.5%	2.8%	2.7%	2.7%	2.0%	0.5%	2.1%	1.9%	1.9%	1.1%
過去1年以内に、「特別な料金（選定療養費）」の対象となる大規模な病院は受診していない	65.9%	67.7%	65.5%	64.7%	66.5%	57.4%	68.4%	72.6%	68.4%	64.1%
わからない	11.4%	11.1%	11.4%	10.8%	12.1%	16.1%	9.7%	14.1%	11.4%	14.1%

紹介状を持たずに大規模な病院で受診した理由

	全体 (n=859)	千葉 (n=115)	東葛南部 (n=290)	東葛北部 (n=247)	印旛 (n=82)	香取海浜 (n=29)	山武長生夷隅 (n=42)	安房 (n=8)	君津 (n=31)	市原 (n=15)
紹介状が必要とは知らなかったから	27.6%	27.5%	27.6%	28.1%	24.4%	27.8%	26.6%	20.3%	35.3%	29.4%
大きな（専門的な）医療機関の方が安心だから	35.0%	34.4%	32.7%	35.4%	39.9%	42.2%	40.3%	44.2%	26.5%	35.3%
以前、受診したことがあるから	26.9%	29.9%	24.4%	32.3%	18.8%	23.7%	22.3%	43.8%	20.6%	29.4%
別の医療機関から紹介状をもらうための受診をせずに、すぐに専門的な診療を受けたかったから	21.0%	32.8%	19.4%	17.2%	19.5%	21.6%	24.5%	23.9%	20.6%	23.5%
自宅や職場から近い等、受診しやすかったから	20.0%	20.7%	21.2%	19.6%	15.2%	21.6%	23.1%	31.8%	11.8%	23.5%
その他	7.1%	4.5%	7.0%	7.0%	13.3%	5.3%	2.2%	12.0%	8.8%	5.9%

〔お薬手帳について〕

お薬手帳の保有状況

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海浜 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
持っている	81.9%	83.8%	80.8%	81.6%	82.4%	80.1%	82.3%	78.0%	82.1%	85.4%
持っていない	18.1%	16.2%	19.2%	18.4%	17.6%	19.9%	17.7%	22.0%	17.9%	14.6%

処方薬を受け取った際にお薬手帳の提示状況

	全体 (n=8,189)	千葉 (n=1,375)	東葛南部 (n=2,678)	東葛北部 (n=2,023)	印旛 (n=896)	香取海浜 (n=148)	山武長生夷隅 (n=397)	安房 (n=75)	君津 (n=342)	市原 (n=255)
必ず提示した	58.1%	58.4%	57.1%	58.9%	59.3%	52.2%	58.7%	56.4%	54.7%	62.5%
提示したことが多かった	18.1%	17.9%	18.3%	18.4%	18.3%	17.8%	16.1%	25.8%	19.6%	14.9%
あまり提示しなかった	9.6%	9.7%	8.8%	9.8%	10.3%	13.1%	10.5%	8.1%	8.8%	9.8%
提示しなかった	6.9%	6.8%	8.2%	6.3%	5.6%	6.0%	5.6%	2.4%	7.5%	6.8%
最近1年以内に薬の処方を受けていない	7.3%	7.2%	7.6%	6.6%	6.5%	10.8%	9.1%	7.3%	9.4%	6.1%

医療機関受診の際に医師や看護師等に対するお薬手帳の提示状況

	全体 (n=8,189)	千葉 (n=1,375)	東葛南部 (n=2,678)	東葛北部 (n=2,023)	印旛 (n=896)	香取海浜 (n=148)	山武長生夷隅 (n=397)	安房 (n=75)	君津 (n=342)	市原 (n=255)
必ず提示した	30.8%	33.8%	28.2%	31.4%	30.6%	24.6%	35.2%	31.0%	29.3%	35.4%
提示したことが多かった	15.9%	16.2%	16.2%	16.0%	14.5%	19.5%	14.3%	23.0%	15.5%	15.6%
あまり提示しなかった	14.5%	12.4%	14.6%	15.7%	14.5%	12.1%	17.4%	12.9%	13.1%	15.0%
提示しなかった	29.8%	28.9%	31.6%	28.3%	33.0%	30.5%	24.1%	28.2%	30.4%	24.4%
最近1年以内に医療機関で受診していない	9.0%	8.6%	9.5%	8.5%	7.4%	13.3%	8.9%	4.8%	11.7%	9.6%

お薬手帳を提示しなかった理由

	全体 (n=3,725)	千葉 (n=586)	東葛南部 (n=1,268)	東葛北部 (n=920)	印旛 (n=434)	香取海浜 (n=66)	山武長生夷隅 (n=166)	安房 (n=32)	君津 (n=151)	市原 (n=102)
持っていきのを忘れてしまったから	29.8%	30.3%	29.3%	31.4%	28.0%	37.8%	26.5%	27.7%	28.6%	28.8%
持っていきのが面倒なので持っていかなかった	10.1%	11.8%	9.7%	10.1%	8.9%	10.6%	12.1%	10.6%	6.9%	10.7%
自分の使用している薬はわかっており、手帳で管理する必要を感じないから	10.7%	9.4%	10.8%	10.8%	11.5%	16.2%	10.2%	17.1%	7.8%	10.7%
持って行かなくても支払額がそれほど変わらないから	3.9%	4.9%	4.0%	3.7%	2.1%	5.5%	6.2%	2.9%	4.2%	2.7%
他院でどのような治療を受けているかわからなかったから	1.0%	1.3%	1.2%	0.5%	0.4%	2.8%	0.5%	2.9%	1.2%	0.9%
医療機関から提示を求められなかったから	56.7%	53.9%	55.9%	58.1%	61.6%	62.2%	52.5%	55.2%	57.2%	51.9%
薬局から提示を求められなかったから	4.3%	3.5%	5.1%	3.9%	4.5%	4.1%	3.7%	11.4%	1.2%	5.3%
その他	2.5%	2.8%	2.2%	1.9%	2.2%	0.0%	3.7%	2.9%	4.8%	6.8%

〔後発医薬品（ジェネリック医薬品）について〕

処方薬を受け取った際に後発医薬品の選択状況

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海浜 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
後発医薬品が選べる場合は、後発医薬品を選択する	64.3%	64.6%	64.6%	64.1%	63.5%	63.7%	66.5%	52.8%	62.6%	65.5%
先発医薬品を選択する	8.5%	7.9%	9.8%	7.8%	9.1%	5.6%	7.0%	7.3%	8.0%	5.9%
先発医薬品か後発医薬品かにはこだわらない	23.7%	23.6%	22.4%	24.8%	23.2%	24.8%	23.4%	36.4%	24.8%	24.0%
「後発医薬品（ジェネリック医薬品）」を知らない	2.9%	2.7%	2.6%	2.6%	3.6%	4.9%	2.3%	3.5%	4.2%	4.3%
その他	0.7%	1.2%	0.6%	0.7%	0.6%	1.0%	0.8%	0.0%	0.4%	0.3%

後発医薬品を提示しなかった理由

	全体 (n=852)	千葉 (n=130)	東葛南部 (n=327)	東葛北部 (n=194)	印旛 (n=98)	香取海浜 (n=10)	山武長生夷隅 (n=34)	安房 (n=7)	君津 (n=33)	市原 (n=18)
先発医薬品を使い慣れていて、安心感があるから	49.6%	45.0%	49.0%	56.0%	49.5%	58.6%	46.5%	26.0%	51.8%	29.3%
後発医薬品の効能に不安があるから	38.6%	31.5%	41.8%	37.0%	38.5%	32.5%	34.8%	39.0%	40.9%	55.2%
医師や薬剤師などの医療従事者に先発医薬品を勧められたから	13.4%	18.0%	13.8%	9.8%	8.3%	32.2%	8.0%	35.1%	19.1%	20.7%
医師や薬剤師などの医療従事者から後発医薬品を選択できることを説明されなかったから	6.5%	4.9%	6.8%	5.5%	7.4%	8.8%	8.0%	13.0%	10.0%	5.2%
後発医薬品でも期待するほど安価にならないから	11.9%	13.6%	13.5%	11.2%	9.8%	0.0%	10.7%	22.1%	8.2%	0.0%
後発医薬品を選択したが、自分に合わなかったことがあったから	14.0%	16.4%	11.2%	14.5%	18.8%	23.8%	16.1%	26.0%	10.9%	10.3%
家族、友人等が、後発医薬品を勧めないから	7.5%	4.7%	6.9%	7.9%	10.2%	8.8%	5.4%	35.1%	13.6%	0.0%
その他	3.7%	4.9%	3.1%	5.8%	1.8%	0.0%	2.7%	0.0%	2.7%	0.0%

〔入院医療について〕

患者の状況に応じて入院先からの転院があることの認知状況

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海浜 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
知っていた	48.4%	48.0%	47.4%	49.5%	47.8%	48.1%	48.8%	57.8%	52.0%	46.8%
知らなかった	51.6%	52.0%	52.6%	50.5%	52.2%	51.9%	51.2%	42.2%	48.0%	53.2%

〔アレルギー疾患について〕

アレルギー疾患の有無

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海浜 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
アレルギー疾患を持っていない	55.4%	56.9%	56.2%	55.5%	51.2%	54.2%	57.4%	49.7%	59.5%	46.8%
アレルギー疾患を持っている	32.7%	31.2%	31.9%	34.1%	34.2%	31.0%	29.7%	35.5%	31.3%	40.9%
アレルギー疾患を持っているかどうかわからない	11.9%	11.9%	12.0%	10.4%	14.6%	14.8%	12.9%	14.8%	9.2%	12.3%

自身が持っているアレルギー疾患

	全体 (n=3,272)	千葉 (n=512)	東葛南部 (n=1,057)	東葛北部 (n=844)	印旛 (n=372)	香取海浜 (n=57)	山武長生夷隅 (n=143)	安房 (n=34)	君津 (n=130)	市原 (n=122)
気管支ぜん息	12.2%	11.5%	14.5%	10.5%	10.8%	7.9%	10.8%	12.5%	17.7%	10.7%
アトピー性皮膚炎	14.5%	16.2%	15.1%	14.9%	11.0%	15.4%	11.2%	9.8%	16.1%	12.4%
アレルギー性鼻炎(花粉症を除く)	24.0%	27.1%	25.6%	24.0%	22.0%	18.0%	18.8%	18.6%	19.6%	18.9%
アレルギー性結膜炎(花粉症を除く)	5.2%	5.3%	5.5%	4.8%	4.7%	3.2%	7.2%	0.0%	8.2%	2.7%
花粉症	68.7%	68.7%	66.7%	69.3%	71.2%	63.5%	73.6%	62.8%	69.7%	71.9%
食物アレルギー	13.7%	13.7%	14.5%	13.5%	14.5%	4.8%	12.3%	15.9%	16.1%	7.8%
その他のアレルギー疾患	12.7%	13.6%	12.1%	11.7%	12.7%	14.8%	13.1%	19.4%	11.4%	18.4%

アレルギー疾患への対応状況

	全体 (n=3,272)	千葉 (n=512)	東葛南部 (n=1,057)	東葛北部 (n=844)	印旛 (n=372)	香取海浜 (n=57)	山武長生夷隅 (n=143)	安房 (n=34)	君津 (n=130)	市原 (n=122)
医療機関で受診した	54.3%	56.1%	51.2%	57.0%	57.4%	53.9%	49.4%	35.5%	53.9%	55.2%
薬局等で薬剤師に相談して、医薬品を購入した	3.2%	3.6%	3.2%	3.3%	3.8%	4.3%	1.3%	5.3%	2.1%	1.5%
薬局等で薬剤師に相談せずに、医薬品を購入した	13.4%	13.9%	13.6%	13.6%	11.5%	10.6%	16.3%	21.2%	13.0%	9.7%
インターネットで医薬品を購入した	3.3%	3.0%	3.9%	2.8%	3.7%	4.8%	6.8%	0.0%	0.7%	1.5%
医療機関で受診したり、医薬品を用いたりしていない	25.8%	23.4%	28.2%	23.1%	23.6%	26.4%	26.2%	38.0%	30.3%	32.2%

〔臓器提供について〕

自身の臓器提供に対する意思表示の有無

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海浜 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
臓器を提供する・しないに関する意思表示をしている	23.1%	24.0%	22.2%	24.9%	20.5%	21.0%	24.0%	28.0%	22.3%	22.6%
臓器を提供する・しないに関する意思表示はしていない	76.9%	76.0%	77.8%	75.1%	79.5%	79.0%	76.0%	72.0%	77.7%	77.4%

自身の臓器提供について家族等への意思表示の有無

	全体 (n=2,311)	千葉 (n=393)	東葛南部 (n=738)	東葛北部 (n=617)	印旛 (n=222)	香取海浜 (n=39)	山武長生夷隅 (n=116)	安房 (n=27)	君津 (n=93)	市原 (n=67)
あなたが臓器を提供する・しないに関する意思表示をしていることを、家族または親しい方に話している	66.0%	64.5%	66.8%	66.5%	66.4%	53.9%	70.4%	79.8%	64.7%	56.3%
あなたが臓器を提供する・しないに関する意思表示をしていることを、家族または親しい方に話してはしていない	34.0%	35.5%	33.2%	33.5%	33.6%	46.1%	29.6%	20.2%	35.3%	43.7%

自身の臓器提供の可否及び意思表示の考え

	全体 (n=7,689)	千葉 (n=1,248)	東葛南部 (n=2,578)	東葛北部 (n=1,862)	印旛 (n=864)	香取海浜 (n=146)	山武長生夷隅 (n=367)	安房 (n=69)	君津 (n=324)	市原 (n=231)
臓器を提供する・しないは決めており、その意思表示をすることを考えている	6.5%	5.3%	6.8%	6.8%	7.1%	7.3%	5.8%	2.6%	8.8%	5.1%
臓器を提供する・しないは決めていないが、その意思表示をすることまでは考えていない	14.5%	15.6%	13.9%	15.5%	15.6%	11.0%	13.2%	16.6%	13.1%	8.9%
臓器提供の可否に関心があり、自身が臓器を提供する・しないについては考え中である	18.9%	18.5%	19.8%	19.4%	18.9%	13.5%	17.8%	10.5%	18.1%	15.9%
臓器提供の可否に関心があるが、自身が臓器を提供する・しないについては考えていない	33.9%	36.3%	31.9%	32.1%	35.3%	38.0%	39.8%	34.9%	37.1%	37.2%
臓器提供の可否に関心がない	26.1%	24.3%	27.7%	26.3%	23.0%	30.1%	23.4%	35.4%	22.9%	32.8%

家族の臓器提供の意思表示に対する考え

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海浜 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
尊重する（臓器提供に反対しない）	41.2%	43.3%	41.8%	40.1%	39.1%	39.6%	41.7%	40.6%	43.5%	37.3%
たぶん尊重する	44.9%	43.2%	44.5%	46.5%	45.4%	44.7%	45.3%	43.7%	40.3%	48.9%
たぶん尊重しない	7.8%	7.3%	7.5%	7.1%	9.0%	7.9%	8.1%	9.4%	10.5%	8.7%
尊重しない（臓器提供に反対する）	6.1%	6.1%	6.1%	6.3%	6.5%	7.9%	4.8%	6.3%	5.8%	5.2%

自身が脳死又は心臓停止した場合の臓器提供に対する考え

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海浜 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
脳死と判定された場合、または心臓が停止し死亡と判断された場合のいずれでも、提供したい	36.0%	36.0%	35.9%	36.6%	34.0%	35.5%	38.1%	30.5%	38.5%	35.3%
心臓が停止し死亡と判断された場合には、提供したい	31.8%	33.1%	31.8%	31.4%	32.6%	32.8%	27.8%	30.8%	34.5%	27.0%
どちらの場合にも提供したくない	32.2%	30.9%	32.2%	32.0%	33.4%	31.7%	34.1%	38.6%	27.0%	37.7%

【がんの予防等に関する状況や考え】

がんの予防のために実践していること

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海浜 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
たばこは吸わないようにする	60.4%	62.3%	60.4%	61.6%	59.5%	58.3%	58.1%	51.3%	58.3%	56.0%
お酒は飲まない、あるいは適量を守るようにする	38.0%	40.6%	37.7%	37.4%	36.2%	37.8%	39.9%	34.6%	39.8%	35.1%
塩辛いものは控えめにする	25.4%	25.7%	24.5%	26.2%	25.4%	27.1%	27.8%	22.1%	25.4%	22.4%
野菜・果物を十分とる	45.2%	45.9%	44.2%	45.0%	46.0%	47.3%	49.5%	46.2%	46.4%	40.3%
適度に運動をする	43.3%	43.3%	43.2%	44.0%	44.2%	43.7%	39.1%	49.1%	42.8%	40.8%
太り過ぎや、やせ過ぎにならないよう、適正な体重維持を心がける	37.5%	38.7%	37.3%	37.1%	35.3%	40.9%	39.3%	46.6%	36.0%	39.5%
肝炎ウイルスなどの検査を受ける	6.4%	6.1%	6.2%	6.9%	5.2%	8.7%	7.4%	10.1%	7.4%	5.3%
定期的ながん検診を受ける	31.8%	32.4%	32.2%	31.7%	30.9%	36.1%	29.5%	33.0%	30.0%	33.3%
子宮がんの予防のために、HPVワクチンを接種する	1.8%	1.8%	1.9%	2.0%	1.6%	3.3%	1.3%	0.0%	2.0%	1.2%
胃がんの予防のために、ピロリ菌検査や除菌を受ける	13.6%	14.4%	13.4%	14.0%	12.1%	18.2%	10.8%	9.4%	14.4%	16.6%
身体の異常に気がついたら、すぐに医療機関で受診する	28.3%	28.1%	27.0%	28.6%	30.8%	32.8%	28.0%	32.0%	28.5%	27.7%
その他	3.2%	2.9%	3.4%	3.7%	2.6%	2.5%	2.1%	3.8%	3.3%	2.1%

がん検診の受診状況

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海浜 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
過去1年以内に受診したことがある	40.4%	37.1%	40.9%	41.3%	40.9%	47.6%	39.3%	37.7%	41.4%	40.7%
過去1年以内の受診はないが、2年以内に受診したことがある	8.3%	9.5%	9.4%	7.6%	7.5%	7.1%	7.8%	10.0%	4.2%	5.1%
過去2年以内の受診はないが、それ以前に受診したことがある	14.3%	16.8%	13.3%	12.6%	15.5%	13.5%	16.9%	10.1%	16.4%	14.3%
今までがん検診を受けたことがない	37.0%	36.5%	36.4%	38.5%	36.1%	31.9%	36.1%	42.2%	37.9%	39.9%

がん検診を受診しなかった理由

	全体 (n=5,127)	千葉 (n=876)	東葛南部 (n=1,646)	東葛北部 (n=1,267)	印旛 (n=561)	香取海浜 (n=84)	山武長生夷隅 (n=255)	安房 (n=50)	君津 (n=227)	市原 (n=162)
受ける時間がないから	22.7%	27.0%	22.1%	22.1%	20.4%	29.7%	23.6%	19.9%	19.3%	20.5%
お金がかかるから	30.9%	31.6%	29.3%	32.3%	31.9%	28.3%	31.2%	28.3%	32.2%	29.8%
検診をお知らせする手紙が届かないから	9.0%	8.4%	8.3%	9.3%	11.3%	13.5%	9.9%	0.0%	7.8%	8.4%
検査方法が痛いから	6.9%	8.6%	6.7%	7.2%	6.5%	3.3%	7.0%	7.2%	4.0%	3.4%
健康に自信があり、受ける必要性を感じないから	10.3%	10.6%	10.7%	9.8%	7.8%	12.7%	12.0%	12.0%	11.4%	12.0%
がんであると言われるのが不安だから	12.3%	12.5%	12.9%	11.5%	13.0%	12.7%	10.2%	9.0%	12.2%	12.0%
がん検診をどこでやっているのかわからないから	9.6%	8.6%	8.6%	11.1%	10.8%	11.3%	9.5%	9.0%	9.5%	8.8%
病院に定期的に通院しているから	13.2%	11.4%	11.5%	13.8%	15.9%	11.9%	18.3%	22.9%	14.3%	12.6%
うっかり忘れていたから	6.8%	7.8%	7.5%	5.2%	6.3%	6.1%	7.8%	9.0%	6.7%	7.3%
がん検診の対象年齢に達していないから	14.0%	12.0%	14.8%	14.9%	13.6%	12.7%	8.6%	13.4%	17.0%	17.7%
その他	6.5%	7.6%	6.2%	6.9%	6.3%	3.3%	6.2%	0.0%	6.3%	5.6%

新型コロナウイルス感染症の流行期間中におけるがん検診の受診控えの有無

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海浜 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
ある	14.8%	15.7%	14.4%	14.5%	14.4%	16.7%	16.2%	23.3%	14.5%	14.1%
ない	85.2%	84.3%	85.6%	85.5%	85.6%	83.3%	83.8%	76.7%	85.5%	85.9%

がんに関する情報を得るために活用している情報源

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海浜 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
新聞・雑誌（専門誌を含む）	28.7%	27.2%	27.5%	30.6%	31.6%	28.1%	27.4%	26.4%	27.3%	27.7%
書籍	9.3%	9.5%	9.5%	9.5%	9.2%	10.5%	6.1%	8.2%	8.1%	9.6%
テレビ・ラジオ番組	47.4%	45.4%	47.4%	47.7%	47.1%	44.4%	51.8%	43.4%	49.5%	50.5%
インターネット（各種ホームページ、SNS等）	57.8%	60.0%	59.0%	56.3%	53.4%	53.4%	58.3%	61.0%	60.3%	59.7%
（病院内などの）ポスター、パンフレット	17.1%	17.5%	15.9%	17.6%	18.0%	19.4%	20.6%	15.7%	16.7%	14.4%
通っている医療機関の医師	14.7%	15.8%	13.8%	15.1%	13.9%	16.9%	16.6%	18.9%	11.5%	17.3%
友人・知人	19.9%	18.7%	19.9%	19.9%	22.4%	23.3%	19.1%	29.3%	16.0%	19.1%
その他	3.4%	4.1%	3.4%	3.2%	3.7%	1.5%	2.6%	4.7%	3.2%	2.4%

「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の認知状況

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海浜 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
知っており、利用している	1.8%	1.8%	1.5%	2.4%	1.2%	3.1%	1.8%	4.4%	2.1%	0.9%
知っているが、利用したことはない	8.3%	11.1%	7.5%	6.7%	9.2%	8.9%	7.7%	12.6%	9.0%	11.0%
知らない	89.9%	87.1%	91.0%	90.9%	89.6%	88.0%	90.5%	83.0%	88.9%	88.1%

がんの治療と仕事の両立のために必要な支援・取組

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
勤務先の療養制度や時間短縮勤務等の充実	46.8%	49.0%	48.3%	45.1%	46.0%	45.8%	38.4%	44.3%	50.3%	44.2%
勤務先の上司、同僚、人事担当や産業医等のサポート	37.7%	39.0%	39.0%	36.3%	37.1%	33.9%	32.3%	34.0%	41.5%	37.2%
相談機関（がん相談支援センター（がん診療連携拠点病院に設置）や地域産業保健センター等）のサポート	30.6%	33.2%	30.4%	30.2%	31.0%	29.4%	27.4%	24.8%	29.6%	28.3%
主治医や医療機関のサポート	50.2%	50.9%	51.7%	48.7%	51.4%	54.2%	47.5%	54.7%	45.0%	45.0%
がん経験者間の交流・相談の機会	12.4%	11.6%	12.5%	13.4%	11.1%	10.7%	12.6%	10.7%	13.3%	13.0%
両立は考えず、治療に専念する	23.7%	22.4%	23.2%	25.3%	23.6%	21.3%	27.6%	16.4%	22.1%	21.6%
職場には、がんであることは言いたくない	11.7%	12.1%	11.6%	10.8%	13.2%	15.1%	11.4%	10.1%	10.8%	14.0%
その他	3.6%	3.0%	3.1%	4.2%	3.0%	2.5%	5.2%	0.9%	4.9%	6.8%

がんに対する症状緩和に専念する場合に過ごしたい場所

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
なるべく早く（通院中の）医療機関に入院したい	18.2%	19.1%	18.3%	18.3%	16.3%	20.0%	17.7%	17.0%	20.2%	16.1%
なるべく早く緩和ケア病棟（終末期における体と心の苦痛緩和のための治療とケアを行う病棟）に入院したい	13.9%	14.3%	13.9%	14.1%	14.7%	10.5%	15.5%	8.2%	13.3%	9.5%
自宅で療養して、必要に応じて（通院中の）医療機関に入院したい	35.6%	35.0%	35.9%	34.5%	36.5%	34.3%	35.9%	39.6%	36.1%	39.9%
自宅で最期まで療養したい	11.9%	11.8%	11.2%	12.5%	10.6%	9.2%	15.1%	17.6%	11.4%	15.2%
老人ホーム、介護付き施設に入所したい	2.0%	2.5%	2.0%	1.8%	1.5%	2.3%	1.8%	3.5%	2.4%	1.2%
わからない	17.9%	16.8%	18.3%	18.3%	19.9%	23.1%	13.7%	14.1%	16.0%	17.7%
その他	0.4%	0.4%	0.4%	0.5%	0.4%	0.5%	0.4%	0.0%	0.7%	0.3%

がんゲノム治療の認知状況

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
よく知っていた	4.7%	5.6%	4.6%	4.6%	4.7%	3.3%	3.1%	0.9%	4.5%	5.8%
言葉だけ知っていた	34.1%	33.7%	32.6%	34.0%	36.2%	32.8%	35.5%	40.0%	38.6%	35.7%
知らなかった	61.2%	60.8%	62.8%	61.3%	59.1%	63.9%	61.4%	59.1%	56.9%	58.5%

がん対策について県に期待すること

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
がんの予防・早期発見(がん検診)の提供体制の整備	65.2%	63.9%	65.5%	65.6%	66.9%	62.9%	64.4%	63.8%	64.2%	64.1%
がん医療に関わる医療推進体制の整備	48.4%	50.2%	49.6%	46.2%	50.8%	49.4%	46.6%	38.0%	44.8%	47.5%
がんに関する情報提供・相談支援	36.0%	38.0%	35.9%	35.3%	37.0%	35.6%	36.5%	30.5%	31.7%	37.5%
がん治療の推進(手術療法、薬物療法(抗がん剤治療)、放射線療法など)	41.5%	41.2%	41.9%	39.3%	44.7%	41.4%	47.9%	37.1%	37.1%	44.0%
緩和ケアの提供体制の整備	34.9%	34.6%	34.6%	35.2%	35.8%	31.0%	37.7%	40.3%	33.7%	33.8%
がん登録の推進	9.5%	9.7%	9.8%	9.9%	8.9%	9.5%	8.1%	7.5%	9.0%	8.9%
がんの在宅医療の体制整備	28.7%	29.6%	28.3%	27.9%	29.7%	23.2%	33.3%	28.3%	27.0%	29.3%
子どもや若年層からの教育	14.7%	16.6%	14.3%	14.4%	14.8%	15.8%	11.4%	13.9%	16.8%	13.2%
小児がん対策の充実	13.2%	14.8%	13.3%	12.6%	12.8%	13.2%	13.3%	9.1%	14.8%	10.0%
がん患者の就労支援	20.7%	21.7%	19.6%	21.6%	20.8%	23.1%	21.9%	18.6%	19.8%	17.9%
その他	2.4%	2.8%	1.8%	3.1%	2.1%	2.0%	2.1%	1.9%	3.0%	3.6%

〔緊急電話相談について〕

救急安心電話相談#7009・子ども救急電話相談#8000の利用状況

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
利用したことがある	5.5%	5.3%	5.5%	5.5%	6.5%	4.3%	4.3%	6.0%	5.8%	4.9%
利用したことはないが、知っている	24.5%	25.6%	23.5%	24.8%	24.6%	26.9%	25.2%	17.6%	24.7%	25.2%
知らなかった	70.0%	69.0%	70.9%	69.7%	68.8%	68.8%	70.5%	76.4%	69.5%	69.9%

〔心臓の異常に関連した症状への対応に関する考え〕

《症状1》横になると苦しい、苦しくて横になれない

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
救急車を呼ぼうとは思わない	11.4%	10.9%	11.2%	12.6%	10.5%	10.7%	10.5%	13.3%	11.7%	9.0%
どちらかといえば救急車を呼ぼうとは思わない	19.9%	19.7%	21.4%	19.0%	18.5%	18.4%	22.0%	23.9%	18.4%	16.3%
どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う(A)	32.5%	33.3%	31.6%	31.9%	34.4%	30.2%	32.8%	27.6%	34.1%	36.3%
救急車を呼ぼうと思う(B)	23.5%	23.3%	23.1%	23.8%	23.0%	28.4%	23.7%	24.8%	23.8%	23.9%
わからない	12.7%	12.8%	12.7%	12.6%	13.6%	12.3%	11.0%	10.4%	12.1%	14.5%

【症状2】冷や汗がでて苦しい

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
救急車を呼ぼうとは思わない	17.9%	16.8%	19.1%	18.5%	15.6%	15.9%	16.1%	16.4%	20.6%	16.3%
どちらかといえば救急車を呼ぼうとは思わない	28.5%	27.4%	29.8%	28.7%	26.7%	27.3%	30.4%	27.4%	25.1%	27.7%
どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う(A)	26.0%	26.4%	25.0%	25.3%	28.2%	28.6%	27.2%	22.9%	27.0%	27.5%
救急車を呼ぼうと思う(B)	14.7%	16.4%	13.5%	14.1%	15.0%	16.9%	15.0%	19.5%	15.4%	16.0%
わからない	12.9%	13.0%	12.5%	13.4%	14.5%	11.3%	11.3%	13.8%	11.9%	12.5%

【症状3】脈が乱れていて気を失いそうになる

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
救急車を呼ぼうとは思わない	4.0%	3.9%	3.8%	4.4%	2.9%	4.3%	4.0%	7.3%	4.7%	4.7%
どちらかといえば救急車を呼ぼうとは思わない	8.4%	7.7%	8.3%	9.0%	8.3%	9.4%	9.9%	2.8%	8.4%	8.0%
どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う(A)	32.1%	30.3%	32.6%	31.8%	32.8%	30.7%	34.5%	34.9%	32.8%	32.0%
救急車を呼ぼうと思う(B)	46.9%	49.2%	46.9%	46.0%	47.5%	47.8%	44.3%	46.6%	44.5%	46.8%
わからない	8.6%	8.8%	8.4%	8.8%	8.5%	7.9%	7.2%	8.5%	9.5%	8.5%

【症状4】強い胸の痛みが持続する

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
救急車を呼ぼうとは思わない	4.5%	4.4%	4.6%	4.6%	4.1%	7.1%	4.3%	7.5%	4.0%	3.7%
どちらかといえば救急車を呼ぼうとは思わない	9.9%	9.6%	9.8%	11.1%	8.9%	6.4%	9.5%	7.5%	9.7%	10.5%
どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う(A)	26.8%	27.7%	28.1%	25.2%	25.5%	26.9%	27.7%	19.8%	25.8%	27.3%
救急車を呼ぼうと思う(B)	50.2%	49.2%	49.5%	50.1%	52.2%	51.2%	51.1%	57.6%	52.1%	49.6%
わからない	8.6%	9.0%	8.1%	9.0%	9.4%	8.4%	7.4%	7.5%	8.4%	8.9%

【脳卒中に関連した症状への対応に関する考え】

【症状1】顔がゆがむ

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
救急車を呼ぼうとは思わない	12.4%	11.0%	12.4%	13.7%	12.7%	13.0%	11.9%	10.1%	12.3%	9.9%
どちらかといえば救急車を呼ぼうとは思わない	20.3%	21.7%	21.2%	19.1%	17.6%	17.2%	21.5%	16.0%	25.3%	16.6%
どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う(A)	24.1%	25.1%	24.0%	23.1%	24.6%	23.3%	27.6%	22.6%	23.0%	21.0%
救急車を呼ぼうと思う(B)	29.1%	27.8%	28.6%	29.8%	30.2%	30.0%	26.6%	39.0%	25.8%	36.7%
わからない	14.1%	14.5%	13.8%	14.3%	14.9%	16.4%	12.4%	12.3%	13.5%	15.9%

【症状2】片側の腕(と足)に力が入らない

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
救急車を呼ぼうとは思わない	9.4%	9.5%	9.2%	9.9%	8.8%	8.2%	10.1%	8.2%	9.6%	8.5%
どちらかといえば救急車を呼ぼうとは思わない	19.2%	18.8%	20.5%	18.2%	18.3%	14.7%	19.0%	17.6%	21.8%	19.0%
どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う(A)	25.9%	26.9%	25.0%	26.7%	26.6%	27.1%	26.6%	28.9%	24.3%	20.9%
救急車を呼ぼうと思う(B)	35.3%	34.7%	34.6%	35.2%	36.6%	37.9%	34.9%	34.9%	34.9%	42.7%
わからない	10.2%	10.1%	10.8%	10.0%	9.8%	12.1%	9.4%	10.4%	9.5%	8.9%

【症状3】急に上手く話せなくなった

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
救急車を呼ぼうとは思わない	7.3%	7.5%	7.5%	7.3%	7.7%	6.3%	5.4%	7.3%	6.9%	8.2%
どちらかといえば救急車を呼ぼうとは思わない	14.1%	14.9%	14.7%	14.4%	11.9%	11.6%	12.9%	13.2%	14.0%	14.2%
どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う (A)	24.1%	23.1%	24.8%	24.3%	24.7%	21.2%	26.9%	21.0%	24.5%	17.1%
救急車を呼ぼうと思う (B)	45.0%	44.5%	43.6%	44.9%	46.0%	50.1%	47.0%	51.0%	45.8%	51.0%
わからない	9.4%	10.0%	9.5%	9.1%	9.6%	10.8%	7.9%	7.5%	8.8%	9.6%

【症状4】急に目が見えなくなった

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
救急車を呼ぼうとは思わない	3.5%	3.6%	3.4%	3.9%	2.7%	3.8%	2.5%	1.9%	4.1%	4.7%
どちらかといえば救急車を呼ぼうとは思わない	7.5%	8.2%	7.3%	7.3%	7.9%	3.9%	8.4%	5.7%	7.7%	8.0%
どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う (A)	21.2%	21.3%	20.7%	22.2%	21.2%	19.4%	22.0%	20.4%	22.5%	17.0%
救急車を呼ぼうと思う (B)	59.5%	57.9%	60.5%	58.5%	59.7%	65.5%	60.2%	60.4%	57.5%	61.2%
わからない	8.3%	8.9%	8.1%	8.0%	8.5%	7.4%	6.9%	11.7%	8.2%	9.1%

【症状5】突然、いつもと違う頭痛がした

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
救急車を呼ぼうとは思わない	8.5%	7.0%	9.0%	9.9%	6.9%	5.8%	7.7%	8.2%	9.1%	8.0%
どちらかといえば救急車を呼ぼうとは思わない	21.4%	23.2%	21.9%	20.6%	21.3%	19.2%	19.3%	19.5%	19.7%	21.4%
どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う (A)	29.0%	30.2%	28.2%	29.3%	28.3%	26.6%	32.2%	23.2%	30.0%	27.7%
救急車を呼ぼうと思う (B)	29.3%	27.5%	29.2%	28.2%	32.0%	37.3%	29.1%	35.8%	29.6%	33.4%
わからない	11.7%	12.0%	11.6%	12.0%	11.4%	11.2%	11.8%	13.2%	11.6%	9.6%

【症状6】突然、不整脈を自覚した

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
救急車を呼ぼうとは思わない	8.5%	7.5%	8.2%	9.8%	7.8%	7.7%	7.3%	6.3%	10.0%	10.3%
どちらかといえば救急車を呼ぼうとは思わない	23.3%	23.3%	23.4%	23.7%	23.6%	17.2%	21.8%	24.2%	24.3%	20.5%
どちらかといえば救急車を呼ぼうと思う (A)	28.6%	30.1%	27.8%	27.3%	29.9%	29.7%	34.8%	32.1%	28.5%	24.9%
救急車を呼ぼうと思う (B)	26.6%	25.8%	27.8%	26.2%	26.3%	31.2%	22.1%	26.1%	24.3%	29.9%
わからない	13.0%	13.2%	12.8%	13.1%	12.4%	14.1%	14.0%	11.3%	13.0%	14.4%

〔地域医療について〕

自身が居住する地域で不足を感じる診療科

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
産婦人科	19.2%	15.3%	18.1%	17.5%	19.3%	42.0%	35.1%	26.1%	25.9%	16.7%
小児科	13.1%	11.9%	11.2%	12.6%	13.0%	23.2%	20.4%	33.1%	14.7%	17.8%
救急科	24.0%	24.9%	22.7%	18.5%	26.4%	40.0%	38.6%	28.0%	29.1%	26.4%
内科	10.4%	10.5%	10.4%	9.0%	10.7%	11.3%	13.7%	22.0%	10.1%	9.8%
外科	11.3%	11.8%	10.9%	8.8%	12.8%	16.3%	17.8%	20.4%	10.9%	11.3%
精神科	15.0%	13.8%	15.2%	13.1%	17.6%	16.7%	17.5%	15.7%	19.2%	13.0%
眼科	14.5%	14.2%	13.3%	13.0%	17.2%	22.0%	19.2%	27.0%	13.7%	18.1%
耳鼻科	17.2%	16.5%	15.9%	15.6%	21.1%	27.9%	23.3%	27.3%	12.8%	20.0%
その他の診療科	8.9%	7.9%	8.8%	8.3%	10.0%	10.2%	14.5%	6.6%	8.4%	8.8%
特いない	42.5%	43.2%	44.9%	45.8%	38.3%	21.7%	29.5%	30.5%	38.9%	41.6%

〔在宅医療のイメージについて〕

自身が持つ「在宅医療」へのイメージ

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
自宅などの居住の場でも必要な医療を受けることができる	47.7%	48.6%	47.0%	49.1%	45.4%	46.0%	48.7%	55.7%	48.6%	43.9%
自宅などの居住の場で、どのような医療を受けられるのかわからない	21.8%	21.0%	21.9%	21.3%	22.5%	25.3%	20.5%	10.4%	25.4%	25.4%
訪問看護師等が何をしてくれるのかわからない（ヘルパーとの違いがわからない）	10.8%	10.6%	11.1%	9.7%	11.6%	14.0%	12.5%	8.2%	11.5%	8.6%
自宅などの居住の場で、最期を迎えることができる	22.5%	24.0%	21.3%	22.5%	20.5%	29.1%	24.2%	27.6%	22.6%	25.7%
急に病状が変わったときの対応が心配	22.8%	23.5%	21.9%	23.0%	25.0%	16.4%	23.7%	21.0%	23.5%	21.8%
住み慣れた環境で家族や知人に囲まれて療養することができる	19.0%	18.1%	18.3%	18.8%	21.2%	20.0%	20.8%	29.5%	21.2%	13.9%
入院医療に比べて、自分の希望する生活ができる	19.8%	20.2%	20.1%	19.2%	21.2%	13.6%	19.4%	22.0%	19.3%	17.7%
自宅での療養は家族の負担が大きい／一人暮らしでは難しい	25.5%	25.8%	25.6%	26.7%	25.0%	21.7%	23.7%	22.6%	22.0%	26.4%
訪問診療をしてくれる医療機関等を見つけるのは難しい	22.8%	23.2%	23.6%	21.4%	23.3%	19.5%	23.3%	14.1%	20.7%	27.7%

〔長期の療養場所の希望や理由について〕

長期の治療・療養が必要になった場合の「在宅医療」の選択希望

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
入院医療を希望する	40.0%	42.8%	39.6%	39.4%	39.0%	42.9%	38.8%	33.1%	39.9%	38.5%
在宅医療を希望する	36.0%	34.8%	35.4%	36.2%	36.3%	33.2%	38.4%	42.1%	39.7%	36.9%
わからない	24.0%	22.4%	24.9%	24.4%	24.6%	24.0%	22.8%	24.8%	20.3%	24.6%

入院医療を希望する理由

	全体 (n=3,996)	千葉 (n=702)	東葛南部 (n=1,314)	東葛北部 (n=977)	印旛 (n=424)	香取海匠 (n=79)	山武長生夷隅 (n=187)	安房 (n=32)	君津 (n=166)	市原 (n=115)
在宅医療（療養）のイメージがでないから	26.8%	25.2%	26.1%	26.7%	30.1%	31.4%	22.4%	32.5%	30.3%	30.1%
急な病状の変化（特に夜間や休日）の対応が心配だから	47.3%	43.8%	47.8%	49.3%	49.7%	52.5%	46.2%	28.5%	47.1%	40.4%
治る見込みがあるのであれば十分な治療を受けたいから	39.2%	41.0%	38.5%	37.2%	42.1%	42.5%	43.6%	41.9%	36.5%	36.7%
家族や知人に迷惑をかけたくないから	63.1%	63.4%	62.4%	61.7%	66.2%	65.1%	65.1%	64.7%	65.1%	61.2%
介護してくれる人がいないから	21.1%	20.5%	21.7%	20.7%	19.5%	19.9%	27.4%	27.6%	24.5%	13.2%
常時、医師や看護師がいるので安心するから	37.1%	35.3%	37.1%	38.5%	38.1%	33.3%	42.8%	24.8%	35.6%	31.1%
その他	0.4%	1.0%	0.1%	0.6%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%

在宅医療を希望する理由

	全体 (n=3,599)	千葉 (n=571)	東葛南部 (n=1,175)	東葛北部 (n=897)	印旛 (n=395)	香取海匠 (n=61)	山武長生夷隅 (n=185)	安房 (n=41)	君津 (n=166)	市原 (n=110)
家族と離れたくないから	26.6%	26.4%	26.3%	28.2%	28.1%	20.3%	21.2%	33.6%	26.9%	20.9%
在宅で自分らしい生活を送りたいから	67.4%	63.4%	67.9%	66.6%	69.6%	66.8%	70.8%	69.4%	72.5%	67.7%
入院費用が高額にならないかが心配だから	35.8%	33.9%	34.8%	36.0%	40.0%	33.1%	36.2%	52.2%	32.8%	38.8%
自宅が一番安心するから	54.3%	55.4%	54.7%	53.4%	54.0%	50.0%	52.1%	63.4%	52.7%	56.4%
その他	1.4%	2.1%	0.8%	1.7%	0.9%	0.0%	2.0%	0.0%	2.6%	1.7%

〔夜間・休日の急変時対応について〕

	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
かかりつけ医に依頼して往診してもらった	4.9%	12.0%	8.8%	6.5%	3.8%	2.8%	3.5%	5.3%	4.2%	3.8%	2.4%	3.6%	4.3%
かかりつけ医以外に依頼して往診してもらった	3.8%	9.1%	7.3%	7.0%	4.5%	3.9%	1.6%	5.1%	4.0%	2.8%	1.9%	1.9%	1.2%
往診を依頼したが、断られた（連絡が取れなかった）	1.1%	3.1%	2.8%	0.9%	1.5%	1.1%	0.7%	1.2%	1.1%	0.3%	0.7%	0.5%	0.5%
往診を依頼したことがない	90.1%	75.8%	81.1%	85.6%	90.1%	92.2%	94.2%	88.4%	90.7%	93.1%	95.0%	94.0%	94.0%

自身又は家族が「往診」を断られた後の対応

	全体 (n=111)	千葉 (n=17)	東葛南部 (n=34)	東葛北部 (n=29)	印旛 (n=16)	香取海匠 (n=1)	山武長生夷隅 (n=5)	安房 (n=)	君津 (n=3)	市原 (n=6)
救急車を要請した	16.9%	5.3%	12.5%	22.2%	17.3%	0.0%	33.3%	#DIV/0!	33.3%	28.6%
自力で救急外来を受診した	49.6%	56.9%	54.5%	43.8%	32.8%	100.0%	50.0%	#DIV/0!	33.3%	71.4%
そのまま医療機関の診療開始時間まで我慢した	33.4%	37.8%	33.0%	34.0%	49.9%	0.0%	16.7%	#DIV/0!	33.3%	0.0%

〔最期を迎える場所の希望や理由について〕

自身が最期を迎える場所の希望

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
医療機関に入院して最期を迎えたい	22.8%	23.2%	22.3%	23.7%	23.3%	19.1%	20.2%	16.7%	22.0%	24.0%
居住の場で最期を迎えたい	34.8%	34.2%	33.4%	34.5%	33.1%	40.7%	40.0%	50.0%	38.7%	39.2%
介護保険施設に入所して最期を迎えたい	8.0%	8.8%	8.4%	7.2%	7.2%	10.3%	8.0%	8.5%	8.1%	5.8%
その他	0.5%	0.6%	0.5%	0.4%	0.6%	0.5%	0.8%	0.9%	0.7%	0.9%
わからない	34.0%	33.2%	35.4%	34.2%	35.8%	29.4%	31.1%	23.9%	30.5%	30.1%

医療機関で最期を迎えたい理由

	全体 (n=2,275)	千葉 (n=381)	東葛南部 (n=741)	東葛北部 (n=588)	印旛 (n=253)	香取海浜 (n=35)	山武長生夷隅 (n=97)	安房 (n=16)	君津 (n=92)	市原 (n=72)
常に医師や看護師が対応してくれる安心感があるから	68.2%	68.2%	64.2%	70.7%	72.7%	76.7%	60.1%	67.8%	75.2%	69.1%
急変時に対応できる設備があるから	49.1%	49.6%	46.9%	50.7%	55.9%	45.7%	44.5%	33.9%	52.8%	39.4%
症状の緩和のための医療が受けられるから	40.1%	41.6%	39.4%	38.5%	44.7%	43.2%	41.1%	66.1%	34.0%	36.9%
息を引き取る直前まで治る希望が持ち続けられるから	10.7%	11.6%	9.7%	10.1%	13.8%	7.8%	6.5%	5.7%	12.9%	14.9%
医療機関以外で最期を迎えるイメージができないから	23.3%	24.7%	23.7%	21.2%	23.1%	20.7%	23.3%	26.6%	25.4%	27.1%
その他	5.5%	4.8%	6.9%	4.2%	6.3%	2.6%	6.5%	0.0%	4.9%	5.1%

居住の場で最期を迎えたい理由

	全体 (n=3,480)	千葉 (n=562)	東葛南部 (n=1,108)	東葛北部 (n=856)	印旛 (n=360)	香取海浜 (n=75)	山武長生夷隅 (n=193)	安房 (n=48)	君津 (n=161)	市原 (n=117)
常に家族がそばにいて安心感があるから	39.1%	38.9%	38.8%	38.4%	43.0%	38.3%	39.0%	40.3%	39.3%	34.4%
気をつかわずに自由でいられるから	50.9%	49.0%	52.8%	51.8%	48.0%	45.5%	43.7%	50.9%	56.8%	52.1%
住み慣れた自宅で最期を迎えたいから	67.9%	67.7%	69.9%	64.0%	64.7%	70.5%	76.8%	69.7%	65.6%	73.3%
点滴や酸素吸入、尿導カテーテル（バルーン）など管だらけになるのはつらいから	13.2%	12.7%	14.1%	11.9%	14.2%	9.7%	13.9%	6.9%	13.4%	16.8%
その他	0.8%	1.0%	0.7%	1.0%	0.8%	0.0%	1.4%	0.0%	0.6%	0.0%

介護保険施設で最期を迎えたい理由

	全体 (n=797)	千葉 (n=144)	東葛南部 (n=279)	東葛北部 (n=179)	印旛 (n=78)	香取海浜 (n=19)	山武長生夷隅 (n=38)	安房 (n=8)	君津 (n=34)	市原 (n=17)
常に必要な介護が受けられるから	41.5%	41.7%	42.4%	40.6%	43.2%	17.6%	45.7%	55.6%	41.4%	36.8%
介護できる家族がないから	26.3%	27.4%	29.1%	25.5%	19.8%	14.3%	29.9%	33.3%	18.1%	26.3%
家族に迷惑をかけたくないから	67.4%	68.8%	64.9%	69.5%	71.2%	63.4%	65.4%	55.6%	63.9%	78.9%
療養していた場所で最期を迎えたいから	20.7%	23.2%	17.5%	23.0%	25.7%	23.8%	22.8%	22.2%	13.5%	10.5%
その他	0.8%	1.3%	0.3%	1.4%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

〔人生の最終段階における医療・療養に関する状況や考え〕

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知状況

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海浜 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
よく知っている	4.6%	5.5%	4.3%	4.4%	4.9%	5.1%	3.8%	7.9%	4.5%	3.4%
聞いたことはあるがよく知らない	18.5%	20.1%	18.0%	17.3%	19.9%	16.6%	19.5%	14.8%	24.5%	14.4%
知らない	76.8%	74.4%	77.7%	78.3%	75.2%	78.3%	76.7%	77.3%	71.0%	82.2%

自身が人生の最終段階における医療・療養について考えた経験の有無

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海浜 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
ある	31.4%	32.2%	29.3%	31.5%	32.1%	29.4%	39.8%	43.4%	33.9%	27.9%
ない	68.6%	67.8%	70.7%	68.5%	67.9%	70.6%	60.2%	56.6%	66.1%	72.1%

家族等とACPについて話し合った経験の有無

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海浜 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
詳しく話し合っている	2.0%	1.9%	1.7%	2.5%	2.0%	1.8%	2.7%	3.5%	1.7%	1.2%
一応話し合っている	22.1%	22.4%	21.2%	21.8%	20.6%	22.2%	27.2%	24.9%	25.3%	25.7%
話し合ったことはない	75.9%	75.7%	77.1%	75.8%	77.4%	76.0%	70.1%	71.7%	73.0%	73.1%

医療・介護関係者等とACPについて話し合った経験の有無

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海浜 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
詳しく話し合っている	1.4%	1.6%	1.1%	2.0%	0.8%	0.8%	1.5%	1.9%	1.7%	1.5%
一応話し合っている	11.0%	11.6%	10.4%	9.8%	11.2%	11.0%	15.7%	16.4%	12.3%	12.9%
話し合ったことはない	87.5%	86.8%	88.5%	88.2%	88.0%	88.2%	82.8%	81.7%	86.0%	85.6%

ACPについて話し合ったことがない理由

	全体 (n=7,495)	千葉 (n=1,228)	東葛南部 (n=2,530)	東葛北部 (n=1,853)	印旛 (n=827)	香取海浜 (n=138)	山武長生夷隅 (n=335)	安房 (n=69)	君津 (n=298)	市原 (n=218)
話し合いたくないから	5.8%	5.9%	5.7%	6.1%	4.8%	5.9%	6.8%	1.3%	6.8%	7.4%
話し合う必要性を感じないから	16.4%	15.9%	15.7%	17.5%	16.9%	16.7%	16.6%	17.1%	15.4%	17.5%
話し合うきっかけがなかったから	64.3%	65.2%	64.4%	64.7%	62.8%	70.6%	61.0%	73.3%	63.2%	60.1%
知識が無いため、何を話し合っているかわからなかったから	32.3%	31.3%	33.6%	32.1%	32.0%	35.6%	33.0%	25.0%	29.8%	29.5%
その他	2.9%	3.3%	2.4%	3.0%	2.7%	0.0%	6.2%	7.0%	3.7%	1.7%